

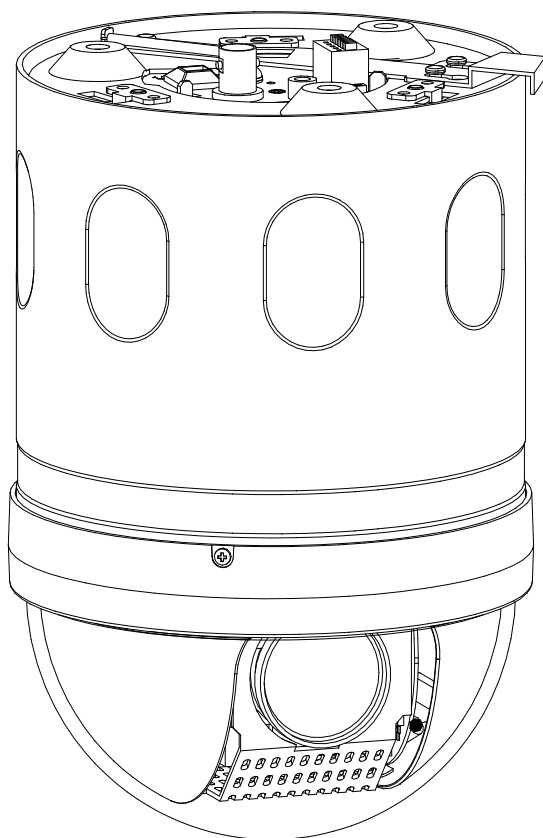
mitsubishi

カラーカメラ

形名

CIT-7550

取扱説明書／保証書



このたびは三菱カラーカメラをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用になる前に、正しく安全にお使い頂くため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なおきにお読みください。
保証書は、この取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。

SM-Y7900A

U871Z158001

©2008 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION ALL RIGHT RESERVED

この取扱説明書は再生紙を使用しております

2008年9月作成

[もくじ]





安全のために必ずお守りください	3
特長	6
構成	7
各部の名称	8
カメラの設定	9
設定項目（メニュー）詳細説明もくじ	9
設定項目フローチャート	12
工場出荷時設定	14
各シーンの初期値	16
[電子ズーム機能について]	20
[PRESETABLEについて]	21
[文字表示機能について]	30
[SERIAL設定について]	40
「IRIS SEL」メニュー	43
[逆光補正用測光枠について]	47
[S F Vについて]	49
[高速シャッターについて]	59
[手動電子増感機能について]	59
[デジタルノイズリダクションについて]	61
[自動電子増感機能について]	65
[フリッカについて]	83
[対応照明の選択「LIGHT」について]	88
[ホワイトバランスについて]	99
[マスキング機能について]	109
[マスキングのPRESETABLEについて]	110
[スムーズプリセットについて]	125
[クリーニングについて]	127
[LONG LIFEについて]	131
[時計機能について]	134
接続のしかた	137
RS-422仕様	139
CCDの傷について	178
お手入れのしかた	178
故障かな?と思ったら	178
保証とアフターサービス	178
仕様	179
外形図	181

安全のために必ずお守りください

使用上のご注意説明書

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

	禁止		指示を守る
	分解禁止		電源プラグを抜く
	水場での使用禁止		



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに結びつく可能性があるもの

電源ケーブルを傷つけたり、加工しない



電源ケーブルに重いものをのせたり、熱器具に近づけないこと。ケーブルが破損します。ケーブルに傷がついたまま使用すると火災・感電の原因となります。またケーブルを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると火災・感電の原因となります。ケーブルが傷んだらすぐに販売店にご連絡を。

万一異常が発生したら、電源を切る



煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使わないでください。火災の原因となります。このようなときはすぐに電源供給を停止してください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理のご依頼を。

強度が十分なところに取り付ける



ぐらついた箇所や傾いた所など不安定な場所に据え付けないこと。またバランス良く据え付けること。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。据え付けは販売店にご依頼を。

水気の多い場所では使わない



本機は防滴構造を採用しておりますが、水気の多い場所や結露する場所での長期間の使用は、火災の原因となります。

ご使用は指定の電源電圧で



表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

ポリ袋で遊ばない



幼児の手の届くところに置くと、頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ、窒息し死亡する恐れがあります。

ケースははずさない、改造しない



本機の内部にさわったり、改造すると火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼を。

電源プラグは根元まで確実に差し込む





差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。



警告






誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに
結びつく可能性があるもの

<p>雷が鳴り出したら電源を切る 早めに電源供給を停止し、電源プラグを抜いてください。</p> 	<p>薬品や有害ガス雰囲気内で使用しない 爆発したり火災の原因となります。</p> 
<p>コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。</p> 	<p>ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない ぬれた手で電源プラグの抜き差しは、感電の原因となります。</p> 
<p>高温環境下で使用時は筐体に触らない 高温環境下での連続運転後に筐体に触る場合、電源を抜き冷ましてから本機に触ってください</p> 	



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

<p>次のような置きかたはしない 火災・感電の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●湿気やほこりの多い所。水、油煙のかかる所。 ●横倒し、風通しの悪い所、狭い場所に押し込む。 ●じゅうたんや布団の上に置く、布などをかける。 ●熱器具のそば。 	<p>重い物をのせない、踏み台にしない 本機の上に仕様以外の物を置かないこと。落下してけがの原因となることがあります。また回転せず、火災・感電の原因となることがあります。本機の上に乗らないでください。乗ると倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特にお子さまにはご注意ください。</p> 
<p>移動させる場合は外部の接続線はずす 同軸ケーブルに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。移動させる時は同軸ケーブル、機器の接続をはずしたことを確認してください。</p> 	<p>2年に1度は定期点検を 販売店におまかせください。定期的に点検すると火災・故障を防ぎます。点検費用については販売店にご相談ください。</p> 
<p>国外での使用禁止 本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では使えません。 This equipment is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.</p> 	

お願い

<p>持ち運びはていねいに 本機は落下すると破損する可能性があります。持ち運びは十分に注意して行ってください。</p>	<p>本体のお手入れは お手入れの際はカメラコントローラなど（電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど）の電源プラグをコンセントから抜いてください。やわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼり、拭いてください。</p>
<p>ケースを傷めないために ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因となります。 【化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。】</p>	<p>レンズ及びレンズカバーのお手入れは ほこりや汚れが付着した場合は、レンズクリーナやエチルアルコールなどを用いて表面にキズが付かないようにレンズクリーニングペーパー（メガネやカメラ等の清掃に使うもの）で拭き取ってください。</p>
<p>使用温度範囲でご使用を 本機の使用周囲温度は-10℃～+50℃です。使用周囲温度外でご使用になると故障の原因となることがあります。</p>	<p>カメラを太陽に向けないで カメラを使用しているとき、使用していないときにかかわらずカメラを太陽に向けないでください。</p>
<p>強い光を映さないで 映した映像の一部にスポット光のような強い光があるとスミア（縦縞）やブルーミングを生じることがありますのでさけてください。 強い光により画面にスミア（縦縞）やブルーミングは生じますが故障ではありません。</p>	<p>ケーブルは最大延長距離以内で カメラとカメラコントローラなど（カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど）の間は 5C-2V で最長 1.2km 以内で接続してください。1.2km を超えて接続しますと、同軸ワンラインを通じての制御が行えなくなります。 カメラとカメラコントローラなど（カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど）の間には、他の機器を接続しないでください。通信ができなくなります。</p>

ご注意

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

本書に記載した内容は、商品性や特定の目的に対する適合性を保証するものではなく、当社はそれらに関して責任を負いません。また、本書の記載の誤り、あるいは本書配布、内容、利用にともなって生じる偶発的、結果的損害に関して責任を負いません。

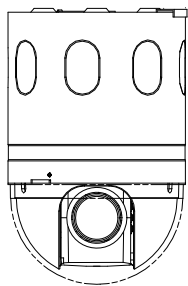
本書の内容は、著作権によって保護されています。本書の一部または全部を書面により事前の許可なくして複写、転載、翻訳することは禁止されています。

特長

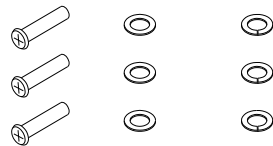
- **高解像度、高画質**
有効画素数約 38 万画素（水平 768×垂直 494）採用により、水平解像度 480 本以上の鮮明な映像が得られます。
- **スーパーファインビュー機能**
撮像範囲の中で、それぞれ照度の異なる被写体や背景及び周囲の画像データを分析し、最適画質を自動生成します。
- **カラー／白黒切替機能**
周囲の明るさによって、明るい時はカラー映像、暗い時は白黒映像に自動的に切り換わり、暗い中でも見易い映像が映し出されます。手動での切り換えも可能です。
- **カメラ、回転台一体型構造**
カメラ、25 倍プリセットズームレンズ、プリセット機能付水平垂直回転台、カメラケース、コントローラ機能を一体化した高機能高性能の監視カメラです。
- **防滴構造採用**
本機は防滴構造を採用しており、標準の天井埋め込みユニット（K-9750）を使用して屋外の軒下など、直射日光の当たらない半屋外に設置可能です。
- **エンドレス回転、オートパン／チルト機能**
スリップリングの採用により、パン方向は 360° エンドレス回転が可能です。また、パン方向、チルト方向の自動旋回（オートパン／チルト）が可能です。
- **高機能なのに省線化でリモートコントロールも可能**
メルック G シリーズコントローラと接続することにより、同軸ケーブル 1 本でカメラ、回転台、ズームレンズの各機能を遠く離れた場所から制御することができます。
- **イージーシーンフィッティング機能**
店舗出入り口、駐車場、駅ホーム、ビル内廊下等、経験的にカメラの画質設定が容易でない撮影環境に対し、輝度や色調等 8 つのパラメータを予め標準設定し、ワンタッチで画質設定できます。
- **高精度、高速移動**
PAN 方向最大 540° /s、TILT 方向最大 270° /s の高速移動が可能です。また、プリセット機能を本体内部に組み込んでいますので、高精度なプリセット移動が可能です。
- **高倍率高速ズーム、電子ズーム搭載**
25 倍高速ズームレンズ (3.8 mm ～ 95 mm) を採用。WIDE ～ TELE 端まで約 6 秒でズームできます。また 16 倍の電子ズーム機能を搭載し、光学ズーム、電子ズームの併用により最大 400 倍のズームアップが可能です。
- **高感度**
参考最低被写体照度は標準 (1/60 s) で 11x の高感度を実現しています。
更に、自動電子増感時には、最大 40 倍まで感度を自動的に変更して適正な露出を得ることができます。0.061x (40 倍) まで感度アップできます。
- **エリア選択式プリセッタブル逆光補正機能**
逆光補正の測光枠は、画面上の 15 (水平) X15 (垂直) に分割した枠の中でエリアを設定することができます。また、プリセットポジション毎に設定したエリアを 16 ポジション記憶することができますので、画角や被写体条件に応じたきめの細かな逆光補正の設定が可能です。
- **外部同期方式**
メルック G シリーズコントローラを使用すると、外部同期が自動でかかります。また、外部同期信号と映像出力信号の位相を微調節することができます。
- **マスキング機能**
画面上で 40 (水平) ×30 (垂直) マスから表示を隠したいエリアを選択して、グレー表示をすることで画面のマスキングを行うことができます。最大 3 箇所エリアを独立して設定可能です。

構成

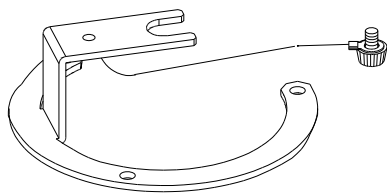
1. CIT-7550 形カメラ本体----- 1 台
2. 天井取付金具 (安全ワイヤ付き) ----- 1 個
3. カメラ取付ネジ M5X50----- 3 個
4. カメラ取付ネジ用平ワッシャ (M5) ----- 3 個
5. カメラ取付ネジ用平スプリングワッシャ (M5) ----- 3 個
6. 取扱説明書 (本書) ----- 1 冊
7. 据付工事説明書 ----- 1 冊



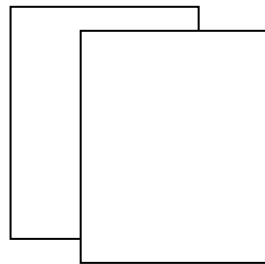
CIT-7550 本体



M5×50
ワッシャ (M5)
スプリングワッシャ (M5)

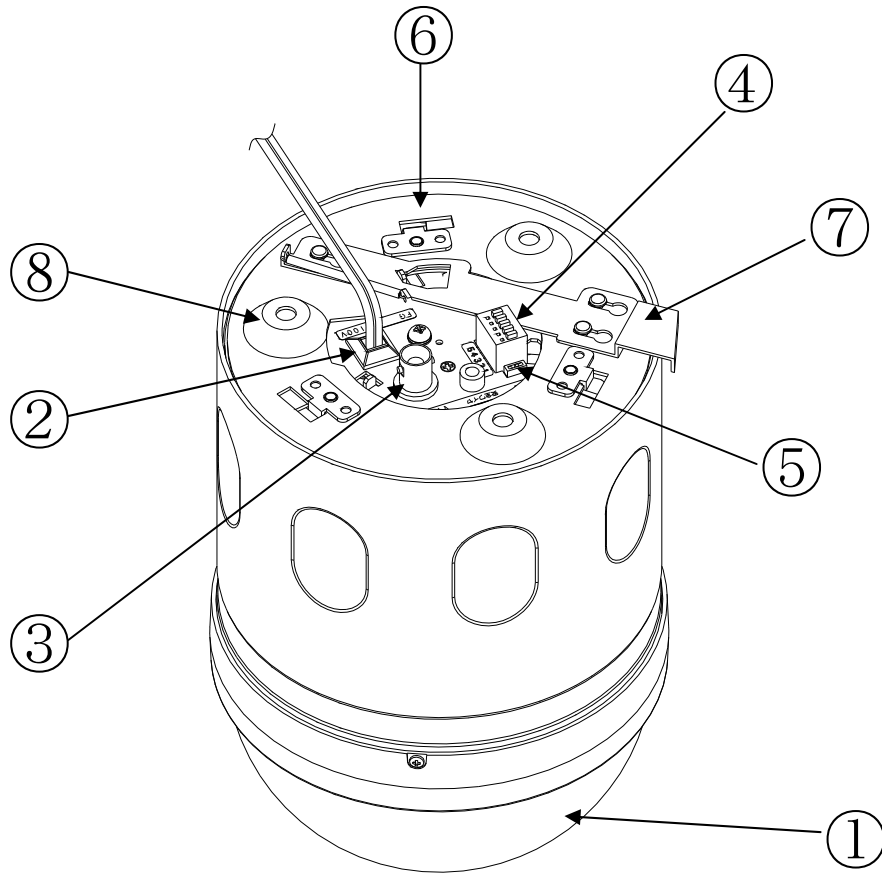


天井取付金具



取扱説明書/据付工事説明書

各部の名称



- ①ドームカバー
カメラを保護する透明カバーです。
- ②電源ケーブル (AC100V)
AC100V のコンセントにプラグを接続します。電源電圧は AC100V±10% でご使用ください。
電源周波数は、50Hz または 60Hz です。
- ③映像コネクタ (BNC コネクタ)
BNC コネクタです。同軸ケーブルを接続します。
- ④RS-422 通信コネクタ
RS-422 接続用のコネクタです。接続の詳細は据付工事説明書 (SM-Y7901) をご参照ください。また、通信コマンドは RS-422 仕様 (P. 139) をご参照ください。
- ⑤制御選択スイッチ
ワンライン通信または RS-422 通信を選択するスイッチです。
- ⑥カメラ固定金具
天井取付金具 (付属品) または、天井埋め込みユニット K-9760 (別売) とカメラを固定します。
- ⑦レバー
レバーを押すことによりカメラとカメラ固定金具⑥を分離します。
- ⑧天井取付ネジ用穴 (3ヶ所)
天井と天井取付金具 (付属品) または、天井埋め込みユニット K-9760 (別売) にカメラを取り付けるためのネジ穴です。

カメラの設定

- 各設定項目（メニュー）は、下記より各説明ページをご参照ください。各設定項目（メニュー）の構成はP. 12の設定項目フローチャートをご参照ください。

設定項目（メニュー）詳細説明もくじ

設定アイテムの選択メニュー (ADJ ITEM)	17
1. SYSTEM	18
水平同期位相調整 (H SYNC)	19
電子ズームの設定 (E ZOOM)	20
プリセット登録選択 (PRESETABLE)	21
プリセット登録 (PRESETABLE ON)	22
プリセット項目の設定 (PRESETABLE SET)	23
スポット AE 設定 (SPOT AE)	24
スポット AWB 設定 (SPOT AWB)	25
シーンフィットの設定 (SCENE FIT)	26
マスクングの設定 (MASKING)	27
カメラ ID 表示の選択 (ID DISP)	28
カメラ ID 表示の設定 (ID)	29
電子増感倍率表示の設定 (GAIN)	31
カメラ ID 表示及び電子増感倍率表示の設定 (ID&GAIN)	32
カメラ ID の設定 (ID SET)	33
カメラ ID 表示位置の設定 (ID PLACE)	34
電子増感倍率表示位置の設定 (GAIN PLACE)	35
RS-422 通信の設定 (SERIAL)	36
RS-422 通信速度の設定 (*****BPS)	37
RS-422 通信詳細の設定 (SERIAL SET)	38
カメラ NO. の設定 (CAMERA. NO)	39
データ形式の設定 (DATA)	40
パリティビット設定 (PARITY)	40
初期化の選択 (INITIAL)	41
2. Y CONTROL	42
アイリスモードの選択 (IRIS SEL)	43
逆光補正の設定 (SPOT)	44
測光枠のサイズ、位置設定 (WINDOW)	45
水平方向の測光枠サイズ設定 (WIDTH H)	46
垂直方向の測光枠サイズ設定 (WIDTH V)	46
水平方向の測光枠位置設定 (LOCATE H)	46
垂直方向の測光枠位置設定 (LOCATE V)	46
スーパーファインビュー機能の設定 (SFV)	48
スーパーファインビュー機能 詳細設定の選択 (SFV SET)	50
スーパーファインビュー機能 高速側シャッタ速度の設定 (SSHT SEL)	51
スーパーファインビュー機能 高速側シャッタレベルの設定 (SSHT LEVEL)	51
スーパーファインビュー機能 高速側最大シャッタ速度の設定 (MAX SSHT)	52
ピーク測光モードの設定 (PEAK)	53
ピーク測光モード詳細設定の選択 (PEAK SET)	54
ピーク測光モード 高輝度出力レベルの設定 (BRIGHT REV)	55
ピーク測光モード 暗部出力レベル補正の設定 (DARK REV)	55
ゲインコントロールの選択 (GAIN SEL)	56
MGC の選択 (MGC)	56
MGC の設定 (MGC SET)	57
MGC 時電子増感倍率又はシャッタ速度の設定 (SHUTTER)	58
MGC レベルの設定 (MGC LEVEL)	60
アイリスの設定 (IRIS LEVEL)	60
MGC 時デジタルノイズリダクションの選択 (DNR)	61
AGC の選択 (AGC)	62
AGC の詳細設定の選択 (AGC SET)	63
AGC 時電子増感倍率又はシャッタ速度の選択 (SHUTTER)	64
自動電子シャッタの設定 (AUTO)	66
自動電子シャッタ詳細設定の選択 (AUTO SET)	67
AGC 最大倍率の設定 (MAX GAIN)	68

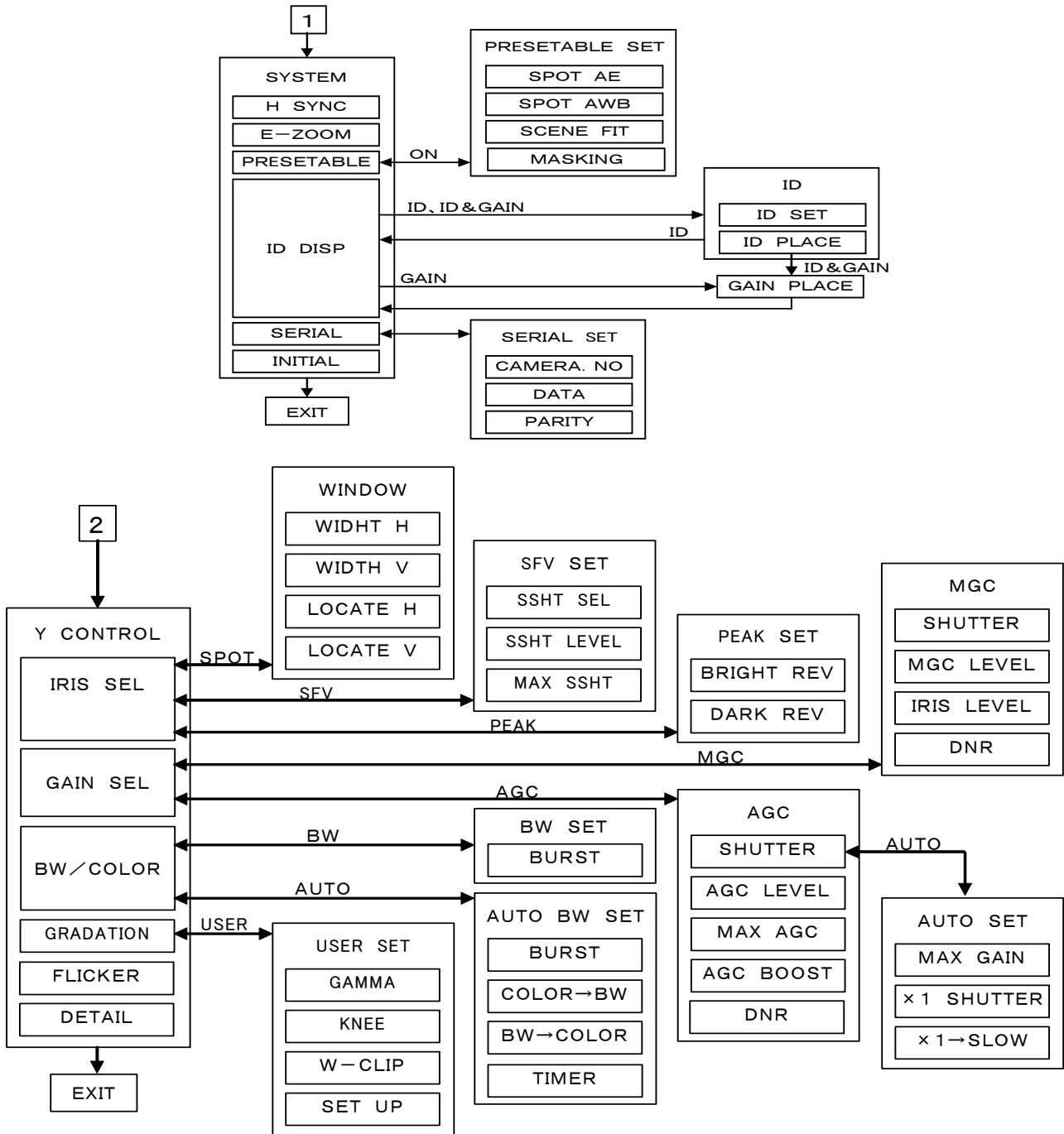
電子増感 1 倍時シャッター速度の設定 (x1 SHUTTER)	68
電子増感切換レベルの設定 (x1→SLOW)	69
AGC レベルの設定 (AGC LEVEL)	69
AGC 最大ゲインレベルの設定 (MAX AGC)	70
ゲインレベルアップの選択 (AGC BOOST)	70
AGC 時デジタルノイズリダクションの選択 (DNR)	71
白黒/カラー自動切換の選択 (BW/COLOR)	72
白黒モード設定の選択 (BW)	73
カラーバーストの設定 (BW SET)	74
白黒時カラーバーストの選択 (BURST)	74
自動切換設定の選択 (AUTO BW)	75
自動切換詳細設定項目の選択 (AUTO BW SET)	76
自動切換時カラーバーストの選択 (BURST)	77
カラー→白黒切換レベルの設定 (COLOR→BW)	77
白黒→カラー切換レベルの設定 (BW→COLOR)	78
切換判定時間の設定 (TIMER)	78
映像信号の設定 (GRADATION)	79
ユーザーによる映像信号設定の選択 (USER)	79
ユーザーによる映像信号詳細設定の選択 (USER SET)	80
ガンマの設定 (GAMMA)	81
ニーの設定 (KNEE)	81
ホワイトクリップの設定 (W-CLIP)	82
セットアップレベルの設定 (SET UP)	82
フリッカ補正機能の選択 (FLICKER)	83
画質の調整 (DETAIL)	84
3. COLOR	85
ホワイトバランスモードの選択 (WB SEL)	86
オートホワイトバランス設定の選択 (AUTO)	86
オートホワイトバランス詳細設定項目の選択 (AUTO WB SET)	87
対応照明の選択 (LIGHT)	88
スポット AWB の選択 (AWB AREA)	89
スポット AWB の設定 (SPOT)	90
スポット AWB 枠のサイズ、位置設定 (WINDOW)	91
水平方向のスポット AWB 枠サイズ設定 (WIDTH H)	92
垂直方向のスポット AWB 枠サイズ設定 (WIDTH V)	92
水平方向のスポット AWB 枠位置設定 (LOCATE H)	92
垂直方向のスポット AWB 枠位置設定 (LOCATE V)	92
赤、シアン方向のオートホワイトバランス微補正 (AWB R-Y)	93
青、黄方向のオートホワイトバランス微補正 (AWB B-Y)	93
赤、シアン方向の色相の設定 (HUE R-Y)	94
青、黄方向の色相の設定 (HUE B-Y)	94
マニュアルホワイトバランス設定の選択 (MANU)	95
マニュアルホワイトバランス詳細設定項目の選択 (MANU WB SET)	96
赤、青方向のマニュアルホワイトバランス設定 (MWB R-Y)	97
グリーン、マゼンダ方向のマニュアルホワイトバランス設定 (MWB B-Y)	97
赤、シアン方向の色相の設定 (HUE R-Y)	98
青、黄方向の色相の設定 (HUE B-Y)	98
ホワイトバランスロックの選択 (AWB LOCK)	99
濃淡の設定 (C LEVEL)	100
クロマサプレスの設定 (SUPPRESS)	100
4. SCENE FIT (シーンの選択)	101
ユーザー登録シーンの設定と ID 表示の選択 (USER*)	102
ユーザー登録シーンの ID 設定 (ID SET)	103

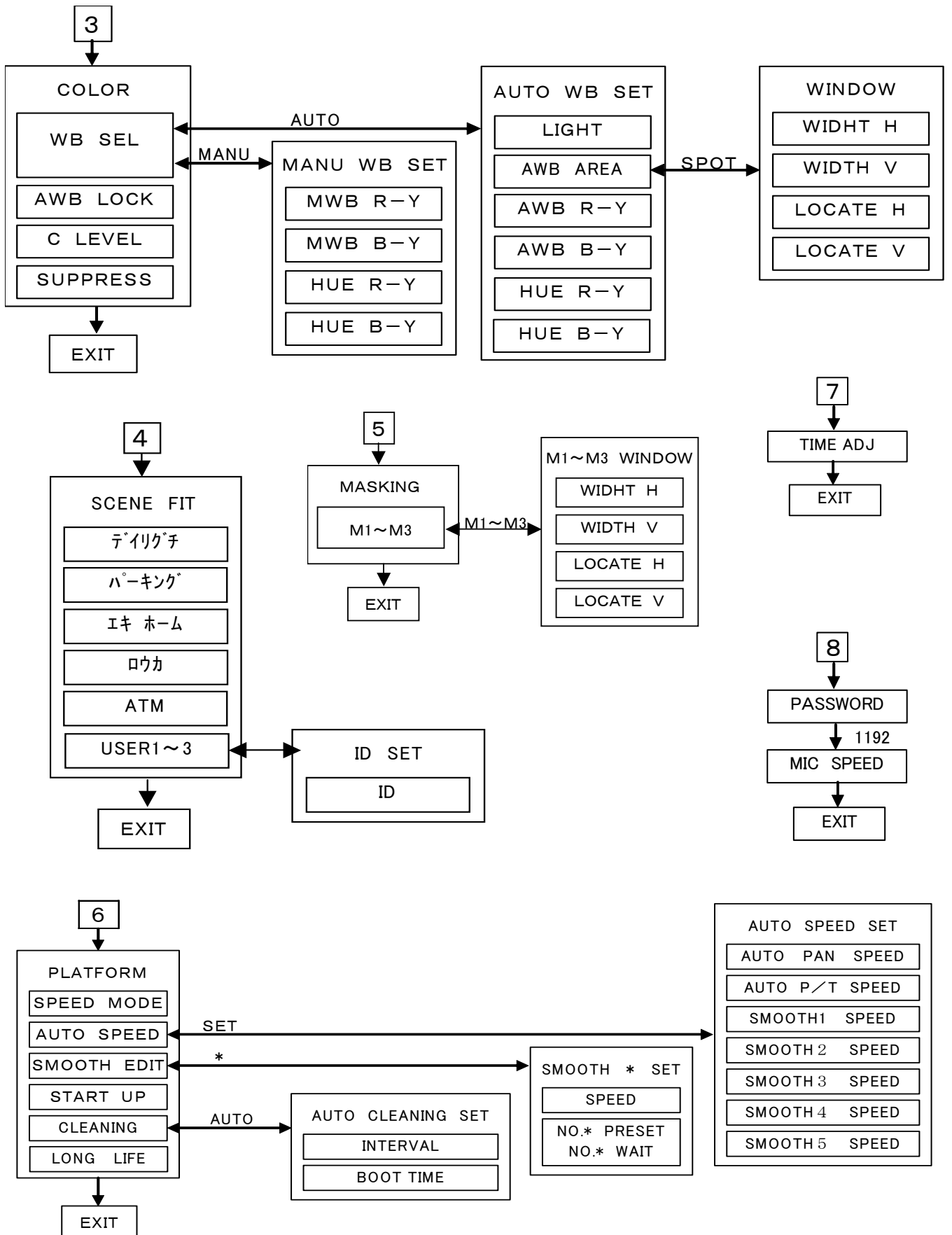
5. MASKING -----	104
マスク表示/非表示の選択 (M1, M2, M3) -----	105
マスク(ON) -----	106
マスクのサイズ、位置設定 (M* WINDOW) -----	107
水平方向のマスクサイズ設定 (WIDTH H) -----	108
垂直方向のマスクサイズ設定 (WIDTH V) -----	108
水平方向のマスク位置設定 (LOCATE H) -----	108
垂直方向のマスク位置設定 (LOCATE V) -----	108
6. PLATFORM -----	111
回転速度の設定 (SPEED MODE) -----	112
各種オート機能の速度設定の選択 (AUTO SPEED) -----	113
各種オート機能の速度設定 (AUTO SPEED SET) -----	114
オートパン速度設定 (AUTO PAN SPEED) -----	115
オートチルト速度設定 (AUTOTILT SPEED) -----	115
スムーズプリセット 1 の速度設定 (SMOOTH 1 SPEED) -----	115
スムーズプリセット 2 の速度設定 (SMOOTH 2 SPEED) -----	115
スムーズプリセット 3 の速度設定 (SMOOTH 3 SPEED) -----	116
スムーズプリセット 4 の速度設定 (SMOOTH 4 SPEED) -----	116
スムーズプリセット 5 の速度設定 (SMOOTH 5 SPEED) -----	116
スムーズプリセット 起動番号の選択 (SMOOTH EDIT) -----	117
スムーズプリセット*の設定 (SMOOTH * EDIT) -----	118
スムーズプリセット*の詳細設定 (SMOOTH * SET (\$/10)) -----	119
スムーズプリセットのプリセット番号設定 (NO. # PRESET (\$/10)) -----	120
スムーズプリセットのウエイト時間設定 (NO. # WAIT (\$/10)) -----	121
スムーズプリセット (10/10) の詳細設定 (SMOOTH * SET (10/10)) -----	122
スムーズプリセット (10/10) のプリセット番号設定 (NO. # PRESET (10/10)) -----	123
スムーズプリセット (10/10) のウエイト番号設定 (NO. # WAIT (10/10)) -----	124
電源投入時のオート機能動作の設定 (START UP) -----	126
クリーニングの起動、オートクリーニングの設定 (CLEANING) -----	127
オートクリーニングの詳細設定 (AUTO) -----	128
オートクリーニングの各項目の設定 (AUTO CLEANING SET) -----	129
オートクリーニングの起動間隔の設定 (INTERVAL) -----	130
オートクリーニングの起動時間の設定 (BOOT TIME) -----	130
スムーズプリセットの動作回数制限の設定 (LONG LIFE) -----	131
7. TIME ADJ -----	132
時刻設定 (TIME ADJ) -----	132
8. SPECIAL -----	135
アイリス速度の設定 (MICSPEED) -----	136

設定項目フローチャート

- | | |
|--------------|---|
| 1. SYSTEM | 1 |
| 2. Y CONTROL | 2 |
| 3. COLOR | 3 |
| 4. SCENE FIT | 4 |
| 5. MASKING | 5 |
| 6. PLATFORM | 6 |
| 7. TIME ADJ | 7 |
| 8. SPECIAL | 8 |

1～8を選択すると、
それぞれ1～8へ遷
移します。





工場出荷時設定

工場出荷時には、各設定項目は以下のように設定されています。工場出荷時の状態に設定を戻すときは、「INITIAL」メニュー (P.41) で設定してください。ただし、「INITIAL」メニューで「START」選択して初期化する場合に、「4. SCENE FIT」メニューで「デイリグチ」、「パーキング」、「エキホーム」、「ロウカ」、「ATM」が選択されているときは、一部の設定項目のみ、各シーンの初期値 (P.16) となります。

1. SYSTEM

H SYNC	0M
E ZOOM	×16
PRESETABLE	ON
SPOT AE	ON
SPOT AWB	ON
SCENE FIT	ON
MASKING	ON
ID DISP	OFF
ID SET	000000000000
ID PLACE	中央下⑤
GAIN PLACE	右下⑥
SERIAL	19200BPS
CAMERA. NO	1
DATA	8BIT
PARITY	NONE
INITIAL	EXIT

2. Y CONTROL

IRIS SEL	NORMAL
WIDTH H (SPOT)	9
WIDTH V (SPOT)	9
LOCATE H (SPOT)	4
LOCATE V (SPOT)	4
SSHT SEL	AUTO
SSHT LEVEL	-17 (表示左端 から3つめ)
MAX SSHT	1/8000
BRIGHT REV	7 (表示中央)
DARK REV	8 (表示中央)
GAIN SEL	AGC
SHUTTER (MGC)	1/60
MGC LEVEL	0 (表示中央)
IRIS LEVEL	0 (表示中央)
DNR(MGC)	AUTO1
SHUTTER (AGC)	AUTO
MAX GAIN	×40
×1 SHUTTER	1/60
×1→SLOW	0 (表示中央)
AGC LEVEL	0 (表示中央)
MAX AGC	+12 (表示右端)
AGC BOOST	OFF
DNR(AGC)	AUTO1
BW/COLOR	COLOR
BURST (BW SET)	ON
BURST (AUTO BW SET)	ON
COLOR→BW	+30 (表示右端)
BW→COLOR	-30 (表示左端)
TIMER	60
GRADATION	NORMAL
GAMMA	3 (表示中央)
KNEE	7 (表示右端)

W-CLIP	1 (表示左端 から1つめ)
SET UP	12 (表示右端 から1つめ)
FLICKER	OFF
DETAIL	+7 (表示右端 から3つめ)

3. COLOR

WB SEL	AUTO
LIGHT	ELECTRIC
AWB AREA	NORMAL
WIDTH H (SPOT)	9
WIDTH V (SPOT)	9
LOCATE H (SPOT)	4
LOCATE V (SPOT)	4
AWB R-Y	0 (表示中央)
AWB B-Y	0 (表示中央)
HUE R-Y (AWB)	+12 (表示中央)
HUE B-Y (AWB)	+12 (表示中央)
MWB R-Y	0 (表示中央)
MWB B-Y	0 (表示中央)
HUE R-Y (MWB)	+12 (表示中央)
HUE B-Y (MWB)	+12 (表示中央)
AWB LOCK	OFF
C LEVEL	+12 (表示中央)
SUPPRESS	+12 (表示中央)

4. SCENE FIT

SCENE FIT	USER 1
ID SET	USER *

5. MASKING

M1	OFF
M2	OFF
M3	OFF
WIDTH H (M1)	10
WIDTH V (M1)	10
LOCATE H (M1)	8
LOCATE V (M1)	4
WIDTH H (M2)	10
WIDTH V (M2)	10
LOCATE H (M2)	24
LOCATE V (M2)	11
WIDTH H (M3)	10
WIDTH V (M3)	10
LOCATE H (M3)	8
LOCATE V (M3)	18

6. P L A T F O R M

SPEED MODE	3SPEED
AUTO SPEED	EXIT
AUTO PAN SPEED	0.5DEG/S
AUTOTILT SPEED	0.25DEG/S
SMOOTH1 SPEED	3DEG/S
SMOOTH2 SPEED	3DEG/S
SMOOTH3 SPEED	3DEG/S
SMOOTH4 SPEED	3DEG/S
SMOOTH5 SPEED	3DEG/S
SMOOTH EDIT	1
SMOOTH 1~48SET	PRESET OFF (NO. 1~48)
	WAIT 0.3SEC (NO. 1~48)
START UP	NONE
CLEANING	NONE
INTERVAL	7
BOOT TIME	0 HOUR 0 MIN
LONG LIFE	ON

7. T I M E A D J (現在時刻)

年月**日 ** : **

8. S P E C I A L

PASSWORD	0000
MIC SPEED	4

各シーンの初期値

「4. SCENE FIT」メニューの「デイリグチ」、「パーキング」、「エキ ホーム」、「ロウカ」、「ATM」の初期値は以下の通りです。（工場出荷時設定と異なる部分のみ記載してあります）「4. SCENE FIT」メニューで「デイリグチ」、「パーキング」、「エキ ホーム」、「ロウカ」、「ATM」が選択されているとき、「INITIAL」メニューで「START」を選択すると、以下の設定に戻ります。

- デイリグチ

IRIS SEL : SFV
MAX GAIN : ×4

- パーキング

×1→SLOW : +30
DETAIL : +15

- エキ ホーム

IRIS SEL : SFV
SSHT SEL : 1/1500
×1→SLOW : +30
MAX GAIN : ×2
DETAIL : +30

- ロウカ

IRIS SEL : SPOT
WIDTH H : 5
WIDTH V : 5
LOCATE H : 6
LOCATE V : 10
×1→SLOW : -30
FLICKER : ON
LIGHT (AWB) : NATURAL

- ATM

IRIS SEL : SFV
MAX GAIN : ×4
AGC LEVEL : +15

設定アイテムの選択

メルックGシリーズコントローラの[SHIFT]ボタンを押すと、下記の画面が表示され、現在選択されているアイテムの番号が点滅します。

A D J I T E M

1 . S Y S T E M
2 . Y C O N T R O L
3 . C O L O R
4 . S C E N E F I T
5 . M A S K I N G
6 . P L A T F O R M
7 . T I M E A D J
8 . S P E C I A L

メルックGシリーズコントローラの[↑/ON]ボタン、[↓/OFF]ボタンでアイテムを選択後、[SHIFT]ボタン入力によりアイテム内部の各設定モードに入ります。詳しくはお使いのメルックGシリーズコントローラ取扱説明書をご参照願います。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

- 1. SYSTEM : 18ページ
- 2. Y CONTROL : 42ページ
- 3. COLOR : 85ページ
- 4. SCENE FIT : 101ページ
- 5. MASKING : 104ページ
- 6. PLATFORM : 111ページ
- 7. TIME ADJ : 132ページ
- 8. SPECIAL : 135ページ

「SYSTEM」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「1. SYSTEM」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

                                S Y S T E M

▶ H   S Y N C                   * * * * M
  E   Z O O M                   X 1 6
  P R E S E T A B L E          O N
  I D   D I S P                 O F F
  S E R I A L                   * * * * * B P S
  I N I T I A L                 E X I T

E X I T
```

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「E X I T」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

H SYNC : 19ページ
E ZOOM : 20ページ
PRESETABLE : 21ページ
ID DISP : 28ページ
SERIAL : 36ページ
INITIAL : 41ページ

「E ZOOM」メニュー

「1.SYSTEM」メニューで「E ZOOM」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```

                                     S Y S T E M
                                     * * * * M
▶  H   S Y N C                       X 1 6
   E   Z O O M
   P R E S E T A B L E               O N
   I D   D I S P                       O F F
   S E R I A L                           * * * * * B P S
   I N I T I A L                         E X I T

E X I T
```

電子ズーム機能を ON/OFF することができます。

スイッチ説明

[↑/ON] ボタン：「X16」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「OFF」→「X2」→「X4」→「X8」→「X16」→…

[↓/OFF] ボタン：「X16」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「X16」→「X8」→「X4」→「X2」→「OFF」→…

[SHIFT] ボタン：設定を記憶し、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ

[電子ズーム機能について]

ON 選択時、リモートコントローラ (R-2450) からのズーム操作によって、電子的に 1 倍～16 倍の間でズームすることができます。また、現在のズーム倍率をプリセットすることができます。

(最大 16 ポジション)

注 1) 電子ズーム動作時は解像度、S/N が低下しますのでご注意ください。

注 2) IRIS SEL 設定が SFV の場合、電子ズームは強制的に 1 倍となります。

注 3) リモートコントローラ (R-2450) を使用しないと、望遠、広角の制御はできません。

「PRESETABLE」メニュー

「1.SYSTEM」メニューで「PRESETABLE」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

	S	Y	S	T	E	M							
H	S	Y	N	C			* * * * M						
E	Z	O	O	M			X 1 6						
• P	R	E	S	E	T	A	B	L	E	O	N		
I	D		D	I	S	P				O	F	F	
S	E	R	I	A	L					* * * * * B	P	S	
I	N	I	T	I	A	L				E	X	I	T
E	X	I	T										

SCENE FIT 設定、SPOT AE 枠設定、SPOT AWB 枠設定、MASKING 設定の内容をプリセット 1～16 のポジションへ登録することができます。

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF]ボタン：「ON」の表示を、ボタン押下毎に「ON」→「OFF」→「ON」→… と遷移します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶し、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ

[PRESETABLEについて]

- PRESETABLE 機能で登録可能なプリセット番号は、SPOT AE、SPOT AWB、SCENE FIT、MASKING が 1～16 ポジションまで（ポジションごとの MASKING 表示は最大 3 箇所まで）です。
- 該当項目が ON 設定のとき、プリセット登録時に該当項目の設定内容を記憶し、プリセット呼び出し時に該当項目の記憶内容をカメラに反映します。
- 該当項目が OFF 設定のとき、プリセット登録時に該当項目の設定内容を記憶しません。このとき、前回記憶内容が継続されます。またプリセット呼び出し時に該当項目の記憶内容をカメラに反映しません。

「PRESETABLE ON」メニュー

「1.SYSTEM」メニューで「PRESETABLE」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```

                S Y S T E M

H       S Y N C           * * * * M
E       Z O O M           × 1 6
▶ P R E S E T A B L E   O N                               S E T
I D     D I S P           O F F
S E R I A L             * * * * * B P S
I N I T I A L           E X I T

E X I T
```

プリセッタブル機能を設定したい場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン：反転表示を「SET」→「ON」→「SET」・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン：「ON」反転時、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ

：「SET」反転時、「PRESETABLE SET」メニューに遷移します。→23ページへ

「PRESETABLE SET」メニュー

「PRESETABLE SET」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```
                P R E S E T A B L E      S E T

▶ S P O T      A E                O N
  S P O T      A W B              O N
  S C E N E    F I T              O N
  M A S K I N G                O N

E X I T
```

SPOT AE 枠設定、SPOT AWB 枠設定、各 SCENE FIT 設定、MASKING 設定の内容をプリセット登録し、プリセット呼出しの際に登録内容を再現する機能です。

[↑/ON]／[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「E X I T」の文字が反転表示されます。この状態で[SHIFT]ボタンを押すと、「1. SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ

[↑/ON]／[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

```
                SPOT AE : 24ページ
                SPOT AWB : 25ページ
                SCENE FIT : 26ページ
                MASKING : 27ページ
```

「SPOT AE」項目

「ON」を設定すると、「IRIS SEL」メニュー内「SPOT」選択時、WINDOW 設定 (P. 45) の PRESETABLE 機能が有効になります。

P R E S E T A B L E S E T

▶	S	P	O	T		A	E		O	N		
	S	P	O	T		A	W	B		O	N	
	S	C	E	N	E		F	I	T		O	N
	M	A	S	K	I	N	G				O	N
	E	X	I	T								

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF]：ボタン押下毎に「ON」→「OFF」→「ON」・・・と遷移します。

[SHIFT]：設定値を記憶して「PRESETABLE SET」メニューに戻ります。→23ページへ

「SPOT AWB」項目

「ON」を設定すると、「AUTO WB SET」メニュー内「AWB AREA」の「SPOT」選択時、WINDOW 設定 (P. 91) の PRESETABLE 機能が有効になります。

P R E S E T A B L E S E T

	S	P	O	T	A	E	O	N		
▶	S	P	O	T	A	W	B	O	N	
	S	C	E	N	E	F	I	T	O	N
	M	A	S	K	I	N	G	O	N	
	E	X	I	T						

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF]：ボタン押下毎に「ON」→「OFF」→「ON」・・・と遷移します。

[SHIFT]：設定値を記憶して「PRESETABLE SET」メニューに戻ります。→23ページへ

「SCENE FIT」項目

「ON」を設定すると、「SCENE FIT」メニューの設定 (P. 101) の PRESETABLE 機能が有効になります。

P R E S E T A B L E S E T

S P O T	A E	O N
S P O T	A W B	O N
▶ S C E N E	F I T	O N
M A S K I N G		O N
E X I T		

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF]：ボタン押下毎に「ON」→「OFF」→「ON」・・・と遷移します。

[SHIFT]：設定値を記憶して「PRESETABLE SET」メニューに戻ります。→23ページへ

「MASKING」項目

「ON」を設定すると、「MASKING」メニューの設定 (P.104) PRESETABLE 機能が有効になります。

P R E S E T A B L E S E T

S	P	O	T	A	E	O	N		
S	P	O	T	A	W	B	O	N	
S	C	E	N	E	F	I	T	O	N
▶	M	A	S	K	I	N	G	O	N
E	X	I	T						

「ON」を設定すると、MASKING 機能が有効になります。

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF]：ボタン押下毎に「ON」→「OFF」→「ON」・・・と遷移します。

[SHIFT]：設定値を記憶して「PRESETABLE SET」メニューに戻ります。→23ページへ

「ID DISP」メニュー

「1.SYSTEM」メニューで「ID DISP」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```

                                S Y S T E M
                                * * * * M
                                X 1 6
                                O N
                                O F F
                                * * * * * B P S
                                E X I T
                                E X I T

```

画面に最大 12 文字までの ID（任意の文字列）を表示すること、電子増感倍率の表示を行うことができます。各設定内容は下記の通りです。

[OFF] : ID 及び電子増感倍率の表示設定を行いません。

[ID] : ID のみ画面に表示させたい場合選択します。

[GAIN] : 電子増感倍率のみ画面に表示させたい場合選択します。

[ID&GAIN] : ID 及び電子増感倍率を画面に表示させたい場合選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「ID」→「GAIN」→「ID&GAIN」→「OFF」→…と遷移します。

[↓/OFF]ボタン : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「ID&GAIN」→「GAIN」→「ID」→「OFF」→…と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 「OFF」表示時、設定を記憶し「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ

「ID」表示時、設定を記憶し「ID」メニューに遷移します。→29ページへ

「GAIN」表示時、設定を記憶し「GAIN」メニューに遷移します。→31ページへ

「ID&GAIN」表示時、設定を記憶し「ID&GAIN」メニューに遷移します。→32ページへ

「ID」メニュー

「ID DISP」メニューで「ID」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

```

                S Y S T E M

H   S Y N C           * * * * M
E   Z O O M           X 1 6
P R E S E T A B L E   O N
▶ I D   D I S P       I D                               S E T
S E R I A L           * * * * * B P S
I N I T I A L         E X I T

E X I T
```

ID の表示内容、表示位置を変更したい場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

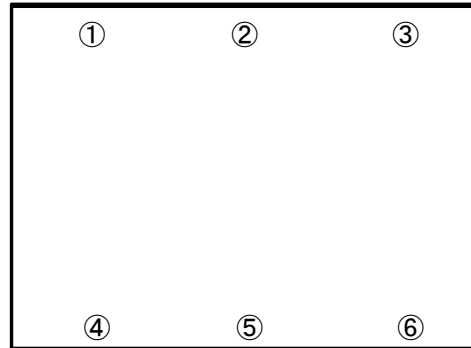
[↑/ON]/[↓/OFF] ボタン：反転表示を、ボタン押下毎に「ID」→「SET」→「ID」・・・と遷移します。

[SHIFT] ボタン：「ID」反転時、「1. SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ

「SET」反転時、「ID SET」項目に遷移します。→33ページへ

[文字表示機能について]

- CIT-7550 では 12 桁のカメラ ID 表示（画面上に任意の文字列を表示すること）及び、電子増感倍率表示の選択が可能で、表示位置は 6 箇所（上部左〔①〕、上部中央〔②〕、上部右〔③〕、下部左〔④〕、下部中央〔⑤〕、下部右〔⑥〕）から選択できます。



「GAIN」メニュー

「ID DISP」メニューで「GAIN」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

```

                S Y S T E M

H   S Y N C           * * * * M
E   Z O O M           X 1 6
P R E S E T A B L E   O N
▶ I D   D I S P       G A I N           S E T
S E R I A L           * * * * * B P S
I N I T I A L         E X I T

E X I T
```

電子増感倍率の表示位置を変更したい場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF]ボタン：反転表示を、ボタン押下毎に「GAIN」→「SET」→「GAIN」・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン：「GAIN」反転時、「1. SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ

「SET」反転時、「GAIN PLACE」項目に遷移します。→35ページへ

「ID&GAIN」メニュー

「ID DISP」メニューで「ID &GAIN」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

```

                S Y S T E M

H   S Y N C           * * * * M
E   Z O O M           X 1 6
P R E S E T A B L E   O N
▶ I D   D I S P       I D & G A I N   S E T
S E R I A L           * * * * * B P S
I N I T I A L         E X I T

E X I T
```

ID の表示内容、表示位置、電子増感倍率の表示位置を変更したい場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF] ボタン：反転表示を「ID&GAIN」→「SET」→「ID&GAIN」・・・と遷移します。

[SHIFT] ボタン：「ID&GAIN」反転時、「1. SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ

「SET」反転時、「ID SET」項目に遷移します。→33ページ

「ID SET」項目

「ID」、「ID&GAIN」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

I D S E T

アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノ
ハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワンパピプペポ
ガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボィェャユョ
年月日時 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K
L M N O P Q R S T U V W X Y Z ■ → ← ↑ ↓ ! ? / + -
= & ~ () < > : ; . . 。 , ”
◀ ▶ 消 終

> * * * * * * * * * * * * * * * * <

*****部に設定した文字列（ID）の表示を行います（最大12文字）。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：反転文字が右へ遷移します。右端の場合は、左端へ遷移します。

[↓/OFF]ボタン：反転文字が下へ遷移します。下端の場合は、「終」へ遷移します。

「終」の場合は、上端へ遷移します。

[SHIFT]ボタン：選択文字が「◀」の場合は、ID表示の反転部が1つ左へ遷移します。

：選択文字が「▶」の場合は、ID表示の反転部が1つ右へ遷移します。

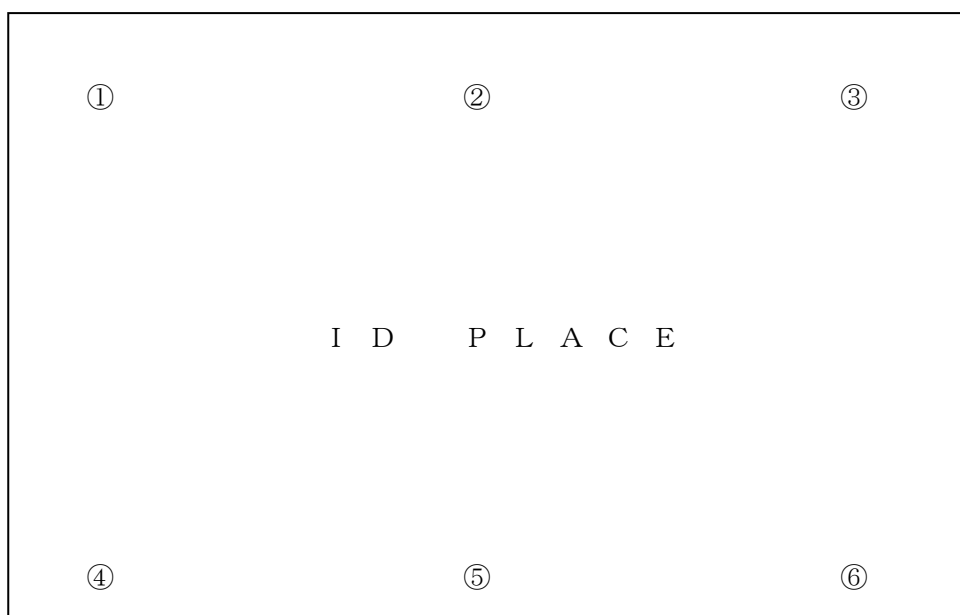
：選択文字が「消」の場合は、ID表示の文字を全て空欄にします（オールクリア）。

：選択文字が「終」の場合は、「ID PLACE」項目に遷移します。→34ページ

：選択文字が上記以外の場合は、選択している文字をID表示の反転部に表示し、ID表示の反転部が1つ右に遷移します。

「ID PLACE」項目

「ID SET」項目で“終”を選択すると、下記の画面が表示されます。



IDの表示位置を設定します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：ID表示位置を…→①→②→③→④→⑤→⑥→①→…と遷移します。

[↓/OFF]ボタン：ID表示位置を…→①→⑥→⑤→④→③→②→①→…と遷移します。

[SHIFT]ボタン：本メニューに「ID」メニューから遷移した場合、「1. SYSTEM」メニューに戻ります。

→18ページへ

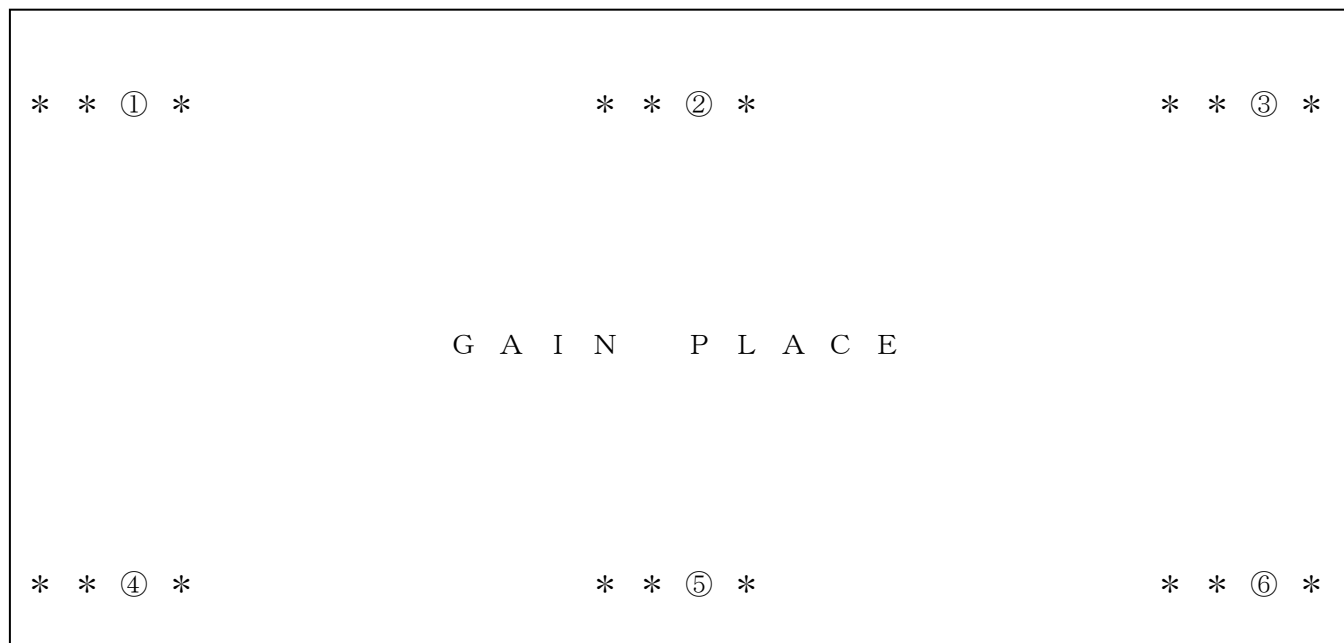
「ID&GAIN」メニューから本項目に遷移した場合、「GAIN PLACE」項目に遷移します。

→35ページへ

※ID表示は、文字の中央位置が①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥の位置に設定されます。

「GAIN PLACE」項目

「GAIN」メニューで「SET」を選択する、または「ID&GAIN」メニューから「ID PLACE」項目にて設定すると、下記画面が表示されます。



電子増感倍率の表示位置を設定します。

注) 「I D P L A C E」項目で設定した I D 表示位置と重複した位置や、I D 表示位置が①または③の場合②の位置、④または⑥の場合⑤の位置に電子増感倍率表示位置を設定することはできません。

スイッチ説明

[↑/ON] ボタン : 増感倍率表示位置を・・・→①→②→③→④→⑤→⑥→①→・・・と遷移します。

[↓/OFF] ボタン : 増感倍率表示位置を・・・→①→⑥→⑤→④→③→②→①→・・・と遷移します。

[SHIFT] ボタン : 現在の位置を記憶し、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ

「SERIAL」メニュー

「1. SYSTEM」メニューで「SERIAL」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```

                                S Y S T E M

H   S Y N C                    * * * * M
E   Z O O M                    X 1 6
P R E S E T A B L E          O N
I D   D I S P                 O F F
▶ S E R I A L                * * * * * B P S
I N I T I A L                E X I T

E X I T
```

RS-422 通信の通信速度を設定することができます。

UP : ボタン押下毎に、「1200」→「2400」→「4800」→「9600」→「19200」と遷移します。

DOWN : ボタン押下毎に、「19200」→「9600」→「4800」→「2400」→「1200」と遷移します。

MODE : 設定値を記憶し、「*****BPS」メニューに遷移します。→37ページへ

注意)

本メニューの設定、電源再投入するまで有効にはなりません。変更したい項目を全て設定した後、最後に一度電源を再投入し正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、再度設定し直してください。

ご使用の専用コントローラもしくはパソコン、シーケンサの通信方式を良くご確認の上、設定を行ってください。誤った設定を行うと、制御が出来なくなりますのでくれぐれもご注意ください。

また、本メニュー設定は、SYSTEMメニューのイニシャルセット YES を選択しても初期化されず、設定が保持されます。

S Y S T E M

H	S	Y	N	C	*	*	*	*	M								
E	Z	O	O	M	X	1	6										
P	R	E	S	E	T	A	B	L	E	O	N						
I	D	D	I	S	P	O	F	F									
▶	S	E	R	I	A	L	*	*	*	*	*	B	P	S	S	E	T
I	N	I	T	I	A	L	E	X	I	T							
E	X	I	T														

RS-422 通信の詳細を設定したい場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：反転表示をボタン押下毎に、「SET」→「*****BPS」→「SET」・・・と遷移します。

[↓/OFF]ボタン：反転表示をボタン押下毎に、「SET」→「*****BPS」→「SET」・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン：「*****BPS」反転時、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ
「SET」反転時、「SERIAL SET」メニューに遷移します。→38ページへ

「SERIAL SET」メニュー

S E R I A L S E T

▶ C A M E R A . N O * * *
D A T A 8 B I T
P A R I T Y N O N E

E X I T

RS-422 通信時のカメラ No.、データ形式、パリティビットの設定を行います。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF] ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT] ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「E X I T」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「1. SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ

[↑/ON]/[↓/OFF] ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

CAMERA NO. : 39ページ

DATA : 40ページ

PARITY : 40ページ

「CAMERA. NO」項目

S E R I A L S E T

▶ C A M E R A . N O	* * *
D A T A	8 B I T
P A R I T Y	N O N E

E X I T

RS-422 通信時のカメラ No. を設定します。

スイッチ説明

- [↑/ON]ボタン : ボタン押下毎に 1→254 まで 1 ずつ (連続時 4 ずつ) UP します。
(254 を超えると 1 に戻ります。)
- [↓/OFF]ボタン : ボタン押下毎に 254→1 まで 1 ずつ (連続時 4 ずつ) DOWN します。
(1 を超えると 254 に戻ります。)
- [SHIFT]ボタン : 設定値を記憶し、「SERIAL SET」メニューに戻ります。→38ページへ

「DATA」項目

S E R I A L S E T

	C A M E R A . N O	* * *
▶	D A T A	8 B I T
	P A R I T Y	N O N E

E X I T

RS-422 通信時のデータ形式を設定します。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン：ボタン押下毎に・・・→「7BIT」→「8BIT」→「7BIT」・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン：設定値を記憶し、「SERIAL SET」メニューに戻ります。→38ページへ

「PARITY」項目

RS-422 通信時のパリティビットを設定します。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン：ボタン押下毎に・・・→「ODD」→「EVEN」→「NONE」→「ODD」→・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン：設定値を記憶し、「SERIAL SET」メニューに遷移します。→38ページへ

[SERIAL設定について]

- SERIAL 設定は、通信設定が RS-422 の時のみ有効です。
- 通信設定は、カメラ天板の制御選択スイッチ（ワンライン/RS-422 切換スイッチ）を RS-422 側に設定することで行います。スイッチの位置は「各部の名称」（8 ページ）をご参照ください。

INITIAL」メニュー

「1.SYSTEM」メニューで「INITIAL」を選択します。

「START」選択で、「2.Y CONTROL」、「3.COLOR」メニューの各設定内容を工場出荷時設定（P.14）に初期化します。

ここで初期化される内容は、「4.SCENE FIT」メニューで現在選択されているシーンの設定内容になります。USER1～USER3 が選択されている場合は工場出荷設定に、その他のシーンが選択されているときは、各シーンの初期値（P.16）に戻します。

注）「4.SCENE FIT」メニューで、現在選択されているシーン以外の設定内容は初期化されません。

「ALL INIT」選択で、「7.TIME ADJ」メニュー以外の全てのメニューの各設定内容を工場出荷設定に初期化します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：「EXIT」の表示を、ボタン押下毎に「EXIT」→「START」→「ALL INIT」→「EXIT」…と遷移します。

[↓/OFF]ボタン：「EXIT」の表示を、ボタン押下毎に「EXIT」→「ALL INIT」→「START」→「EXIT」…と遷移します。

[SHIFT]ボタン：「START」、「ALL INIT」表示時、それぞれ決まったメニュー設定値をクリアして「1.SYSTEM」メニューに戻ります。「EXIT」表示時、何も処理せずに「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→18ページへ

「Y CONTROL」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「2.Y CONTROL」を選択したとき下記画面が表示されます。

```

                Y    C    O    N    T    R    O    L

▶ I R I S    S E L          N O R M A L
  G A I N    S E L          A G C
  B W / C O L O R          C O L O R
  G R A D A T I O N        N O R M A L
  F L I C K E R            O F F
  D E T A I L              L < < < < < ↓ > > > > > H

E X I T
```

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

IRIS SEL : 43ページ
GAIN SEL : 56ページ
BW/COLOR : 72ページ
GRADATION : 79ページ
FLICKER : 83ページ
DETAIL : 84ページ

「IRIS SEL」メニュー

「2.Y CONTROL」メニューで「IRIS SEL」を選択します。

アイリスの設定を行います。

[NORMAL] : 標準の撮像条件です。画面全体の平均光量により明るさが制御されます。

[SPOT] : 逆光条件、過順光の時使用します。次メニューで設定した測光枠内の信号レベルが最適になるようアイリス、AGC等が制御されます。

[SFV] : スーパーファインビュー機能が有効になり、明るすぎて見づらい部分の感度を抑え、暗すぎて見づらい部分の感度を上げることにより、画面全体としての感度がバランスのとれた映像で映し出されます。

[PEAK] : ピーク測光機能が有効になり、部分的に明るい所が見やすくなるように明るさが制御されます。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : 「NORMAL」の表示が、ボタン押下毎に・・・→「SPOT」→「SFV」→「PEAK」→「NORMAL」→・・・と遷移します。

[↓/OFF]ボタン : 「NORMAL」の表示が、ボタン押下毎に・・・→「PEAK」→「SFV」→「SPOT」→「NORMAL」→・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 「NORMAL」表示時、設定を記憶し「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ
「SPOT」表示時、設定を記憶し「SPOT」メニューに遷移します。→44ページへ
「SFV」表示時、設定を記憶し「SFV」メニューに遷移します。→48ページへ
「PEAK」表示時、設定を記憶し「PEAK」メニューに遷移します。→53ページへ

「SPOT」メニュー

「IRIS SEL」メニューで「SPOT」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

```

                Y      C O N T R O L
    ▶ I R I S      S E L      S P O T      S E T
      G A I N      S E L      A G C
      B W / C O L O R      C O L O R
      G R A D A T I O N      N O R M A L
      F L I C K E R      O F F
      D E T A I L      L < < < < < ↓ ▷ ▷ ▷ ▷ H

    E X I T

```

逆光補正用測光枠の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン：反転表示を「SPOT」→「SET」→「SPOT」・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン：「SPOT」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ

「SET」反転時、「WINDOW」メニューに遷移します。→45ページへ

「WINDOW」メニュー

「SPOT」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示され、画面上に測光枠が明るく表示されます。

各項目にて測光枠のサイズ、位置を設定します。詳しくは、「逆光補正用測光枠について (P. 47)」をご参照ください。

```
W I N D O W

▶ W I D T H   H   * *
  W I D T H   V   * *

  L O C A T E   H   * *
  L O C A T E   V   * *

E X I T
```

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

WIDTH H : 46ページ

WIDTH V : 46ページ

LOCATE H : 46ページ

LOCATE V : 46ページ

「WIDTH H」項目

水平方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：WIDTH Hの**が1→1.5まで変化します。

[↓/OFF]ボタン：WIDTH Hの**が1.5→1まで変化します。

[SHIFT]ボタン：設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→45ページへ

「WIDTH V」項目

垂直方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：WIDTH Vの**を1→1.5まで変化します。

[↓/OFF]ボタン：WIDTH Vの**を1.5→1まで変化します。

[SHIFT]ボタン：設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→45ページへ

「LOCATE H」項目

水平方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：LOCATE Hの**を1→1.5まで変化します。

[↓/OFF]ボタン：LOCATE Hの**を1.5→1まで変化します。

[SHIFT]ボタン：設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→45ページへ

「LOCATE V」項目

垂直方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：LOCATE Vの**を1→1.5まで変化します。

[↓/OFF]ボタン：LOCATE Vの**を1.5→1まで変化します。


[SHIFT]ボタン：設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→45ページへ

[逆光補正用測光枠について]

- 逆光補正用の測光枠は画面上の15（水平）X15（垂直）に分割した枠の中でエリアを設定することができます。設定メニュー「WIDTH」では測光枠の右下角を移動して大きさを、「LOCATE」では測光枠の左上角を移動して測光枠の位置を設定します。

測光枠設定例（画面上にはマスや位置番号は表示されません。）

	水 平														
位置番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

設定エリア :  (画面上では明るく表示されます。)

例 : サイズ設定 (水平、垂直) = (9、9)

位置設定 (水平、垂直) = (5、5)

※設定項目「WIDTH」、「LOCATE」設定中は、設定値の増減と連動して設定エリアが明るく表示されます。

「SFV」メニュー

「IRIS SEL」メニューで「SFV」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

```

                Y      C O N T R O L
          ▶ I R I S      S E L      S F V      S E T
            G A I N      S E L      A G C
            B W / C O L O R      C O L O R
            G R A D A T I O N      N O R M A L
            F L I C K E R      O F F
            D E T A I L      L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H

          E X I T
```

スーパーファインビュー機能の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン：反転表示を「SFV」→「SET」→「SFV」・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン：「SFV」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ

「SET」反転時、「SFV SET」メニューに遷移します。→50ページへ

[S F Vについて]

- S F Vとは、感度の高い低速シャッターによる撮影と感度の低い高速シャッターによる撮影を同時に行い、映像の暗い部分を感度の高い低速シャッターで得られた映像、映像の明るい部分を感度の低い高速シャッターで得られた映像に画面合成することで、明るい部分と暗い部分の撮影を同時に可能としている機能です。
- S F V時の低速側シャッター速度は、1/60 s もしくは 1/100 s のいずれかになります。高速側シャッター速度は、「SSHT SEL」メニューにて設定可能です。

S F V動作時は下記の注意が必要です。

- (1) S F Vは、暗いところでは効果が働きません。約 100lx 以下で自動的に OFF になります。
- (2) S F Vは画面合成を行っているため、合成境界部にノイズが発生することがあります。境界部のノイズは、低速側シャッター速度と高速側シャッター速度の差が大きくなればなるほど目立つようになります。また、明るい部分と暗い部分がはっきりと分かれていない被写体の場合に目立つ傾向があります。このような被写体の場合は、高速側シャッター速度をあまり速く設定しないようにしてください。
- (3) S F Vの高速側シャッター速度は 1/1200 s 以上と高速であるため、放電灯照明下または高周波点灯照明下での撮影では以下のようなフリッカが発生する恐れがありますので、ご注意ください。
 - [50Hz 電源地区]
高輝度部の映像が激しいフリッカが発生する。
高輝度部の色が激しく赤っぽくなったり青っぽくなったりする。
 - [60Hz 電源地区]
高輝度部の映像がゆっくりとした変化で大きくなったり小さくなったりする。
全体の色がゆっくりとした変化で赤っぽくなったり青っぽくなったりする。

「SFV SET」メニュー

「SFV」メニューで「SET」を選択したとき、下記画面が表示されます。

```

                S F V   S E T
.
▶ S S H T   S E L           A U T O

    S S H T   L E V E L       L ◀ ◀ → ◀ ◀ — ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H
M A X   S S H T           1 / 8 0 0 0

E X I T
```

各項目にて、高速側シャッタ速度の設定を行います。詳しくは「SFVについて」をご参照ください。

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

SSHT SEL : 51ページ

SSHT LEVEL : 51ページ

MAX SSHT : 52ページ

「SSHT SEL」メニュー

「SFV SET」メニューで「SSHT SEL」を選択します。

高速側シャッタ速度を設定します。「AUTO」設定時は高速側シャッタ速度を被写体に応じて自動で設定するモードに、「AUTO」設定以外では高速側シャッタ速度を設定された値に固定とします。

高速側シャッタ速度を高速に設定するほど、明暗の差が大きい被写体に対応できます。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : ボタン押下毎に「AUTO」→「1/1200」→「1/1500」→「1/2000」→「1/2500」→「1/3000」→「1/4000」→「1/5000」→「1/6000」→「1/8000」→「1/12000」→「1/16000」と遷移します。

[↓/OFF]ボタン : ボタン押下毎に「1/16000」→「1/12000」→「1/8000」→「1/6000」→「1/5000」→「1/4000」→「1/3000」→「1/2500」→「1/2000」→「1/1500」→「1/1200」→「AUTO」と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 設定値を記憶して「SFV SET」メニューに戻ります。→50ページへ

注) 高速側シャッタ速度を高速に設定すると、低速側シャッタ映像と高速側シャッタ映像の合成部にノイズが発生する場合があります

「SSHT LEVEL」メニュー

「SFV SET」メニューで「SSHT LEVEL」を選択します。

「SSHT SEL」設定が「AUTO」の時の、高速側シャッタによる映像の明るさを設定します。

H方向で高速側シャッタによる映像が明るくなるように、L方向で暗くなるように制御します。

※本設定は、「SSHT SEL」設定が「AUTO」の時のみ有効です。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン : L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン : 設定を記憶して「SFV SET」メニューに戻ります。→50ページ

「MAX SSHT」メニュー

「SFV SET」メニューで「MAX SSHT」を選択します。

「SSHT SEL」設定が「AUTO」の時の、高速側シャッタ速度の最大速度を設定します。

高速側シャッタ速度が、本メニューで設定された値より高速にならないように制御されます。

※本設定は、「SSHT SEL」設定が「AUTO」の時のみ有効です。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : ボタン押下毎に「1/1500」→「1/2000」→「1/2500」→「1/3000」→「1/4000」→「1/5000」
→「1/6000」→「1/8000」→「1/12000」→「1/16000」と遷移します。

[↓/OFF]ボタン : ボタン押下毎に「1/16000」→「1/12000」→「1/8000」→「1/6000」→「1/5000」→「1/4000」
→「1/3000」→「1/2500」→「1/2000」→「1/1500」と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 設定値を記憶して「SFV SET」メニューに戻ります。→50ページへ

注) 高速側シャッタ速度の最大速度を高速に設定すると、逆光が強くなった場合に低速側シャッタ映像と高速側シャッタ映像の合成部にノイズが発生する場合があります

「PEAK」メニュー

「IRIS SEL」メニューで「PEAK」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

```

                Y      C O N T R O L
▶ I R I S      S E L      P E A K      S E T
  G A I N      S E L      A G C
  B W / C O L O R      C O L O R
  G R A D A T I O N      N O R M A L
  F L I C K E R      O F F
  D E T A I L      L < < < < < ↓ ▷ ▷ ▷ ▷ H

E X I T
```

ピーク測光の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン : 反転表示を「PEAK」→「SET」→「PEAK」・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 「PEAK」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ

「SET」反転時、「PEAK SET」メニューに遷移します。→54ページへ

「PEAK SET」メニュー

「PEAK」メニューで「SET」を選択したとき、下記画面が表示されます。

P E A K S E T

▶ B R I G H T R E V L < < < < < ↓ > > > > > H
D A R K R E V L < < < < < ↓ > > > > > H

E X I T

各項目にてピーク測光の設定をします。

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「E X I T」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

BRIGHT REV : 55ページ

DARK REV : 55ページ

「BRIGHT REV」メニュー

「PEAK SET」メニューで「BRIGHT REV」を選択します。

ピーク測光の効果を設定します。

H方向で部分的に明るい所がより暗く（ピーク測光の効果が強く）なるように制御します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「PEAK SET」メニューに戻ります。→54ページへ

注) 本設定をH方向に大きく設定した場合、アイリス動作がハンチングを起こす場合があります。

「DARK REV」メニュー

「PEAK SET」メニューで「DARK REV」を選択します。

ピーク測光時の暗い所の映像補正量を設定します。

ピーク測光時は部分的に明るい所を見えるように制御するため、暗い部分は逆に見づらくなります。このため、部分的に明るい被写体を撮影していると判断したときに、暗い部分の映像を持ち上げる補正処理を入れています。H方向で暗い所の映像がより明るくなるように補正をかけます。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「PEAK SET」メニューに戻ります。→54ページへ

注) 本設定をH方向に大きく設定した場合、暗い部分の映像にノイズが目立つ場合があります。

「GAIN SEL」メニュー

「2.Y CONTROL」メニューで「GAIN SEL」を選択します。

ゲインの値を自動で変化させるか手動で調整するかを選択することができます。

[AGC]:明るさに応じてゲインの値が自動的に変化します。

[MGC]:ゲインの値を手動で調整します。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン: 「AGC」の表示を、ボタン押下毎に「AGC」→「MGC」→「AGC」・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン: 「MGC」表示時、設定を記憶し「MGC」メニューに遷移します。→56ページへ

「AGC」表示時、設定を記憶し「AGC」メニューに遷移します。→62ページへ

「MGC」メニュー

「GAIN SEL」メニューで「MGC」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

```

                Y      C O N T R O L
                I R I S      S E L      N O R M A L
▶ G A I N      S E L      M G C      S E T
B W / C O L O R      C O L O R
G R A D A T I O N      N O R M A L
F L I C K E R      O F F
D E T A I L      L < < < < < ↓ > > > > > H
E X I T
```

MGCの詳細設定を行いたい場合は、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン: 反転表示を「MGC」→「SET」→「MGC」・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン: 「MGC」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ

「SET」反転時、「MGC SET」メニューに遷移します。→57ページへ

「MGC SET」メニュー

「MGC」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

                M G C   S E T

▶ S H U T T E R           1 / 6 0
M G C   L E V E L           L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H
I R I S   L E V E L           L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H
D N R                       A U T O 1

E X I T
```

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「E X I T」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューへ戻ります。→42ページへ

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

SHUTTER : 58ページ
MGC LEVEL : 60ページ
IRIS LEVEL : 60ページ
DNR : 61ページ

[高速シャッターについて]

■ 高速シャッターを使用する場合は下記の注意が必要です。

- (1) シャッター速度が速くなるほど十分な光量を必要とします。(相対的な感度が低下します。)
- (2) 50Hz 電源地区における放電灯照明下でフリッカが気になる場合は、1/100 s シャッターを選択することでもフリッカを抑圧できます。
注) MGC 設定時はフリッカキャンセル機能をONにすることができませんので、1/100 s シャッターを利用してください。
- (3) 50Hz 電源地区における放電灯照明下または高周波点灯照明下では 1/250 s 以上の高速シャッターは激しいフリッカを発生しますのでご注意ください。
- (4) 高輝度被写体に対して露出調節のために超高速シャッターで長期間使用することは避けてください。CCD のカラーフィルタの退色により色再現性が劣化する場合があります。
- (5) 60Hz 電源地区における放電灯照明下で高速シャッターを使用しますとゆっくりとした光量変化を生じます。このため画面に周期的な S/N の変動および色の変化が発生しますのでご注意ください。

[手動電子増感機能について]

- 電子増感機能とは、マイコンによる 1/60 s 以上の低速シャッター制御およびデジタルメモリを用いた信号補間処理を行うことで感度アップを行う機能です。
- CIT-7550 では、標準時(シャッタースピード 1/60 s)に対して×1 倍から×40 倍まで手動で感度アップを行うことができます。

電子増感動作時は下記の注意が必要です。

- (1) 動きのある被写体は、感度がアップするほどぶれを生じます。
- (2) 増感動作時、レンズ絞りは開放に固定されますので、アイリス調整は出来ません。太陽の光は見ないでください。撮像素子が焼きつくことがあります。
- (3) 増感倍率が高いときにはノイズが目立つ場合があります。また、周囲温度が高く、増感倍率×16 倍以上のときには、CCD の固定パターンノイズ(画面の一定位置に点として見えるノイズ)が目立つ場合があります。
- (4) 手動電子増感設定などで画面を明るくしすぎた場合、コントローラの電源を ON/OFF すると同期がかかりにくくなる場合があります。
- (5) 手動電子増感設定などで画面を明るくしすぎた場合、ホワイトバランスがずれたり、周期的に色相が変化したりする場合があります。この場合、電子増感倍率を下げて適切な明るさにするか、自動電子増感設定にしてご使用ください。

「MGC LEVEL」項目

「MGC SET」メニューで「MGC LEVEL」を選択します。

ゲインの設定を行うことができます。H方向でゲインが大きく、L方向でゲインが小さくなります。

注) ゲインを大きく設定すると、被写体によっては画像がハンチングを起こす場合があります。

ゲインを小さく設定すると、暗い時に映像が見つらい場合があります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン : L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン : 設定を記憶して「MGC SET」メニューへ遷移します。→57ページへ

「IRIS LEVEL」項目

「MGC SET」メニューで「IRIS LEVEL」を選択します。

画面の明るさを調整することができます。

H方向で画面が明るくなり、L方向画面が暗くなります。

注) IRIS LEVEL 設定がLかHに極端に片寄ると、被写体によってはアイリスが開かなかったり、画面がハンチングを起こす場合があります。また、急激に光量が変化したときには、アイリスが追従して映像が見えるまでに時間が掛かる場合があります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン : L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン : 設定を記憶して「MGC SET」メニューへ遷移します。→57ページへ

「DNR」項目

「MGC SET」メニューで「DNR」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```

                M G C   S E T

S H U T T E R           1 / 6 0
M G C   L E V E L       L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H
I R I S   L E V E L     L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H
▶ D N R                A U T O 1

E X I T
```

通常は AUTO1 で使用してください。使用詳細は下記の[デジタルノイズリダクションについて]を参照し、最適の状態を設定してください。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：「AUTO1」の表示を、ボタン押下毎に「AUTO1」→「AUTO2」→「LOW」→「MIDDLE」→「HIGH」→「OFF」→「AUTO1」・・・と遷移します。

[↓/OFF]ボタン：「AUTO1」の表示を、ボタン押下毎に「AUTO 1」→「OFF」→「HIGH」→「MIDDLE」→「LOW」→「AUTO2」→「AUTO1」→・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「MGC SET」メニューに戻ります。→57ページへ

[デジタルノイズリダクションについて]

- カメラ映像ノイズには固定パターンノイズとランダムノイズがあります。デジタルノイズリダクション（以下 DNR）はゲインアップをおこなった際に生じるランダムノイズの低減を行います。レベルは LOW→MIDDLE→HIGH の順でランダムノイズの低減レベルが上がって行きます。
- DNR 動作時は次の注意が必要です。
低減レベルを上げるほど（HIGH にするほど）、垂直解像度が若干悪くなります。
また、動きのある被写体は低減レベルを上げるほど（HIGH にするほど）、映像はぶれを生じます。
- 「AUTO1」は動きのある被写体に対して映像ぶれが生じにくくなっていますが、DNR の効果がうすい場合があります。「AUTO2」は動きのある被写体に対して映像がぶれやすくなっていますが、DNR の効果は大きくなります。

「AGC」メニュー

「GAIN SEL」メニューで「AGC」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転し、右側に「SET」が表示されます。

```

                Y   C O N T R O L
    I R I S     S E L           N O R M A L
    ▶ G A I N   S E L           A G C           S E T
    B W / C O L O R           C O L O R
    G R A D A T I O N         N O R M A L
    F L I C K E R             O F F
    D E T A I L               L < < < < < ↓ ▷ ▷ ▷ ▷ ▷ H
    E X I T

```

AGCの詳細設定を行いたい場合は、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF]ボタン：反転表示を「AGC」→「SET」→「AGC」・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン：「AGC」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ
「SET」反転時、「AGC SET」メニューに遷移します。→63ページへ

「AGC SET」メニュー

「AGC」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

                A G C   S E T

▶ S H U T T E R           A U T O
  A G C   L E V E L       L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H
  M A X   A G C           L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ — ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ↓ H
  A G C   B O O S T       O F F
  D N R                   A U T O 1

E X I T
```

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「E X I T」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューへ戻ります。→42ページへ

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

SHUTTER : 64ページ
AGC LEVEL : 69ページ
MAX AGC : 70ページ
AGC BOOST : 70ページ
DNR : 71ページ

「SHUTTER」項目

「AGC SET」メニューで「SHUTTER」を選択します。

```

                                A G C   S E T
                                A U T O
▶ S H U T T E R
  A G C   L E V E L           L < < < < < ↓ > > > > > H
  M A X   A G C             L < < < < < > > > > ↓ H
  A G C   B O O S T         O F F
  D N R                                A U T O 1

E X I T
```

AGC時、電子増感またはシャッタ速度を選択します。自動電子増感を設定する場合、「AUTO」を選択してください。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：「1/60」の表示を、ボタン押下毎に「×40」→「×20」→「×16」→「×14」→「×12」→「×10」→「×8」→「×6」→「×4」→「×2」→「AUTO」→「1/60」→「1/100」→「1/250」→「1/500」→「1/1000」→「1/2000」→「1/4000」→「1/10000」と遷移します。

[↓/OFF]ボタン：「1/60」の表示を、ボタン押下毎に「1/10000」→「1/4000」→「1/2000」→「1/1000」→「1/500」→「1/250」→「1/100」→「1/60」→「AUTO」→「×2」→「×4」→「×6」→「×8」→「×10」→「×12」→「×14」→「×16」→「×20」→「×40」と遷移します。

[SHIFT]ボタン：「AUTO」設定時、設定を記憶して「AUTO」メニューに遷移します。→66ページへ
「AUTO」以外設定時、設定を記憶して「AGC SET」メニューに戻ります。→63ページへ

注1) 「IRIS SEL」メニューで「SFV」が選択されている場合、電子増感の設定にすることはできません。

注2) 「IRIS SEL」メニューで「SFV」を選択し、「FLICKER」メニューで「ON」が選択されている場合、「AUTO」⇔「1/100」の選択となります。

[自動電子増感機能について]

- 電子増感機能とは、マイコンによる 1/60 秒以上の低速シャッター制御およびデジタルメモリを用いた信号補間処理を行うことで感度アップを行う機能です。
- CIT-7550 では、下記の特徴があります。

(1) 自動電子増感機能

標準時(シャッタースピード1/60秒)に対して×1倍から×40倍まで自動で感度アップを行うことができます。

(2) 自動電子増感最大倍率の設定機能

自動電子増感の最大倍率を1倍から40倍まで任意に設定できますので、設置状況に応じて感度アップの範囲を設定することができます。

電子増感動作時は下記の注意が必要です。

- (1) 動きのある被写体は、感度がアップするほどぶれを生じます。
- (2) 自動電子増感時は、MGC 設定になっていても自動的に AGC モードとなります。手動増感時は AGC/MGC の設定は無効です。
- (3) 自動電子増感設定時に、暗い場所を撮影して電子増感倍率が高くなっている状態から急に明るい場所を撮影すると、しばらくの間映像が真っ白になる場合があります。
- (4) カメラ電源立ち上げ後、自動電子増感倍率は増感倍率×1からスタートします。
- (5) 増感動作時、レンズ絞りは開放に固定されますので、アイリス調整は出来ません。太陽の光は見ないでください。撮像素子が焼きつくことがあります。
- (6) 増感倍率が高いときにはノイズが目立つ場合があります。また、周囲温度が高く、増感倍率×16倍以上のときには、CCD の固定パターンノイズ(画面の一定位置に点として見えるノイズ)が目立つ場合があります。
- (7) 自動電子増感制御は段階的なため(レンズ絞りで一絞り分に相当)、光量変化に対しては若干の輝度変化を生じます。そのため、カメラが旋回動作している際に、暗部と明部があると映像ぶれのような症状が出る場合がありますが、これは自動電子増感制御が働いているためで故障ではありません。気になる場合は、シャッター速度の設定を固定(1/60、1/100等)にしてご使用ください。

「AUTO」メニュー

「SHUTTER」メニューで「AUTO」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

A G C		S E T	
▶ S H U T T E R		A U T O	S E T
A G C L E V E L		L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H	
M A X A G C		L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ▶ ▶ ▶ ▶ ↓ H	
A G C B O O S T		O F F	
D N R		A U T O 1	
E X I T			

自動電子増感の詳細設定を行う場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

- [↑/ON]/[↓/OFF]ボタン : 反転表示を「AUTO」→「SET」→「AUTO」→・・・と遷移します。
- [SHIFT]ボタン : 「AUTO」反転時、「AGC SET」メニューに戻ります。→63ページへ
「SET」反転時、「AUTO SET」メニューに遷移します。→67ページへ

「MAX GAIN」項目

「AUTO SET」メニューで「MAX GAIN」を選択します。

最大電子増感倍率の設定を行います。×2 のときは電子増感が最大2倍まで、×16 のときは電子増感が最大16倍まで動作します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：「×16」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「×1」→「×2」→「×4」→「×6」→「×8」→「×10」→「×12」→「×14」→
「×16」→「×20」→「×40」

[↓/OFF]ボタン：「×16」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「×40」→「×20」→「×16」→「×14」→「×12」→「×10」→「×8」→「×6」→「×4」→「×2」→「×1」

[SHIFT]ボタン：設定値を記憶して「AUTO SET」メニューに戻ります。→67ページへ

「×1 SHUTTER」項目

「AUTO SET」メニューで「×1 SHUTTER」を選択します。

自動電子増感選択時の、電子増感倍率1倍のときのシャッタ速度の選択を行います。50Hz 地区において放電灯下でFLICKER設定をONにしてもフリッカが目立つ場合、FLICKER設定をOFFにして×1 SHUTTER設定を1/100にしてください。

注) FLICKER設定がONの場合、×1 SHUTTER設定は「1/60」固定となります。

(IRIS SELでSFVが選択されているときは「1/100」固定となります。)

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF]ボタン：「1/60」の表示を、ボタン押下毎に…→「1/100」→「1/60」→…と遷移します。

[SHIFT]ボタン：設定値を記憶して「AUTO SET」メニューに戻ります。→67ページへ

「×1→SLOW」項目

「AUTO SET」メニューで「×1→SLOW」を選択します。

電子増感に入る条件を設定することができます。H方向で電子増感に入りにくくなり、L方向で電子増感に入りやすくなります。電子増感は動く被写体に対してぶれを生じますが、S/N、感度は改善されます。自動電子増感を動き重視で行いたい場合はH方向、S/N重視で行いたい場合はL方向に設定してください。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「AUTO SET」メニューに戻ります。→67ページへ

「AGC LEVEL」項目

「AGC SET」メニューで「AGC LEVEL」を選択します。

画面の明るさを調整することができます。

H方向で画面が明るくなり、L方向画面が暗くなります。

注) AGC LEVEL がLかHに極端に片寄ると、被写体によってはアイリスが開かなかつたり、画面がハンチングを起こす場合があります。また、急激に光量が変化したときには、アイリスが追従して映像が見えるまでに時間が掛かる場合があります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「AGC SET」メニューへ遷移します。→63ページへ

「MAX AGC」項目

「AGC SET」メニューで「MAX AGC」を選択します。

最大ゲインレベルの設定を行います。H方向で最大ゲインレベルが上がり、L方向で最大ゲインレベルが下がります。最大ゲインレベルが高い場合は画面が明るくなりますが、ノイズが増えます。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定値を記憶して「AGC SET」メニューへ遷移します。→63ページへ

「AGC BOOST」項目

「AGC SET」メニューで「AGC BOOST」を選択します。

低照度時、最大ゲインをさらに2倍のばすことができます。高感度の必要な場合は+6 dBで使用してください。

注) AGC BOOST を+6 dBに設定すると、低照度時にノイズが目立つ場合があります。

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF]ボタン：「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「+6DB」→「OFF」→…と遷移します。

[SHIFT]ボタン：設定値を記憶して「AGC SET」メニューに戻ります。→63ページへ

「DNR」項目

「AGC SET」メニューで「DNR」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```

                A G C   S E T

S H U T T E R           A U T O
A G C   L E V E L       L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H
M A X   A G C           L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ — ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ↓ H
A G C   B O O S T       O F F
▶ D N R                 A U T O 1

E X I T
```

デジタルノイズリダクションの設定を行います。

使用詳細はP. 61の[デジタルノイズリダクションについて] の項を参照し、最適の状態を設定してください。「AUTO1」は動きのある被写体に対して映像ぶれが生じにくくなりますが、DNRの効果はうすくなる場合があります。「AUTO2」は動きのある被写体に対して映像がぶれやすくなりますが、DNRの効果は大きくなります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：「AUTO1」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「AUTO1」→「AUTO2」→「LOW」→「MIDDLE」→「HIGH」→「OFF」→「AUTO1」→…

[↓/OFF]ボタン：「AUTO1」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「AUTO1」→「OFF」→「HIGH」→「MIDDLE」→「LOW」→「AUTO2」→「AUTO1」→…

[SHIFT]ボタン：設定値を記憶して「AGC SET」メニューに戻ります。→63ページへ

「BW/COLOR」メニュー

「2.Y CONTROL」メニューで「BW/COLOR」を選択します。

カラー／白黒切替の設定を行います。

[AUTO] : 被写体の明るさにより、明るい時はカラー映像、暗い時は白黒映像へ自動的に切り換えます。急激な明るさ変化によるハンチング防止のため、被写体の明るさが変化した後、その明るさが1分(TIMER項目で設定した時間)以上継続した場合に自動的にカラー/白黒切替が行われます。

[COLOR] : 常時カラー映像を映します。

[BW] : 常時白黒映像を映します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : 「COLOR」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「COLOR」→「BW」→「AUTO」→「COLOR」→・・・

[↓/OFF]ボタン : 「COLOR」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。

「COLOR」→「AUTO」→「BW」→「COLOR」→・・・

[SHIFT]ボタン : 「COLOR」表示時、設定を記憶し「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ

「BW」表示時、設定を記憶し「BW」メニューに遷移します。→73ページへ

「AUTO」表示時、設定を記憶し「AUTO BW」メニューに遷移します。→75ページへ

※ MGC 設定時は、「AUTO」を選択することはできません。

※ カラー／白黒切替時は、レンズフィルタの切替に時間がかかるため、連続動作はしないようにしてください。万が一、レンズフィルタが切替わらない場合は、再度カラー／白黒切替を実施してください。

※ カラー映像にてフォーカスを合わせプリセット登録を行った後、そのプリセットを読み出し白黒映像にて映した場合、フォーカスがずれることがあります。
同様に、白黒映像にてフォーカスを合わせプリセット登録を行った後、そのプリセットを読み出しカラー映像にて映した場合、フォーカスがずれる場合があります。

「BW」メニュー

「BW/COLOR」メニューで「BW」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

```

                Y    C O N T R O L

    I R I S    S E L          N O R M A L
    G A I N    S E L          A G C
    ▶ B W / C O L O R          B W          S E T
    G R A D A T I O N          N O R M A L
    F L I C K E R              O F F
    D E T A I L                L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H

    E X I T
```

白黒モードの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン : 反転表示を「BW」→「SET」→「BW」→…と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 「BW」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ

「SET」反転時、「BW SET」メニューに遷移します。→74ページへ

「BW SET」メニュー

「BW」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

B W S E T

▶ B U R S T O N

E X I T

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークの表示が、点灯→消灯→点灯→…と変化します。

※「▶」マーク消灯時は、「EXIT」を反転表示します。

※「EXIT」反転表示の場合、[SHIFT]ボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。

→42ページへ

※「BURST」反転表示の場合、[SHIFT]ボタンを押すと、「BURST」項目へ遷移します。→74ページへ

「BURST」項目

「BW SET」メニューで「BURST」を選択します。

白黒撮像時のカラーバースト ON/OFF 設定を行います。

[ON] : 白黒時、カラーバースト有。

[OFF] : 白黒時、カラーバースト無。

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF]ボタン : 「ON」の表示が、ボタン押下毎に「ON」→「OFF」→「ON」→…と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 設定を記憶し「BW SET」メニューに戻ります。→74ページへ

「AUTO BW」メニュー

「BW/COLOR」メニューで「AUTO」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

```

                Y    C O N T R O L

    I R I S    S E L          N O R M A L
    G A I N    S E L          A G C
    ► B W / C O L O R          A U T O          S E T
    G R A D A T I O N          N O R M A L
    F L I C K E R          O F F
    D E T A I L          L < < < < < ↓ ▷ ▷ ▷ ▷ ▷ H

    E X I T
```

自動カラー白黒切換の詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン : 反転表示を「AUTO」→「SET」→「AUTO」→…と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 「AUTO」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ
「SET」反転時、「AUTO BW SET」メニューに遷移します。→76ページへ

「AUTO BW SET」メニュー

「AUTO BW」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

                A U T O   B W   S E T

▶ B U R S T                O N
C O L O R → B W          L < < < < < ↓ ▷ ▷ ▷ ▷ ▷ H
B W → C O L O R          L < < < < < ↓ ▷ ▷ ▷ ▷ ▷ H
T I M E R                * * S E C

E X I T
```

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「E X I T」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

BURST : 77ページ

COLOR→BW : 77ページ

BW→COLOR : 78ページ

TIMER : 78ページ

「BURST」項目

「AUTO BW SET」メニューで「BURST」を選択します。

白黒撮影時の、カラーバースト ON/OFF 設定を行います。

[ON] : カラーバースト有。

[OFF] : カラーバースト無。

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF]ボタン : 「ON」の表示を、ボタン押下毎に「ON」→「OFF」→「ON」→・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 設定を記憶し「AUTO BW SET」メニューに戻ります。→76ページへ

「COLOR→BW」項目

「AUTO BW SET」メニューで「COLOR→BW」を選択します。

カラー→白黒に切り換える条件（明るさ）を設定することができます。

H方向に移動させると、白黒画面に切り換わりにくくなります。

L方向に移動させると、白黒画面に切り換わりやすくなります。

注) カラー→白黒に切り換えると、感度が上がりますが、照明条件によって感度の上がり方が違うため白黒画面に切り換わりやすい条件に設定すると、カラーと白黒の状態がハンチングする場合があります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン : L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン : 設定を記憶して「AUTO BW SET」メニューへ遷移します。→76ページへ

「BW→COLOR」項目

「AUTO BW SET」メニューで「BW→COLOR」を選択します。

白黒→カラーに切り換える条件（明るさ）を設定することができます。

H方向に移動させると、カラーに切り換わりやすくなります。

L方向に移動させると、カラーに切り換わりにくくなります。

注) 白黒→カラーに切り換えると、感度が下がりますが、照明条件によって感度の下がり方が違うためカラー画面に切り換わりやすい条件に設定すると、カラーと白黒の状態がハンチングする場合があります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン : L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン : 設定を記憶して「AUTO BW SET」メニューへ遷移します。→76ページへ

「TIMER」項目

「AUTO BW SET」メニューで「TIMER」を選択します。

カラー→白黒に切り換える条件、白黒→カラーに切り換える条件を、何秒以上連続して継続したときに切り換え動作を開始するかの設定を行うことができます。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : **を5→90まで5ずつUPします。

[↓/OFF]ボタン : **を90→5まで5ずつDOWNします。

[SHIFT]ボタン : 設定値を記憶し、「AUTO BW SET」メニューに戻ります。→76ページへ

注) 本設定を短い時間に設定すると、カラーと白黒の状態がハンチングする場合があります。

「GRADATION」メニュー

「2.Y CONTROL」メニューで「GRADATION」を選択します。

ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの設定を行います。

[NORMAL] : ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの設定固定

[USER] : ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの設定を可能とする

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン : 「NORMAL」の表示を、ボタン押下毎に…→「USER」→「NORMAL」→…と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 「NORMAL」表示時、設定を記憶し「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ
「USER」表示時、設定を記憶し「USER」メニューに遷移します。→79ページへ

「USER」メニュー

「GRADATION」メニューで「USER」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

```

                Y      C O N T R O L

    I R I S      S E L          N O R M A L
    G A I N      S E L          A G C
    B W / C O L O R          C O L O R
    ▶ G R A D A T I O N          U S E R                S E T
    F L I C K E R          O F F
    D E T A I L          L < < < < < ↓ ▷ ▷ ▷ ▷ H

    E X I T
```

ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン : 反転表示を「USER」→「SET」→「USER」→…と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 「USER」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ
「SET」反転時、「USER SET」メニューに遷移します。→80ページへ

「USER SET」メニュー

「USER」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

                U S E R   S E T

▶ G A M M A           L ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ H
  K N E E             L ◀ ◀ ◀ — ▶ ▶ ▶ → H
  W — C L I P         L ◀ → ◀ — ▶ ▶ ▶ ▶ H
  S E T   U P         L ◀ ◀ ◀ — ▶ ▶ → ▶ H

E X I T
```

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「E X I T」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

GAMMA : 81ページ
KNEE : 81ページ
W-CLIP : 82ページ
SET UP : 82ページ

「GAMMA」項目

「USER SET」メニューで「GAMMA」を選択します。

ガンマの設定を行います。

H方向に移動させると、画面全体が明るくなる方向に変化します（ガンマ補正が大きくなります）。

L方向に移動させると、画面全体が暗くなる方向に変化します（ガンマ補正が小さくなります）。

液晶モニタなど、暗部がつぶれやすい表示機をご使用の場合は、ガンマ補正を大きくすることで暗部が見やすくなります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。→80ページへ

「KNEE」項目

「USER SET」メニューで「KNEE」を選択します。

ニーの設定を行います。

H方向に移動させると、高輝度部の信号圧縮が強くなります（ニー補正が大きくなります）。

L方向に移動させると、高輝度部の信号圧縮が弱くなります（ニー補正が小さくなります）。

ホワイトクリップが小さく設定されている場合、ニー補正を強くかけることで映像の白つぶれをおさえることが出来ます。ホワイトクリップが大きく設定されている場合、ニー補正を弱くすることで高輝度部の階調をはっきり出すことができます。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。→80ページへ

「W-CLIP」項目

「USER SET」メニューで「W-CLIP」を選択します。

ホワイトクリップの設定を行います。

H方向に移動させると、ホワイトクリップの位置が大きくなります。

L方向に移動させると、ホワイトクリップの位置が小さくなります。

ホワイトクリップの位置を大きく設定することで、映像の白つぶれをおさえることができます。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。→80ページへ

注) ホワイトクリップの位置を大きく設定すると、表示装置によっては白つぶれが逆にひどくなったり、場合によっては映像が乱れたり映像が映らなくなる恐れがあります。

「SET UP」項目

「USER SET」メニューで「SET UP」を選択します。

セットアップレベル（黒レベル）の設定を行います。

H方向に移動させると、黒が明るく表示されます。

L方向に移動させると、黒が暗く表示されます。

セットアップレベルを大きくすることで暗い部分の映像を明るく、小さくすることでくっきりとした黒を表示することができます。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。→80ページへ

「FLICKER」メニュー

「2. Y CONTROL」メニューで「FLICKER」を選択します。

ON 選択で、画面全体のちらつき（フリッカ）をなくします。詳しくは「フリッカについて」をご参照ください。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン：「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「ON」→「OFF」→…と遷移します。（MGC 時は「OFF」固定となります）

[SHIFT]ボタン：設定を記憶し「2. Y CONTROL」メニューに戻ります。→42ページへ

[フリッカについて]

フリッカ（ちらつき）は蛍光灯のような放電灯照明下で発生します。自然光下や白熱照明下では発生しません。

フリッカの現象は電源周波数とシャッタ速度により下記のように異なります。

◆ 60Hz 電源地区での場合

1. 1/60 s シャッタ
電源周波数と CCD の電荷蓄積時間がほぼ一致しており、フリッカは発生しません。
2. 高速シャッタの場合
ゆっくりとした輝度変化が発生します。シャッタ速度が速くなるほど輝度変化の割合は大きくなります。

◆ 50Hz 電源地区での場合

1. 1/60 s シャッタ
約 20Hz 周期のフリッカが発生します。FLICKER 設定を ON にすることで補正することができます。
2. 1/100 s シャッタ
フリッカは発生しません。1/60 s シャッタに比較して約半分に感度が低下しますので低照度時にはご注意ください。
3. 1/250 s 以上の高速シャッタ
かなり激しいフリッカが発生します。高速シャッタが必要な場合には自然光または白熱点灯照明をご使用ください。

「DETAIL」メニュー

「2.Y CONTROL」メニューで「DETAIL」を選択します。

画質を調整することができます。

L方向で画質がソフトになり、H方向で画質がシャープになります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定値を記憶して「2.Y CONTROL」メニューへ戻ります。→42ページへ

「COLOR」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「3.COLOR」を選択したとき、下記の画面が表示されます。

C O L O R

```
▶ W B      S E L                A U T O
  A W B      L O C K            O F F
  C    L E V E L                L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H
  S U P P R E S S            L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H

  E X I T
```

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。（「WB SEL」メニューで「MANU」を選択している場合、「AWB LOCK」はパスされます。）

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

WB SEL : 86ページ
AWB LOCK : 99ページ
C LEVEL : 100ページ
SUPPRESS : 100ページ

「WB SEL」メニュー

「3. COLOR」メニューで「WB SEL」を選択します。

[AUTO]:自動的にホワイトバランスを合わせます。

[MANU]:手動でホワイトバランスを調整します。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン:「AUTO」の表示を、ボタン押下毎に「AUTO」→「MANU」→「AUTO」→…と遷移します。

[SHIFT]ボタン:「AUTO」表示時、設定を記憶し「AUTO」メニューに遷移します。→86ページへ

「MANU」表示時、設定を記憶し「MANU」メニューに遷移します。→95ページへ

「AUTO」メニュー

「WB SEL」メニューで「AUTO」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

C O L O R

▶ W B S E L	A U T O	S E T
A W B L O C K	O F F	
C L E V E L	L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H	
S U P P R E S S	L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H	
E X I T		

オートホワイトバランスの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン:反転表示を「AUTO」→「SET」→「AUTO」→…と遷移します。

[SHIFT]ボタン:「AUTO」反転時、「3. COLOR」メニューに戻ります。→85ページへ

「SET」反転時、「AUTO WB SET」メニューに遷移します。→87ページへ

「AUTO WB SET」メニュー

「AUTO」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

                A U T O   W B   S E T

▶ L I G H T                E L E C T R I C
  A W B   A R E A          N O R M A L
  A W B   R - Y           C Y ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ R
  A W B   B - Y           Y ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ B
  H U E   R - Y           Y B ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ M G
  H U E   B - Y           Y B ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ G M

E X I T
```

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「E X I T」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「3. COLOR」メニューに戻ります。→85ページへ

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

LIGHT : 88ページ
AWB AREA : 89ページ
AWB R-Y : 93ページ
AWB B-Y : 93ページ
HUE R-Y : 94ページ
HUE B-Y : 94ページ

「LIGHT」項目

「AUTO WB SET」メニューで「LIGHT」を選択します。

[NATURAL] : 自然光、白熱灯、ハロゲンランプ、蛍光灯 対応。

[ELECTRIC] : 上記に加え、水銀灯などまで引き込み範囲を拡大します。

[ALL] : 引き込み範囲の制限がないモードです。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : 「ELECTRIC」の表示が、ボタン押下毎に…→「ALL」→「NATURAL」→「ELECTRIC」→…と遷移します。

[↓/OFF]ボタン : 「ELECTRIC」の表示が、ボタン押下毎に…→「NATURAL」→「ALL」→「ELECTRIC」→…と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 設定を記憶し「AUTO WB SET」メニューに戻ります。→87ページへ

[対応照明の選択「LIGHT」について]

- [NATURAL] は自然光、白熱灯、ハロゲンランプ、蛍光灯の照明下において最適なホワイトバランスが得られるようにオートホワイトバランスが動作します。引き込み範囲を制限していますので単一色の被写体でも退色現象が少なくなります。
- [ELECTRIC] では、NATURAL の引き込み範囲を水銀灯などまで拡大するとともに、光源の固有スペクトラムにより画面が黄色あるいは緑っぽくなる現象を補正するようにオートホワイトバランスが動作します。
- [ALL] は引き込み範囲の制限をなくし、ホワイトバランスが限界まで追従するモードです。

注) 赤っぽい照明（ハロゲンランプ、ナトリウム灯等における低色温度時）の場合、映像に色ノイズ（黄色や緑色）が目立つ場合があります。

「AWB AREA」項目

「AUTO WB SET」メニューで「AWB AREA」を選択します。

AWB の測光枠を設定します。

[NORMAL] :画面全エリアの色情報をもとにAWBが動作します。

[SPOT] :次メニューで設定した測光枠内の色情報をもとにAWBが動作します。

あらかじめ白色と分かっている部分にAWB測光枠を合わせることで、より高精度なAWB動作を行うことができます。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン:「NORMAL」の表示を、ボタン押下毎に…→「SPOT」→「NORMAL」→…と遷移します。

[SHIFT]ボタン:「NORMAL」表示時、設定を記憶し「AUTO WB SET」メニューに戻ります。→87ページへ
「SPOT」表示時、設定を記憶し「SPOT」メニューに遷移します。→90ページへ

「SPOT」項目

「AUTO WB SET」メニューで「SPOT」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

L I G H T		E L E C T R I C												
▶ A W B	A R E A	S P O T S E T												
A W B	R - Y	C Y	<	<	<	<	<	↓	>	>	>	>	>	R
A W B	B - Y	Y	<	<	<	<	<	↓	>	>	>	>	>	B
H U E	R - Y	Y B	<	<	<	<	<	↓	>	>	>	>	>	M G
H U E	B - Y	Y B	<	<	<	<	<	↓	>	>	>	>	>	G M
E X I T														

AWB 測光枠の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF]ボタン : 反転表示を「SPOT」→「SET」→「SPOT」→・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 「SPOT」反転時、「AUTO WB SET」メニューに戻ります。→87ページへ

「SET」反転時、「WINDOW」メニューに遷移します。→91ページへ

注) AWB 測光枠の大きさを小さすぎる設定した場合、AWB 動作が不安定になって色が定まらなくなる場合があります。

「WINDOW」メニュー

「SPOT」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示され、画面上に測光枠が明るく表示されます。

```
                W I N D O W

▶ W I D T H    H          * *
  W I D T H    V          * *

  L O C A T E    H        * *
  L O C A T E    V        * *

E X I T
```

各項目にて測光枠のサイズ、位置を設定します。

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。

この状態でモードボタンを押すと、「AUTO WB SET」メニューに戻ります。→87ページへ

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

```
WIDTH H : 92ページ
WIDTH V : 92ページ
LOCATE H : 92ページ
LOCATE V : 92ページ
```

「WIDTH H」項目

水平方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : WIDTH Hの**が1→1.5まで変化します。

[↓/OFF]ボタン : WIDTH Hの**が1.5→1まで変化します。

[SHIFT]ボタン : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→91ページへ

「WIDTH V」項目

垂直方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : WIDTH Vの**を1→1.5まで変化します。

[↓/OFF]ボタン : WIDTH Vの**を1.5→1まで変化します。

[SHIFT]ボタン : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→91ページへ

「LOCATE H」項目

水平方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : LOCATE Hの**を1→1.5まで変化します。

[↓/OFF]ボタン : LOCATE Hの**を1.5→1まで変化します。

[SHIFT]ボタン : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→91ページへ

「LOCATE V」項目

垂直方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : LOCATE Vの**を1→1.5まで変化します。

[↓/OFF]ボタン : LOCATE Vの**を1.5→1まで変化します。

[SHIFT]ボタン : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→91ページへ

「AWB R-Y」項目

「AUTO WB SET」メニューで「AWB R-Y」を選択します。

R方向で画面が赤に、CY方向で画面がシアンに色調が変わります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：R方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：CY方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→87ページへ

「AWB B-Y」項目

「AUTO WB SET」メニューで「AWB B-Y」を選択します。

B方向で画面が青く、Y方向で画面が黄色に色調が変わります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：B方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：Y方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→87ページへ

「HUE R-Y」項目

「AUTO WB SET」メニューで「HUE R-Y」を選択します。

MG方向で赤色がマゼンダに、青色が緑色に、色合いが変わります。

Y B方向で赤色が黄色に、シアンが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：MG方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：Y B方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→87ページへ

「HUE B-Y」項目

「AUTO WB SET」メニューで「HUE B-Y」を選択します。

GM方向で黄色が緑色に、青色がマゼンダに、色合いが変わります。

Y B方向で緑色が黄色に、マゼンダが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：GM方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：Y B方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→87ページへ

「MANU」メニュー

「WB SEL」メニューで「MANU」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

C O L O R

▶ W B S E L	M A N U	S E T
A W B L O C K	O F F	
C L E V E L	L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H	
S U P P R E S S	L ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ H	
E X I T		

マニュアルホワイトバランスの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン : 反転表示が「MANU」→「SET」→「MANU」→…と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 「MANU」反転時、「3.COLOR」メニューに戻ります。→85ページへ

「SET」反転時、「MANU WB SET」メニューに遷移します。→96ページへ

「MANU WB SET」メニュー

「MANU」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

M A N U   W B   S E T

▶ M W B   R - Y           B ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ R
  M W B   B - Y           M ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ G
  H U E   R - Y           Y B ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ M G
  H U E   B - Y           Y B ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ G M

E X I T
```

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「E X I T」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「3. COLOR」メニューに戻ります。→85ページへ

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

MWB R-Y : 97ページ

MWB B-Y : 97ページ

HUE R-Y : 98ページ

HUE B-Y : 98ページ

「MWB R-Y」項目

「MANU WB SET」メニューで「MWB R-Y」を選択します。

R方向で画面が赤く、B方向で画面が青く色調が変わります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：R方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：B方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→96ページへ

「MWB B-Y」項目

「MANU WB SET」メニューで「MWB B-Y」を選択します。

G方向で画面がグリーンに、M方向で画面がマゼンダに色調が変わります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：G方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：M方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→96ページへ

「HUE R-Y」項目

「MANU WB SET」メニューで「HUE R-Y」を選択します。

MG方向で赤色がマゼンダに、青色が緑色に、色合いが変わります。

Y B方向で赤色が黄色に、シアンが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：MG方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：Y B方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→96ページへ

「HUE B-Y」項目

「MANU WB SET」メニューで「HUE B-Y」を選択します。

GM方向で黄色が緑色に、青色がマゼンダに、色合いが変わります。

Y B方向で緑色が黄色に、マゼンダが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：GM方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：Y B方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→96ページへ

「AWB LOCK」メニュー

「3. COLOR」メニューで「AWB LOCK」を選択します。

ON選択で、現在のホワイトバランスの状態を固定します。詳しくはホワイトバランスについてをご参照ください。

注) 「WB SEL」メニューで「MANU」を選択すると、本メニューはパスされます。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン：「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「ON」→「OFF」→…と遷移します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶し「3. COLOR」メニューに戻ります。→85ページへ

[ホワイトバランスについて]

■ ホワイトバランス（色調節）は下記の動作モードが選択できます。

- [AUTO]：連続自動追従調節（標準モード）
- [LOCK]：自動調節後、固定
- [MANU]：手動調節

- [AUTO] は自然光のように照明条件（色温度）が時間的に変化するような時に、自動的に色バランスを追従調節します。自然光でなくとも通常の設置条件の場合は自動的に色バランスが得られますので、特に色調節を必要としません。
- オートホワイトバランスは被写体の色成分の平均値を常に監視し、平均値が白になるよう自動制御を行っています。従って単一色の被写体を画面一杯に映した場合、色が退色（うすくなる）場合があります。このような問題がある場合には画面全体に白被写体を映してオートホワイトバランスを得た後、[LOCK]を選択すると、以後は色パラメータが固定され、被写体の条件に左右されなくなります。この方法は照明条件が変化しない環境において最適な色調節と被写体に左右されないホワイトバランスが簡単に得られる方法です。
- [LOCK] よりも厳密なホワイトバランスを必要とする場合は、[MANU]によりベクトルスケープ等の測定器を使用してホワイトバランスを設定してください。この場合は照明条件が変動しないことが条件となります。照明条件が変わった場合は再設定が必要です。
- 特殊な光源（水銀灯など）の場合は色再現性が悪くなる場合があります。

「C LEVEL」メニュー

「3. COLOR」メニューで「C LEVEL」を選択します。

色の濃さを設定することができます。

H方向で色が濃く、L方向で色が薄くなります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶し「3. COLOR」メニューに戻ります。→85ページへ

「SUPPRESS」メニュー

「3. COLOR」メニューで「SUPPRESS」を選択します。

暗い場所を撮影してカメラの感度が上がった時、色ノイズを低減するため色を自動的に薄くする処理を入れています。H方向で色を薄くする効果が強く、L方向で色を薄くする効果が弱くなります。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：H方向に↓が移動します。

[↓/OFF]ボタン：L方向に↓が移動します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶し「3. COLOR」メニューに戻ります。→85ページへ

「SCENE FIT」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「4.SCENE FIT」を選択すると、下記の画面が表示されます。

S C E N E F I T	
▶ デイリグチ	U S E R 1
パーキング	U S E R 2
エキ ホーム	U S E R 3
ロウカ	A T M
E X I T	

本機能は、撮影場所に応じて各メニュー調整値を最適になるよう記憶しておく機能です。あらかじめ用意されているメニューの設定内容5パターン（下記参照）と、さらにユーザが任意に設定した内容を3パターン記憶でき、計8パターンの設定内容から任意の内容を選択することが可能です。現在の設定シーンの左隣に「▶」マークが表示されます。「デイリグチ」、「パーキング」、「エキ ホーム」、「ロウカ」、「ATM」は選択後、各設定メニューで変更することもできます（変更された内容は自動的に記憶されます）。また、初期的に「USER1」～「USER3」は、工場出荷時設定が登録されています。「USER1」～「USER3」のいずれかを選択後、各設定メニューで変更すると、その設定値が自動的に記憶されます。変更した内容は、電源を切っても消去されません。設定内容を初期化したい場合は、「INITIAL」メニュー（P.41）で行ってください。「USER1」～「USER3」の表示は、設定によって任意の文字列を12文字まで登録可能です。「USER1」～「USER3」メニューで「ID」を選択後、「ID SET」項目でIDを設定してください。

下記のパターンは、それぞれの場所への設置に適しています。

- ・デイリグチ : 建物の出入口のように、出入者が逆光の影響で黒つぶれを起こしてしまうような場所
- ・パーキング : 駐車場のよう、夜間撮影時に動きのある被写体を撮影したい場所
- ・エキ ホーム : 駅のホームのように、明暗がはっきり分かれているような場所
- ・ロウカ : 廊下のように、蛍光灯照明で奥行きがあり、遠くが暗くなっているような場所
- ATM : ATMのように、逆光で顔が暗くなってしまうような場所

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：文字の反転表示は以下のように遷移します。

…「デイリグチ」→「パーキング」→「エキ ホーム」→「ロウカ」→「EXIT」→「USER1」
→「USER2」→「USER3」→「ATM」→「EXIT」→「デイリグチ」→…

[↓/OFF] ボタン：文字の反転表示は以下のように遷移します。

…→「EXIT」→「ATM」→「USER3」→「USER2」→「USER1」→「EXIT」→「ロウカ」→
「エキ ホーム」→「パーキング」→「デイリグチ」→「EXIT」→…

[SHIFT] ボタン：「EXIT」反転表示の場合、メニュー画面を終了します。

文字の反転表示が「デイリグチ」、「パーキング」、「エキ ホーム」、「ロウカ」の
とき、左隣に「▶」マークがない場合、登録されている各設定シーンを読み込んで「▶」
マークを表示します（それまで表示されていた「▶」マークは消灯します）。

左側に「▶」マークがある場合、反転表示を「EXIT」に遷移します。

文字の反転表示が「USER1」～「USER3」のとき、左隣に「▶」マークがない場合、設定 値
を記憶して（登録されている設定内容を読み込んで）「▶」マークを表示します。（それ
まで表示されていた「▶」マークは消灯します）。左隣に「▶」マークがある場合、以下
の「USER*」メニューに遷移します。

（「*」：1～3 の数字）

「USER*」メニュー

「4. SCENE FIT」メニューで「USER*」を選択すると、下記のように右側に「ID」が表示されます。

	S C E N E	F I T	
デ イ リ グ チ	・ U S E R 1	I D	
パ ー キ ン グ	U S E R 2		
エ キ ホ ー ム	U S E R 3		
ロ ウ カ	A T M		
E X I T			

ID の表示内容を変更したい場合、「ID」を選択します。尚、「ID SET」項目で登録した ID が「USER*」の
位置へ表示されます。

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF] ボタン：反転表示を「USER*」→「ID」→「USER*」→…と遷移します。

[SHIFT] ボタン：「USER*」反転時、現在の設定文字列を記憶して（登録されている設定内容を読み込ん
で）文字反転表示を「EXIT」に遷移します。（このとき「ID」の表示は消えます）

「ID」反転時、「ID SET」項目に遷移します。（「*」：1～3 の数字）→103ページへ

「ID SET」項目

「USER*」メニューで「ID」を選択すると、下記の画面が表示されます。

I D S E T

アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノ
ハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヅンパピプペポ
ガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボィェャユヨ
年月日時 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K
L M N O P Q R S T U V W X Y Z ■ → ← ↑ ↓ ! ? / + -
= & ~ () < > : ; . • 。 , ”
◀ ▶ 消 終

> * * * * * * * * * * * * * * * * <

*****部に設定した文字列（ID）の変更を行います（最大 12 文字）。

スイッチ説明

- [↑/ON]ボタン : 反転文字が右へ遷移します。右端の場合は、左端へ遷移します。
- [↓/OFF]ボタン : 反転文字が下へ遷移します。下端の場合は、「終」に遷移します。
「終」の場合は、上端へ遷移します。
- [SHIFT]ボタン : 選択文字が「◀」の場合は、ID 表示の反転部が 1 つ左へ遷移します。
: 選択文字が「▶」の場合は、ID 表示の反転部が 1 つ右へ遷移します。
: 選択文字が「消」の場合は、ID 表示の文字を全て空欄にします（オールクリア）。
: 選択文字が「終」の場合は、「USER*」メニューに戻ります。→102ページへ
（「USER*」の位置に登録した ID が表示されます。）
: 選択文字が上記以外の場合は、選択している文字を ID 表示の反転部に表示し、
ID 表示の反転部が 1 つ右に遷移します。

「MASKING」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「5.MASKING」を選択すると、下記の画面が表示されます。

M A S K I N G

▶ M 1	O F F
M 2	O F F
M 3	O F F

E X I T

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。

この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、

「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

M1, M2, M3 : 105ページ

「M1」 「M2」 「M3」 メニュー

「5.MASKING」メニューで「M1」 「M2」 「M3」を選択します。

マスクング表示の ON/OFF 設定を行います。

3箇所のマスクング表示 (M1, M2, M3) をそれぞれ独立して設定可能です。

[OFF] : マスクングの表示を行いません。

[ON] : マスクングの表示を行います。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン : 「OFF」の表示が、ボタン押下毎に・・・→「ON」→「OFF」→「ON」→・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 「OFF」表示時、設定を記憶し「5.MASKING」メニューに戻ります。→104ページへ
「ON」反転時、「ON」メニューに遷移します。→106ページへ

※マスクングは M1, M2, M3 とともに同じグレー表示であることから、複数表示のときに現在設定されているマスクングを判別するため、本メニューで ON の時は該当マスクングの点滅表示を行います。

(1 秒毎に表示／非表示を繰り返す)

「ON」メニュー

「M1」「M2」「M3」メニューで「ON」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。
(下記はM1をONにした場合の表示)

M A S K I N G

▶ M 1	ON	SET
M 2	OFF	
M 3	OFF	

E X I T

マスクングの位置、サイズを変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン：反転表示を「ON」→「SET」→「ON」・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン：「ON」反転時、「5. MASKING」メニューに戻ります。→104ページへ

「SET」反転時、「M* WINDOW」メニュー(*は1～3の数字)に遷移します。

→107ページへ

※マスクングはM1, M2, M3ともに同じグレー表示であることから、複数表示のときに現在設定されているマスクングを判別するため、本メニューでONの時は該当マスクングの点滅表示を行います。

(1秒毎に表示/非表示を繰り返す)

「M* WINDOW」メニュー

「ON」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます（*は1～3の数字）。

```

M *   W I N D O W

▶ W I D T H   H   * *
  W I D T H   V   * *

L O C A T E   H   * *
L O C A T E   V   * *

E X I T
```

各項目にて M1, M2, M3 の各マスクングの位置、サイズを設定します。詳しくは、「マスクング機能について (P. 109)」をご参照ください。

[↑/ON]、[↓/OFF] ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT] ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。

この状態でモードボタンを押すと、「5. MASKING」メニューに戻ります。→104ページへ

[↑/ON]、[↓/OFF] ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

WIDTH H : 108ページ

WIDTH V : 108ページ

LOCATE H : 108ページ

LOCATE V : 108ページ

「WIDTH H」項目

水平方向のマスキングのサイズを設定します。設定値の増減により、マスキングのサイズが変化します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : WIDTH Hの**が1→40まで変化します。

[↓/OFF]ボタン : WIDTH Hの**が40→1まで変化します。

[SHIFT]ボタン : 設定値を記憶して「M* WINDOW」メニューに戻ります。→107ページへ

「WIDTH V」項目

垂直方向のマスキングのサイズを設定します。設定値の増減により、マスキングのサイズが変化します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : WIDTH Vの**を1→30まで変化します。

[↓/OFF]ボタン : WIDTH Vの**を30→1まで変化します。

[SHIFT]ボタン : 設定値を記憶して「M* WINDOW」メニューに戻ります。→107ページへ

「LOCATE H」項目

水平方向のマスキングの位置を設定します。設定値の増減により、マスキングの位置が変化します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : LOCATE Hの**を1→40まで変化します。

[↓/OFF]ボタン : LOCATE Hの**を40→1まで変化します。

[SHIFT]ボタン : 設定値を記憶して「M* WINDOW」メニューに戻ります。→107ページへ

「LOCATE V」項目

垂直方向のマスキングの位置を設定します。設定値の増減により、マスキングの位置が変化します。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : LOCATE Vの**を1→30まで変化します。

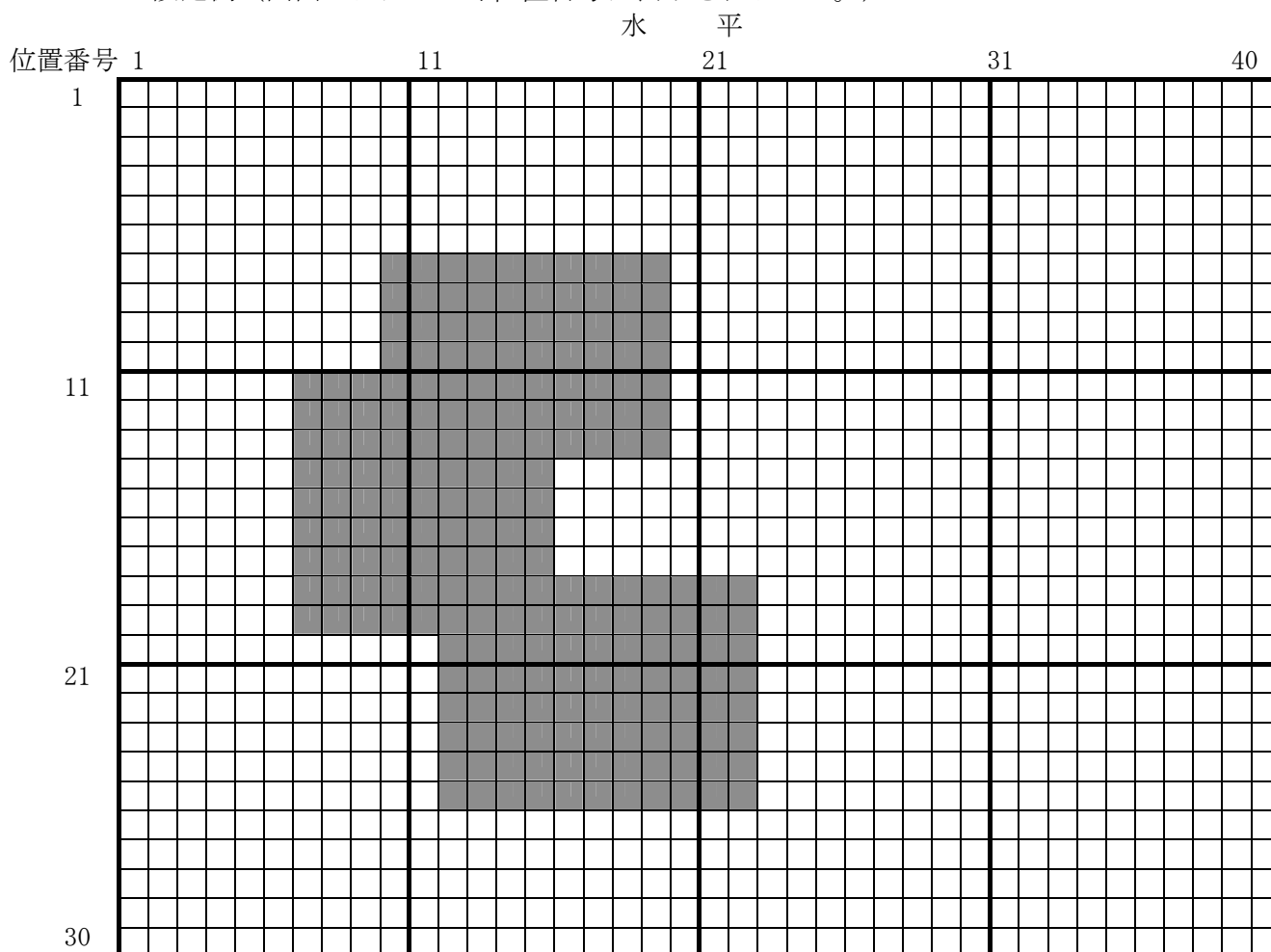
[↓/OFF]ボタン : LOCATE Vの**を30→1まで変化します。

[SHIFT]ボタン : 設定値を記憶して「M* WINDOW」メニューに戻ります。→107ページへ

[マスキング機能について]

- マスキング機能とは、画面上で表示を隠したいエリアをグレー表示することで、画面のマスキングを行う機能です。監視画角にプライバシーや機密に関するものが映ってしまうような場合、本機能を使って画面をマスキングすることでプライバシーや機密を守ることができます。
- マスキング表示は、画面上の40（水平）X30（垂直）に分割した枠の中でエリアを設定することができます。設定メニュー「WIDTH」ではマスキングの右下角を移動して大きさを、「LOCATE」ではマスキングの左上角を移動して位置を設定します。
- マスキング表示は、最大3箇所まで表示することができます。それぞれのマスキングは独立して設定可能で、重ねて表示を行うことも可能です。1つのマスキング形状は四角ですが、重ねて表示することで様々な形を設定することが出来ます。

マスキング設定例（画面上にはマスや位置番号は表示されません。）



設定エリア : (グレーで表示されます。)

- 例
- : M1 サイズ設定 (水平、垂直) = (10, 7)
 - M1 位置設定 (水平、垂直) = (10, 7)
 - M2 サイズ設定 (水平、垂直) = (9, 9)
 - M2 位置設定 (水平、垂直) = (7, 11)
 - M3 サイズ設定 (水平、垂直) = (11, 8)
 - M3 位置設定 (水平、垂直) = (12, 18)

[マスキングのPRESETABLEについて]

- CIT-7550 のマスキング機能は、表示位置をプリセット登録することができます（詳細は、[PRESETABLEについて]参照）。また、プリセット呼出を行った際に登録されているマスキングを表示することが可能です。プリセット位置ごとにマスキングの位置を変更したり、被写体にあわせてマスキングを変更したりすることができます。

注意)

CIT-7550 のマスキング機能は、ズーム位置と回転台位置に依存するため、マスキングを表示した状態でズーム操作や回転台操作を行った場合はマスキング表示が消えます。この際、M1、M2、M3 の各マスキング設定も OFF になります。

注意)

本画面設定中にプリセットポジション呼び出しを行った場合、マスキング位置は登録された位置に表示されますが、WIDTH、LOCATE の数値が異なりますのでご注意ください。一度画面を更新すると正しい表示となります。

注意)

本画面設定中にオートクリーニングが動作した場合は現在の画面設定の状態で登録がされますのでご注意ください。登録が完了していない場合は再度設定ください。

「PLATFORM」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「6.PLATFORM」を選択すると、下記の画面が表示されます。

P L A T F O R M

▶ S P E E D	M O D E	3 S P E E D
A U T O	S P E E D	E X I T
S M O O T H	E D I T	1
S T A R T	U P	N O N E
C L E A N I N G		N O N E
L O N G	L I F E	O N

E X I T

回転台速度、オートパン/チルト速度、スムーズプリセット速度、スムーズプリセット登録、オート起動、クリーニング機能、ロングライフ機能に関する設定を行います。

[↑/ON]／[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。

[↑/ON]／[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

SPEED MODE : 112ページ
AUTO SPEED : 113ページ
SMOOTH EDIT : 117ページ
START UP : 126ページ
CLEANING : 127ページ
LONG LIFE : 131ページ

「SPEED MODE」メニュー

「6. PLATFORM」メニューで「SPEED MODE」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

P L A T F O R M

▶	S P E E D	M O D E	3 S P E E D
	A U T O	S P E E D	E X I T
	S M O O T H	E D I T	1
	S T A R T	U P	N O N E
	C L E A N I N G		N O N E
	L O N G	L I F E	O N
	E X I T		

[3SPEED]:3段階の速度選択が出来ます。

[7SPEED]:7段階の速度選択が出来ます。

[ADAPTIVE]:ZOOM倍率に応じて回転台の速度が変化します。

注)メルックGシリーズコントローラで本機を制御する場合は必ず3SPEEDを選択してください。メルックGシリーズコントローラで7SPEEDを選択すると、回転台速度が低速のみとなります。

スイッチ説明

[↑/ON] : ボタン押下毎に、→「7SPEED」→「ADAPTIVE」→「3SPEED」→「7SPEED」→と遷移します。

[↓/OFF] : ボタン押下毎に、→「ADAPTIVE」→「7SPEED」→「3SPEED」→「ADAPTIVE」→と遷移します。

[SHIFT] : 設定を記憶し「PLATFORM」メニューに戻ります。→111ページへ

「AUTO SPEED」メニュー

「6. PLATFORM」メニューで「AUTO SPEED」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```
                P L A T F O R M

S P E E D   M O D E           3 S P E E D
▶ A U T O   S P E E D       E X I T
S M O O T H   E D I T       1
S T A R T   U P             N O N E
C L E A N I N G             N O N E
L O N G   L I F E           O N

E X I T
```

各種オート機能の速度を設定したい場合、SET を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF] : ボタン押下毎に、・・・→「SET」→「EXIT」→「SET」→・・・と遷移します。

[SHIFT] : 「SET」表示時、「AUTO SPEED SET」メニューに遷移します。→114ページへ

「EXIT」表示時、「PLATFORM」メニューに戻ります。→111ページへ

「AUTO SPEED SET」メニュー

「AUTO SPEED」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```
▶ A U T O   P A N   S P E E D           0 . 5   D E G / S
  A U T O T I L T   S P E E D       0 . 2 5   D E G / S
  S M O O T H 1     S P E E D           3     D E G / S
  S M O O T H 2     S P E E D           3     D E G / S
  S M O O T H 3     S P E E D           3     D E G / S
  S M O O T H 4     S P E E D           3     D E G / S
  S M O O T H 5     S P E E D           3     D E G / S

E X I T
```

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「E X I T」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「PLATFORM」メニューに戻ります。→111ページへ

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

AUTO PAN SPEED : 115ページ

AUTO P/T SPEED : 115ページ

SMOOTH1 : 115ページ

SMOOTH2 : 115ページ

SMOOTH3 : 116ページ

SMOOTH4 : 116ページ

SMOOTH5 : 116ページ

「AUTO PAN SPEED」項目

「AUTO SPEED SET」メニューで「AUTO PAN SPEED」を選択すると項目が反転し、オートパン速度の設定ができます。

スイッチ説明

[↑/ON] : ボタン押下毎に、「0.5」→「1」→「3」→「6」→「15」と遷移します。

[↓/OFF] : ボタン押下毎に、「15」→「6」→「3」→「1」→「0.5」と遷移します。

[SHIFT] : 設定を記憶し「AUTO SPEED SET」メニューに戻ります。→114ページへ

「AUTOTILT SPEED」項目

「AUTO SPEED SET」メニューで「AUTOTILT SPEED」を選択すると項目が反転し、オートチルト速度の設定ができます。

スイッチ説明

[↑/ON] : ボタン押下毎に、「0.25」→「0.5」→「1」→「3」→「6」と遷移します。

[↓/OFF] : ボタン押下毎に、「6」→「3」→「1」→「0.5」→「0.25」と遷移します。

[SHIFT] : 設定を記憶し「AUTO SPEED SET」メニューに戻ります。→114ページへ

「SMOOTH1 SPEED」項目

「AUTO SPEED SET」メニューで「SMOOTH1 SPEED」を選択すると項目が反転し、スムーズプリセット1の速度設定ができます。

スイッチ説明

[↑/ON] : ボタン押下毎に、「0.5」→「1」→「3」→「6」→「15」→「MAX」と遷移します。

[↓/OFF] : ボタン押下毎に、「MAX」→「15」→「6」→「3」→「1」→「0.5」と遷移します。

[SHIFT] : 設定を記憶し「AUTO SPEED SET」メニューに戻ります。→114ページへ

「SMOOTH2 SPEED」項目

「AUTO SPEED SET」メニューで「SMOOTH2 SPEED」を選択すると項目が反転し、スムーズプリセット2の速度設定ができます。

スイッチ説明

[↑/ON] : ボタン押下毎に、「0.5」→「1」→「3」→「6」→「15」→「MAX」と遷移します。

[↓/OFF] : ボタン押下毎に、「MAX」→「15」→「6」→「3」→「1」→「0.5」と遷移します。

[SHIFT] : 設定を記憶し「AUTO SPEED SET」メニューに戻ります。→114ページへ

「SMOOTH3 SPEED」項目

「AUTO SPEED SET」メニューで「SMOOTH3 SPEED」を選択すると項目が反転し、スムーズプリセット 3 の速度設定ができます。

スイッチ説明

[↑/ON] : ボタン押下毎に、「0.5」→「1」→「3」→「6」→「15」→「MAX」と遷移します。

[↓/OFF] : ボタン押下毎に、「MAX」→「15」→「6」→「3」→「1」→「0.5」と遷移します。

[SHIFT] : 設定を記憶し「AUTO SPEED SET」メニューに戻ります。→114ページへ

「SMOOTH4 SPEED」項目

「AUTO SPEED SET」メニューで「SMOOTH4 SPEED」を選択すると項目が反転し、スムーズプリセット 4 の速度設定ができます。

スイッチ説明

[↑/ON] : ボタン押下毎に、「0.5」→「1」→「3」→「6」→「15」→「MAX」と遷移します。

[↓/OFF] : ボタン押下毎に、「MAX」→「15」→「6」→「3」→「1」→「0.5」と遷移します。

[SHIFT] : 設定を記憶し「AUTO SPEED SET」メニューに戻ります。→114ページへ

「SMOOTH5 SPEED」項目

「AUTO SPEED SET」メニューで「SMOOTH5 SPEED」を選択すると項目が反転し、スムーズプリセット 5 の速度設定ができます。

スイッチ説明

[↑/ON] : ボタン押下毎に、「0.5」→「1」→「3」→「6」→「15」→「MAX」と遷移します。

[↓/OFF] : ボタン押下毎に、「MAX」→「15」→「6」→「3」→「1」→「0.5」と遷移します。

[SHIFT] : 設定を記憶し「AUTO SPEED SET」メニューに戻ります。→114ページへ

「SMOOTH EDIT」メニュー

「6.PLATFORM」メニューで「SMOOTH EDIT」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```
                P L A T F O R M

S P E E D      M O D E          3 S P E E D
A U T O        S P E E D        E X I T
▶ S M O O T H   E D I T        1
S T A R T      U P              N O N E
C L E A N I N G          N O N E
L O N G        L I F E          O N

E X I T
```

スムーズプリセットの起動番号を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON] : ボタン押下毎に、「2」→「3」→「4」→「5」→「1」→「2」→・・・と遷移します。

[↓/OFF] : ボタン押下毎に、「5」→「4」→「3」→「2」→「1」→「5」→・・・と遷移します。

[SHIFT] : 設定を記憶し「SMOOTH * EDIT」メニューに遷移します。

「SMOOTH * EDIT」メニュー

「SMOOTH EDIT」メニューで起動番号を選択後 SHIFT スイッチを押すと、右側に「SET」が表示されます。

```

                                P L A T F O R M
                                -----
S P E E D      M O D E          3 S P E E D
A U T O      S P E E D          E X I T
▶ S M O O T H  E D I T          *           S E T
S T A R T      U P              N O N E
C L E A N I N G          N O N E
L O N G      L I F E          O N

E X I T
```

スムーズプリセットを設定したい場合、SET を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF] : 反転表示を「SET」→「*」→「SET」→・・・と遷移します。

[SHIFT] : 「*」反転時、「6.PLATFORM」メニューに戻ります。→111ページへ

「SET」反転時、「SMOOTH * SET(\$/10)」メニューに遷移します。→119ページへ

「*」は、「SMOOTH EDIT」メニューで選択された番号 (1～5) を表示します。

「SMOOTH * SET (\$ / 10)」メニュー

「SMOOTH * EDIT」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

          S M O O T H      *      S E T   ( $ / 1 0 )

N O .           P R E S E T           W A I T
▶ 1             O F F                 - - - S E C
  2             O F F                 - - - S E C
  3             O F F                 - - - S E C
  4             O F F                 - - - S E C
  5             O F F                 - - - S E C

E X I T           B A C K           N E X T
```

スムーズプリセット1～45番の各プリセット番号、及び待ち時間を設定します。

[↑/ON]／[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したいスムーズプリセット番号の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択したスムーズプリセット番号の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」、「BACK」、「NEXT」の文字が反転表示されます。

「EXIT」反転表示時モードボタンを押すと、「6.PLATFORM」メニューに戻ります。→111ページへ

「NEXT」反転表示時モードボタンを押すと、1ページ先の「SMOOTH * SET(\$/10)」メニューに遷移します。但し、(10/10)ページの場合、「SMOOTH * SET(10/10)」メニューに遷移します。→122ページへ

「BACK」反転表示時モードボタンを押すと、1ページ前の「SMOOTH * SET(\$/10)」メニューに遷移します。但し、(1/10)ページの場合、「SMOOTH * SET(10/10)」メニューに遷移します。→122ページへ

※「*」は、「SMOOTH EDIT」メニューで選択されたスムーズプリセット番号(1～5)を表示します。

※\$は、現在のページ数を表示します(\$：1～9)。また、スムーズプリセット番号は、ページ数に応じて以下のように表示されます。

- ・1ページ目：1, 2, 3, 4, 5 7ページ目：31, 32, 33, 34, 35
- ・2ページ目：6, 7, 8, 9, 10 8ページ目：36, 37, 38, 39, 40
- ・3ページ目：11, 12, 13, 14, 15 9ページ目：41, 42, 43, 44, 45
- ・4ページ目：16, 17, 18, 19, 20 10ページ目：46, 47, 48
- ・5ページ目：21, 22, 23, 24, 25
- 6ページ目：26, 27, 28, 29, 30

「NO. # PRESET (\$/10)」メニュー

「SMOOTH * SET(\$/10)」メニューで任意のスムーズプリセット番号を選択すると、▶マークが PRESET の位置へ移動します。

S M O O T H * S E T (\$ / 1 0)		
N O .	P R E S E T	W A I T
1	▶ O F F	— — — S E C
2	O F F	— — — S E C
3	O F F	— — — S E C
4	O F F	— — — S E C
5	O F F	— — — S E C
E X I T	B A C K	N E X T

スムーズプリセット1～45番の各プリセット番号を設定します。

※上記表示画面はNO. 1に関する仕様ですが、NO. 2～NO. 45についても同様です。

スイッチ説明

[↑/ON] : ボタン押下毎に、→「1」→「2」→・・・→「255」→「256」→「OFF」→「1」→・・・と遷移します。

[↓/OFF] : ボタン押下毎に、→「256」→「255」→・・・→「2」→「1」→「OFF」→「256」→・・・と遷移します。

※ 表示が数字の区間では、1ステップ分の遷移量をボタン押下の長さに応じて可変します。
(単発：+1、連続：+4)

※ NO. #のPRESET項目の表示内容が「OFF」の場合は、NO. #のWAIT項目表示が「———」、「1～256」の場合は、NO. #のWAIT項目表示が既設定項目となります。

[SHIFT] : 「OFF」表示時、設定を記憶し「SMOOTH * SET(\$/10)」メニューに戻ります。→119ページへ

「1～256」表示時、設定を記憶し「NO. # WAIT(\$/10)」メニューに遷移します。→121ページへ

「#」はスムーズプリセット番号(1～45)を表示します。

「NO. # WAIT (\$ / 10)」メニュー

「SMOOTH # PRESET (\$/10)」メニューで任意のプリセット番号を設定すると、▶マークが WAIT の位置へ移動します。

S M O O T H		*	S E T (\$ / 1 0)	
N O .	P R E S E T		W A I T	
1	O F F	▶	0 . 3	S E C
2	O F F		— — —	S E C
3	O F F		— — —	S E C
4	O F F		— — —	S E C
5	O F F		— — —	S E C
E X I T			B A C K	N E X T

スムーズプリセット 1～45 番の各待ち時間を設定します。

※上記表示画面は NO. 1 に関する仕様ですが、NO. 2～NO. 4 5 についても同様です。

スイッチ説明

[↑/ON] : ボタン押下毎に、「1」→「2」→・・・→「29」→「30」→「0.3」→「1」→・・・と遷移します。

[↓/OFF] : ボタン押下毎に、「30」→「29」→・・・→「2」→「1」→「0.3」→「30」→・・・と遷移します。

※表示が 0.3 以外の区間では、1 ステップ分の遷移量をボタン押下の長さに応じて可変します。

(単発 : +1、連続 : +4)

[SHIFT] : 設定を記憶し「SMOOTH * SET(\$/10)」メニューに戻ります。→119ページへ

「SMOOTH * SET (10/10)」メニュー

「SMOOTH * SET(9/10)」メニューで「NEXT」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```
          S M O O T H      *      S E T   ( 1 0 / 1 0 )

      N O .                P R E S E T                W A I T
▶ 4 6                      O F F                      - - - S E C
      4 7                      O F F                      - - - S E C
      4 8                      O F F                      - - - S E C

      E X I T                B A C K                N E X T
```

46～48 番のプリセット番号、及び待ち時間を設定します。

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したいスムーズプリセット番号の左隣に「▶」マークを移動して、MODE ボタンを押してください。選択したスムーズプリセット番号の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」、「BACK」、「NEXT」の文字が反転表示されます。

「EXIT」反転表示時モードボタンを押すと、「6. PLATFORM」メニューに戻ります。→111ページへ

「NEXT」反転表示時モードボタンを押すと、1 ページ目の「SMOOTH*SET(\$/10)」メニューに遷移します。
→119ページへ

「BACK」反転表示時モードボタンを押すと、9 ページ目の「SMOOTH*SET(\$/10)」メニューに遷移します。
→119ページへ

「*」は、「SMOOTH EDIT」メニューで選択された番号 (1～5) を表示します。

「NO. # PRESET (10/10)」項目

「SMOOTH * SET(10/10)」メニューで任意のスムーズプリセット番号を選択すると、▶マークがPRESETの位置へ移動します。

S M O O T H * S E T (1 0 / 1 0)		
N O .	P R E S E T	W A I T
4 6	▶ O F F	- - - S E C
4 7	O F F	- - - S E C
4 8	O F F	- - - S E C
E X I T	B A C K	N E X T

スムーズプリセット46～48番の各プリセット番号を設定します。

※上記表示画面はNO. 46に関する仕様です、NO. 47, NO. 48についても同様です。

スイッチ説明

[↑/ON] : ボタン押下毎に、・・・→「1」→「2」→・・・→「255」→「256」→「OFF」→「1」→・・・と遷移します。

[↓/OFF] : ボタン押下毎に、・・・→「256」→「255」→・・・→「2」→「1」→「OFF」→「256」→・・・と遷移します。

※ 表示が数字の区間では、1ステップ分の遷移量をボタン押下の長さに応じて可変します。
(単発: +1、連続: +4)

※NO. #のPRESET項目の表示内容が「OFF」の場合は、NO. #のWAIT項目表示を「——」に、「1～256」の場合はNO. #のWAIT項目表示を既設定項目とします。

[SHIFT] : 「OFF」表示時、設定を記憶し「SMOOTH * SET(10/10)」メニューに戻ります。→122ページへ

「1～256」表示時、設定を記憶し「NO. # WAIT(10/10)」メニューに遷移します。→124ページへ

「NO. # WAIT (10/10)」項目

「SMOOTH # PRESET (10/10)」メニューで任意のプリセット番号を選択すると、▶マークが WAIT の位置へ移動します。

```
          S M O O T H      *      S E T   ( 1 0 / 1 0 )

NO.      P R E S E T          W A I T
4 6      1                    ▶ 0 . 3 S E C
4 7      O F F                - - - S E C
4 8      O F F                - - - S E C

E X I T          B A C K          N E X T
```

スムーズプリセット 46～48 番の各待ち時間を設定します。

※上記表示画面はNO. 46に関する仕様ですが、NO. 47, NO. 48についても同様です。

スイッチ説明

[↑/ON] : ボタン押下毎に、・・・→「1」→「2」→・・・→「29」→「30」→「0.3」→「1」→・・・と遷移します。

[↓/OFF] : ボタン押下毎に、・・・→「30」→「29」→・・・→「2」→「1」→「0.3」→「30」→・・・と遷移します。

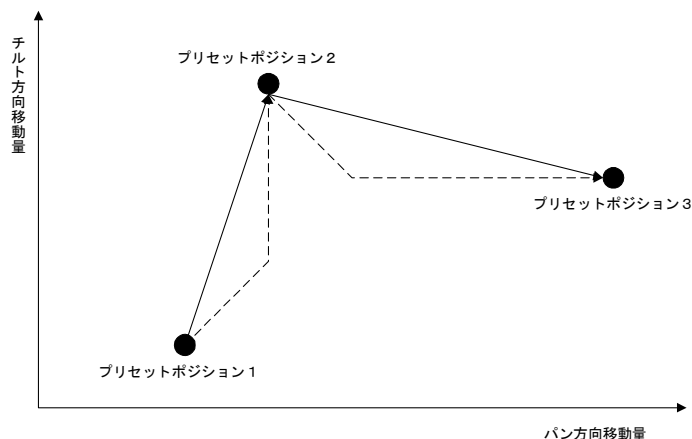
※表示が0.3以外の区間では、1ステップ分の遷移量をボタン押下の長さに応じて可変します。

(単発 : +1、連続 : +4)

[SHIFT] : 設定を記憶し「SMOOTH * SET(10/10)」メニューに戻ります。→122ページへ

[スムーズプリセットについて]

- スムーズプリセット機能は回転台移動中の監視映像を見やすくする機能です。
- 複数のプリセットポジションを順に移動する際、回転台の移動、ズーム、フォーカスの移動を滑らかに行います。(下図)



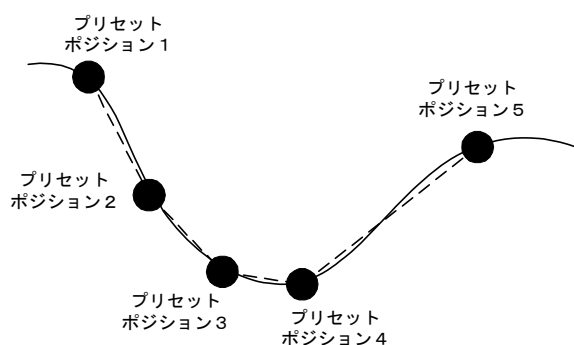
※プリセットポジション1～3への移動を行う場合

点線：従来の回転台の移動軌跡

実線：スムーズプリセット機能による回転台の移動軌跡

スムーズプリセットでは、回転台はプリセットポジション間の直線距離を移動します。また、ズーム、フォーカスはプリセット移動開始と同時に最速で移動を開始します。

- これまでのようなプリセットポジションごとの監視だけでなく、プリセットポジションとプリセットポジションの間の監視も行いうことができ、道路や河川に沿った連続的な監視を行うのに便利です。(下図)



※道路や河川等の監視を行う場合

黒点：プリセットポジション

点線：スムーズプリセット機能による回転台の移動軌跡

実線：監視を行ないたい道路や河川等の軌跡

プリセットポジション間の移動中(点線)も監視を行なうことにより、道路や河川等(実線)を漏れなく監視することができる。

注意)

スムーズプリセットを行うには、「START UP」メニューで「SMOOTH1」～「SMOOTH5」を選択後、電源を再投入すると起動します。

メルックGシリーズコントローラ R-2450 にて簡単に起動する方法は、「OPT. 3」ボタン+「SMOOTH1」～「SMOOTH5」の”1～5”のボタンを押します。それぞれスムーズプリセット(1～5)に対応して動作します。停止させる場合は、「OPT. 3」ボタン+”8”を押します。

「START UP」メニュー

「6.PLATFORM」メニューで「START UP」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

                                P L A T F O R M

S P E E D      M O D E          3 S P E E D
A U T O      S P E E D          E X I T
S M O O T H   E D I T          1
▶ S T A R T   U P              N O N E
C L E A N I N G                N O N E
L O N G      L I F E            O N

E X I T
```

電源投入時のオート機能動作を設定します。

スイッチ説明

[↑/ON] : ボタン押下毎に、・・・→「AUTO PAN」→「AUTO TILT」→「SMOOTH1」→「SMOOTH2」→「SMOOTH3」
→「SMOOTH4」→「SMOOTH5」→「NONE」→「AUTO PAN」→・・・と遷移します。

[↓/OFF] : ボタン押下毎に、・・・→「NONE」→「SMOOTH5」→「SMOOTH4」→「SMOOTH3」→「SMOOTH2」
→「SMOOTH1」→「AUTO TILT」→「AUTO PAN」→「NONE」→・・・と遷移します。

[SHIFT] : 設定を記憶し「6.PLATFORM」メニューに戻ります。→111ページへ

注意)

AUTO PAN、AUTO TILT は、プリセットポジション 15、16 の 2 点間を往復します。専用コントローラ、パソコン等によりあらかじめプリセットポジションの登録を行ってください。

専用コントローラ: 当社 U-6040 (SM-Y7260) (+R-2200 (SM-Y7261))、CCU カード Q-7904 (SM-Y7448)、
入力カード Q-7003 (SM-Y7275)、S-9520SA (SM-Y7658) (+J-4117 (SM-Y7364))、
R-2450 (SM-Y7635)

また、AUTO PAN、AUTO TILT、「SMOOTH1」～「SMOOTH5」は、選択後、電源を再投入すると起動します。

「CLEANING」メニュー

「6.PLATFORM」メニューで「CLEANING」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

P L A T F O R M		
S P E E D	M O D E	3 S P E E D
A U T O	S P E E D	E X I T
S M O O T H	E D I T	1
S T A R T	U P	N O N E
▶ C L E A N I N G		N O N E
L O N G	L I F E	O N

E X I T

クリーニングの起動、オートクリーニングの設定を行うことができます。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン : ボタン押下毎に・・・→「MANU」→「AUTO」→「NONE」→「MANU」・・・と遷移します。

[↓/OFF]ボタン : ボタン押下毎に・・・→「AUTO」→「MANU」→「NONE」→「AUTO」・・・と遷移します。

[SHIFT]ボタン : 「AUTO」表示時、「AUTO」項目に遷移します。128ページへ
「MANU」表示時、クリーニング動作を実施してメニュー画面を終了します。
「NONE」表示時、「6.PLATFORM」メニューに戻ります。111ページへ

[クリーニングについて]

- クリーニングを起動すると、右方向に $30^{\circ} / s$ の速度で2回転します。
- CIT-7550 では、水平（パン）方向の 360° エンドレス回転を行うために、スリップリングと呼ばれる特殊な部品を使用して、映像信号や制御信号や電源の伝達を行っています。このスリップリングが汚れると、水平方向の回転時に映像の劣化やノイズが発生することがあります。常に最良の状態でお使いいただくために、最低1週間に一度は水平方向操作を 360° 以上繰り返し行ってください。

注意)

クリーニング中は、画面に「SLIPRING CLEANING.....」と表示されます。また、他の回転台操作がされた場合は、途中でクリーニング動作を停止して回転台操作に移ります。

「AUTO」項目

「CLEANING」メニューの「AUTO」項目でモードボタンを押すと、項目が反転表示し、右側に「SET」が表示されます。

```

                                P L A T F O R M
                                -----
S P E E D   M O D E           3 S P E E D
A U T O     S P E E D         E X I T
S M O O T H   E D I T         1
S T A R T     U P             N O N E
▶ C L E A N I N G           A U T O           S E T
L O N G       L I F E         O N

E X I T
```

オートクリーニングの詳細設定を行いたい場合は、「SET」を選択します。

スイッチ説明

[↑/ON]／[↓/OFF]ボタン：反転表示を「AUTO」→「SET」→「AUTO」と遷移します。

[SHIFT]ボタン：「AUTO」反転時、「6. PLATFORM」メニューに戻ります。→111ページへ

「SET」反転時、「AUTO CLEANING SET」メニューに遷移します。→129ページへ

「AUTO CLEANING SET」メニュー

「AUTO」項目で「SET」を選択したとき、下記画面が表示されます。

A U T O C L E A N I N G S E T

▶ I N T E R V A L 7 D A Y S
 B O O T T I M E 0 H O U R
 0 M I N

E X I T

各項目にてオートクリーニングの設定をします。

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、[SHIFT]ボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「E X I T」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「6. PLATFORM」メニューに戻ります。→111ページへ

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

INTERVAL : 130ページ

BOOT TIME : 130ページ

「INTERVAL」項目

「AUTO CLEANING SET」メニューで「INTERVAL」を選択します。

オートクリーニングの起動間隔を設定することができます。設定が3DAYの場合、クリーニング動作が3日おきに自動で起動します。1日単位での設定が可能で、最大7日間隔の設定を行うことができます。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：INTERVAL項目の設定を、以下のとおり遷移します。

・・・→「1」→「2」→「3」→「4」→「5」→「6」→「7」→「1」→・・・

[↓/OFF]ボタン：INTERVAL項目の設定を、以下のとおり遷移します。

・・・→「7」→「6」→「5」→「4」→「3」→「2」→「1」→「7」→・・・

[SHIFT]ボタン：設定値を記憶して「AUTO CLEANING SET」メニューに戻ります。→129ページへ

「BOOT TIME」項目

「AUTO CLEANING SET」メニューで「BOOT TIME」を選択します。

オートクリーニングモードは、INTERVAL項目設定に従ってクリーニング起動日が決定しますが、本項目ではクリーニング起動日における起動時間を設定することができます。HOURの設定で起動する時間、MINの設定で起動する分を設定します。

間隔を設定することができます。設定が3DAYの場合、クリーニング動作が3日おきに自動で起動します。1日単位での設定が可能で、最大7日間隔の設定を行うことができます。

スイッチ説明 (HOUR設定)

[↑/ON]ボタン：BOOT TIME項目HOUR設定を、以下のとおり遷移します。

・・・→「0」→「1」→・・・(1ずつ増加)・・・→「23」→「0」→・・・

[↓/OFF]ボタン：BOOT TIME項目HOUR設定を、以下のとおり遷移します。

・・・→「0」→「23」→・・・(1ずつ減少)・・・→「0」→「23」→・・・

[SHIFT]ボタン：「MIN」設定へ

スイッチ説明 (MIN設定)

[↑/ON]ボタン：BOOT TIME項目MIN設定を、以下のとおり遷移します。

・・・→「0」→「1」→(1ずつ増加)→「59」→「0」→・・・

[↓/OFF]ボタン：BOOT TIME項目MIN設定を、以下のとおり遷移します。

・・・→「0」→「59」→(1ずつ減少)→「0」→「59」→・・・

[SHIFT]ボタン：設定値を記憶して「AUTO CLEANING SET」メニューに戻ります。→129ページへ

「LONG LIFE」メニュー

「6. PLATFORM」メニューで「LONG LIFE」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

P L A T F O R M		
S P E E D	M O D E	3 S P E E D
A U T O	S P E E D	E X I T
S M O O T H	E D I T	1
S T A R T	U P	N O N E
C L E A N	I N G	N O N E
▶ L O N G	L I F E	O N
E X I T		

スムーズプリセットの動作回数を制限することができます。

スイッチ説明

[↑/ON]/[↓/OFF]ボタン：ボタン押下毎に→「ON」→「OFF」→「ON」→と遷移します。

[SHIFT]ボタン：設定を記憶して「6. PLATFORM」メニューに戻ります。111ページへ

[LONG LIFEについて]

- 「LONG LIFE」設定が ON の時は、スムーズプリセットのシーケンスが一巡して先頭に戻るまでの間に 80 分間のインターバルが設けられます。
- シーケンスを連続して実施した場合、運用の形態によっては 1 ヶ月以内に回転台（100 万往復）、ズーム（100 万往復）、フォーカス（200 万往復）が寿命を超える可能性があります。LONG LIFE 機能は、シーケンスが一巡して先頭に戻るまでの間にインターバルを設けることで、連続してシーケンスを動作させることを防止し、回転台、ズーム、フォーカスが早期に寿命を超えないようにするものです。

注意)

「LONG LIFE」設定が OFF の時は、80 分間のインターバルなしに連続してシーケンス動作を行うことができます。但し、運用の形態によっては 1 ヶ月以内に回転台（100 万往復）、ズーム（100 万往復）、フォーカス（200 万往復）が寿命を超える可能性があります。

「TIME ADJ」メニュー

「ADJ ITEM」で「7.TIME ADJ」メニューを選択すると、下記の画面が表示されます。

T I M E A D J

▶ 0 8 年 0 8 月 0 5 日 1 0 : 5 7

E X I T

現在の時刻を設定します。

[↑/ON]、[↓/OFF]ボタンを押すと、「▶」マークの表示を、点灯→消灯→点灯と変化します。

※ 「▶」マーク消灯時は、「EXIT」を反転表示します。

※ 「EXIT」反転表示の場合、[SHIFT]ボタンを押すとメニュー画面を終了します。

※ 「▶」マーク点灯時に[SHIFT]ボタンを押すと、「年設定」項目へ遷移します。→133ページへ

「年設定」項目

「TIME ADJ」メニューで「▶」マーク点灯時に[SHIFT]ボタンを押します。

年設定を行います。現在の値が反転表示されます。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：年の表示がボタン押下毎に増加します。99年の次は00年に遷移します。

[↓/OFF]ボタン：年の表示がボタン押下毎に減少します。00年の次は99年に遷移します。

[SHIFT]ボタン：「月設定」項目に遷移します。→133ページへ

「月設定」項目

「年設定」項目で[SHIFT]ボタンを押します。

月設定を行います。現在の値が反転表示されます。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：月の表示がボタン押下毎に増加します。12月の次は01月に遷移します。

[↓/OFF]ボタン：月の表示がボタン押下毎に減少します。01月の次は12月に遷移します。

[SHIFT]ボタン：「日設定」項目に遷移します。→133ページへ

「日設定」項目

「月設定」項目で[SHIFT]ボタンを押します。

日設定を行います。現在の値が反転表示されます。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：日の表示がボタン押下毎に増加します。その月の最大日の次は01日に遷移します。

[↓/OFF]ボタン：日の表示がボタン押下毎に減少します。01日の次はその月の最大日に遷移します。

[SHIFT]ボタン：「時設定」項目に遷移します。→134ページへ

※その月の最大日は、以下のとおりです。

1月、3月、5月、7月、8月、10月、12月…31日

4月、6月、9月、11月…30日

2月で年が4の倍数の時…29日（閏年）、左記以外の2月…28日

「時設定」項目

「日設定」項目で[SHIFT]ボタンを押します。

時設定を行います。現在の値が反転表示されます。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：「:」左側の表示がボタン押下毎に増加します。23時の次は00時に遷移します。

[↓/OFF]ボタン：「:」左側の表示がボタン押下毎に減少します。00時の次は23時に遷移します。

[SHIFT]ボタン：「分設定」項目に遷移します。→134ページへ

「分設定」項目

「時設定」項目で[SHIFT]ボタンを押します。

分設定を行います。現在の値が反転表示されます。

スイッチ説明

[↑/ON]ボタン：「:」右側の表示がボタン押下毎に増加します。59分の次は00分に遷移します。

[↓/OFF]ボタン：「:」右側の表示がボタン押下毎に減少します。00分の次は59分に遷移します。

[SHIFT]ボタン：新しく設定された時刻を反映し、メニューを終了する。

[時計機能について]

- CIT-7550は、時計機能を搭載しています。時刻情報は電源OFF後も保持されます。
- 時刻の精度は月差±75秒です。
- 時刻設定において、秒の設定は自動的に行われます。分設定項目で[SHIFT]ボタンを押して、新しい時刻が反映された瞬間が00秒となります。

注意)

時刻の精度は月差±75秒であることから、長期間使用する場合は時間がずれてきます。時刻はオートクリーニング機能で使用されますが、時間の精度が求められる場合は定期的に時刻合わせを実施してください。

「SPECIAL」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「8.SPECIAL」を選択すると、下記の画面が表示されます。

P A S S W O R D

* * * *

N E X T

R T N

パスワード「1192」を入力することで、アイリス速度の設定メニュー（MIC SPEED）に入ることができます。アイリスの反応が遅い場合、アイリスがハンチングを起こす場合は、本メニューの設定で回避することができます。

パスワード入力スイッチ説明

- [↑/ON]ボタン：反転表示されている*を0→9まで変化します。9の場合は0に遷移します。
- [↓/OFF]ボタン：反転表示されている*を9→0まで変化します。0の場合は9に遷移します。
- [SHIFT]ボタン：*の反転表示を1つ右隣に遷移します。*の反転表示が一番右隣の場合は、NEXTを反転表示してNEXT/RTN 選択に遷移します。

NEXT/RTN 選択スイッチ説明

- [↑/ON]／[↓/OFF]ボタン：反転表示を「NEXT」→「RTN」→「NEXT」→…と遷移します。
- [SHIFT]ボタン：「RTN」反転時、パスワード入力画面に戻ります。
「NEXT」反転時、入力数字が「1192」であれば「MIC SPEED」メニューに、それ以外であればメニューを終了します。

「MIC SPEED」メニュー

「PASSWORD」メニューでパスワード「1192」を入力して NEXT を選択すると、下記の画面が表示されます。

M I C S P E E D



アイリスの速度を設定することができます。設定値が大きいほどアイリスが速く、小さいほど遅く動作します。アイリスの反応が遅い場合は設定値を大きく、アイリスがハンチングを起こす場合は設定値を小さくすることで、アイリス動作を最適化することができます。

入力スイッチ説明

[↑/ON] ボタン : 反転表示されている**を0→15まで変化します。

[↓/OFF] ボタン : 反転表示されている**を15→0まで変化します。

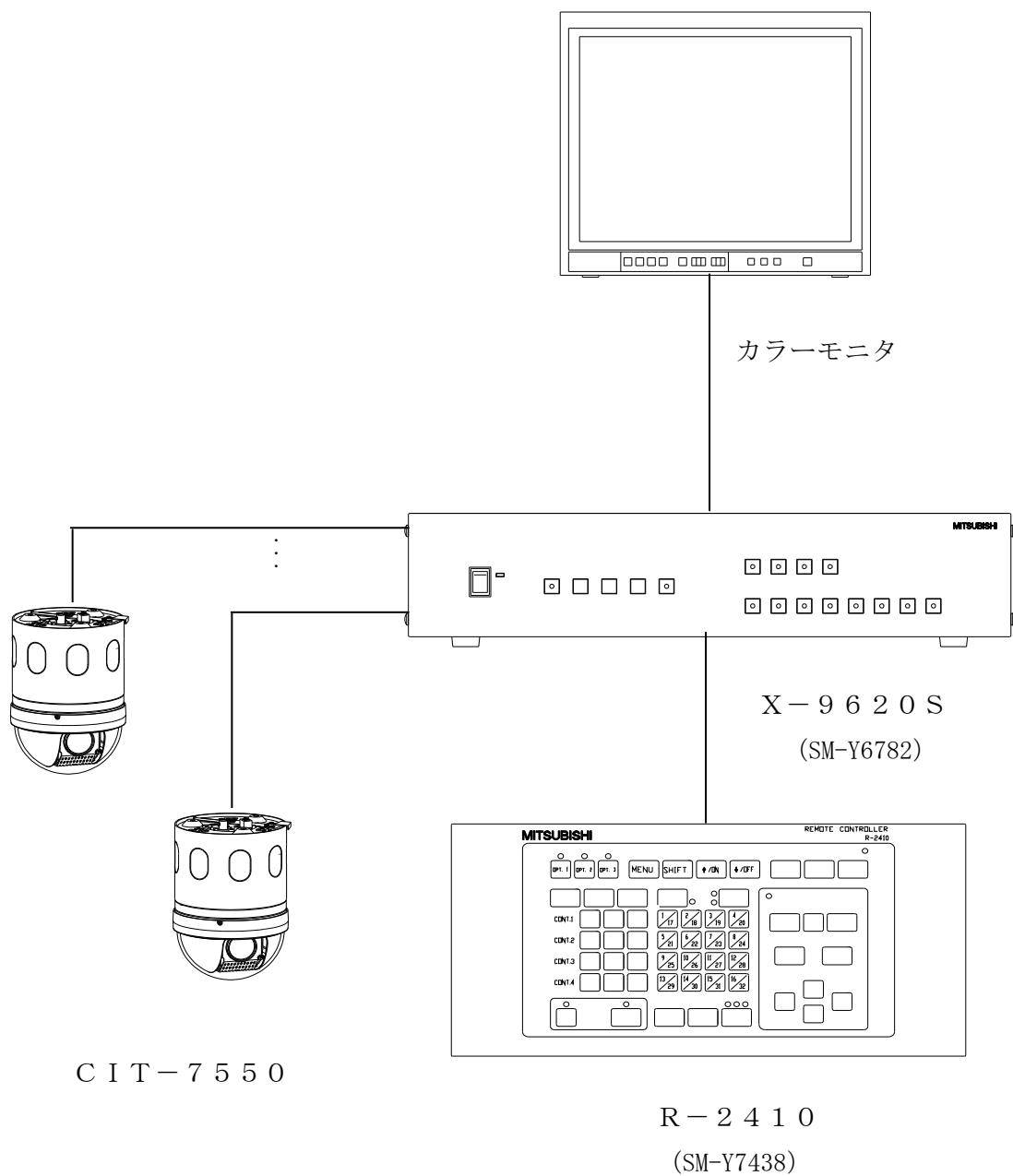
[SHIFT] ボタン : 設定値を記憶してメニュー画面を終了します

注) 本設定を大きい値に設定した場合、アイリスがハンチングを起こす場合があります。小さい値に設定した場合、アイリスが途中で停止する場合があります。

注) 本設定は、INITIAL 処理 (41ページ) を行っても初期化されませんのでご注意ください。工場出荷設定は「4」です。

接続のしかた

(構成例)



- カメラ～カメラコントローラ X-9620S 間は 5C-2V で最長 1.2km 以内で接続してください。1.2km を超えて接続しますと、同軸ワンラインを通じての制御が行えなくなります。
- カメラ～カメラコントローラ X-9620S 間には、指定以外の機器を接続しないでください。通信等が行えなくなります。

接続のしかた (つづき)

- ネットワークアダプタ X-1150 と接続する場合、X-1150 の DIP スイッチを以下の表の通り、設定してください。

表. X-1150 カメラ種別設定

SW1 bit6	SW2 bit1	SW2 bit5
ON	OFF	ON

注意) X-1150 と接続した場合、マニュアルアイリス制御は使用できません。

- ネットワークアダプタ X-1160 と接続する場合の注意点を以下に示します。

1. 入力画像調整設定画面

入力画像に対する水平位置の調整値の目安を以下の表に示します。以下の調整値を目安にして、ビューワーで確認しながら、調整値を決定してください。

表. X-1160 入力画像調整値 (目安)

カメラ	調整値 (目安)	電源	外部制御
CIT-7550	+2	AC 電源	ワンライン制御

注意) 左右の端の両方に黒い縦筋が表示される場合があります。

2. ワンライン制御に関して

X-1160 は、ワンラインによる外部制御機能はありませんので、CIT-7550 をワンライン制御で使用する場合には、CIT-7550 と X-1160 の間に別途、カメラコントローラを接続してください。

(ii) 応答コマンド

S T X	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	H	L	H	L			E	H	L
	ダミー (①～⑭ : 0x30)														カメラ 番号	コマンド	結果	データ	T X	BCC			

- STX : 0x02
- ダミー①～⑭ : 各 0x30 (ASCII コード)
- カメラ番号～コマンド : ASCII コード
- 結果 : 0x00 (OK の場合) 、 0x01 (NG の場合)
- データ : ASCII コード
- ETX : 0x03
- BCC : コマンド～ETX までの XOR データの ASCII 化 (ASCII 化後に計算)

(11) シーケンス

各要求に対して、受信元 (カメラ CPU) では要求コマンドをチェック後必ず応答コマンドを返送します。

2. コマンド一覧

2. 1. 要求コマンド

種別	コマンド	コード	パラメータ	備考
カメラ制御	<u>回転台/レンズ制御</u>	"AA"	Data1, Data2	
	<u>オートパン</u>	"AB"	Data1	
	<u>レンズ制御</u>	"AC"	Data1, Data2	
	<u>ホームポジション制御</u>	"AD"	なし	非対応
	<u>強制停止</u>	"AE"	なし	非対応
	<u>相対位置制御</u>	"AG"	Data1~6	
	<u>絶対位置制御</u>	"AH"	Data1~6	
	<u>端末制御 1</u>	"BA"	Data1, Data2	
	<u>端末制御 2</u>	"BB"	Data1, Data2	非対応
	<u>端末制御 3</u>	"BF"	Data1	三菱独自
	<u>プリセット選択</u>	"DA"	Data1	
	<u>プリセット登録</u>	"DB"	Data1	
	<u>プリセットシーケンス</u>	"DC"	Data1	
	<u>拡張 回転台/レンズ制御</u>	"TA"	Data1~Data4	三菱独自, "AA"の拡張
	<u>拡張 相対位置制御</u>	"TB"	Data1~Data8	三菱独自, "AG"の拡張
	<u>拡張 絶対位置制御</u>	"TC"	Data1~Data8	三菱独自, "AH"の拡張
	<u>拡張 プリセット選択</u>	"TD"	Data1, Data2	三菱独自, "DA"の拡張
	<u>拡張 白黒/カラー切替制御</u>	"TE"	Data1	三菱独自
<u>拡張 端末制御</u>	"TF"	Data1	三菱独自	
<u>拡張 ダイレクトコマンド</u>	"TG"	Data1, Data2	三菱独自, 非対応	
周辺制御	<u>周辺制御 1</u>	"BC"	Data1, Data2	非対応
	<u>キャリブレーション</u>	"BD"	Data1	非対応
	<u>外部制御</u>	"BE"	Data1~Data4	非対応
	<u>シャッタースピード</u>	"CA"	Data1	
	<u>電子感度アップ</u>	"CB"	Data1	
	<u>電子ズーム</u>	"CC"	Data1	
	<u>バックライトコントロール</u>	"CD"	Data1	
	<u>ホワイトバランス</u>	"CE"	Data1	
	<u>ノイズリダクション</u>	"CF"	Data1	
	<u>ゆれ補正</u>	"CG"	Data1	非対応

映像制御	入出力選択	"EA"	Data1, Data2	非対応
	自動スキャンング制御	"EB"	Data1, Data2, Data3	非対応
	画面合成制御	"EC"	Data1, Data2, Data3	非対応
状態取得	カメラ状態取得	"FA"	なし	
	周辺制御状態取得	"FB"	なし	
	外部入力状態取得	"FC"	なし	
	ズーム位置取得	"FG"	なし	
	拡張 カメラ状態取得	"UA"	なし	三菱独自, "FA"の拡張
	拡張 ズーム位置取得	"UB"	なし	三菱独自, "FG"の拡張
	拡張 ダイレクトコマンド取得	"UD"	Data1	三菱独自, 非対応
その他	機能拡張	"ZZ"	Data1~Data15	

注1) 各コマンドのコードは ASCII 文字とし、"AA"であれば、0x41, 0x41 のデータとなります。

注2) CIT-7550 は、表中網掛け部分のコマンドのみ対応します。

データ

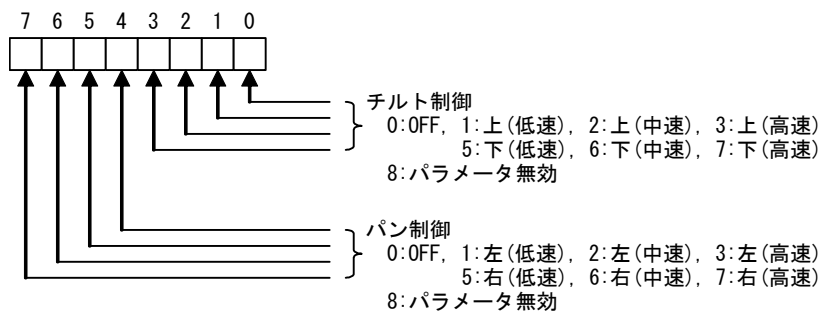
以下に各コマンドに対するデータの内容を示します。データは全て ASCII 文字コードにて送信します。

(1) 回転台/レンズ制御

コマンド: "AA"

パラメータ: Data1, Data2

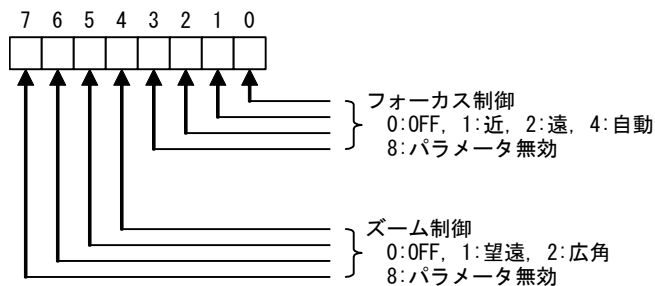
Data1



注 1) CIT-7550 のチルト、パンの速度の割り当ては以下の通りです。

- ・チルト 低速: 1 度/s, 中速: 15 度/s, 高速: 90 度/s
- ・パン 低速: 1 度/s, 中速: 15 度/s, 高速: 150 度/s

Data2



注 1) CIT-7550 のフォーカス、ズームの速度の割り当ては以下の通りです。

- ・フォーカス 最高速
- ・ズーム 高速

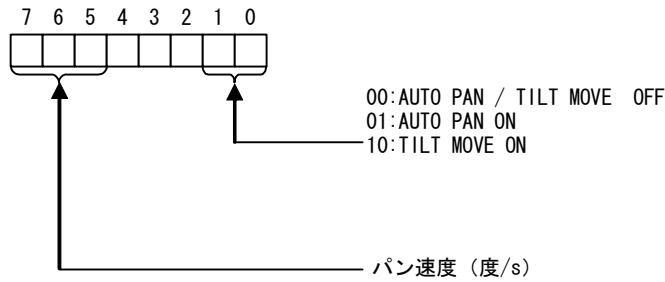
注 2) フォーカス制御の"4: 自動"はワンプッシュオートフォーカス指示を示します。

(2) オートパン

コマンド：“AB”

パラメータ：Data1

Data1



注 1) CIT-7550 において TILT MOVE ON はオートチルト動作をします。

注 2) CIT-7550 の速度の割り当ては以下の通りです。

AUTO PAN ON時 0：0.5、1：1、2：3、3：6、4：15 (度／s)

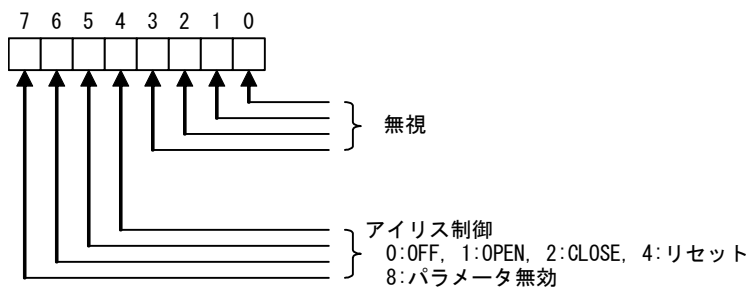
TILT MOVE ON時 0：0.25、1：0.5、2：1.5、3：3、4：6 (度／s)

(3) レンズ制御

コマンド：“AC”

パラメータ：Data1, Data2

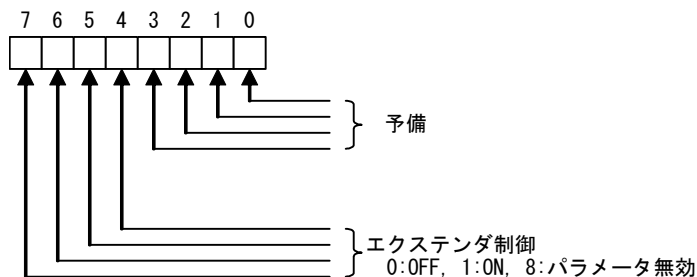
Data1



注 1) CIT-7550 はアイリス制御のみ対応し、他は無視します。

注 2) アイリス制御の“4：リセット”はオートアイリス指示を示します。

Data2

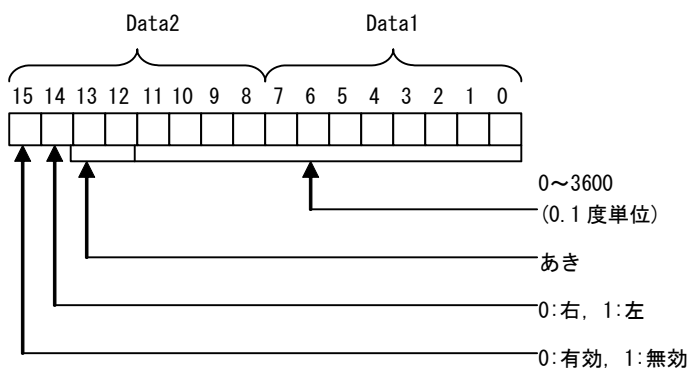


(4) 相対位置制御

コマンド：“AG”

パラメータ：Data1, 2 Data3, 4 Data5, 6

Data1, 2：水平相対角

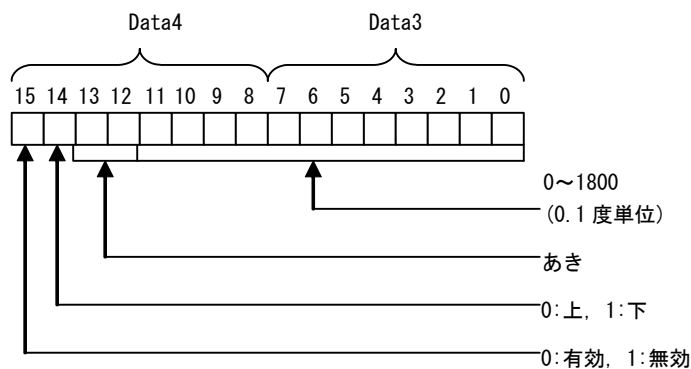


注 1) CIT-7550 は最小ステップ角が 0.24 度のため、回転台動作は 0.24 度単位での近似値とします。

注 2) 本コマンドで設定された目標停止位置と応答コマンドで返信される位置データが異なる場合がありますのでご注意願います。

例: 本コマンドによる目標停止位置 = 右 3.0° → FA コマンドによる返信位置データ = 右 2.9°

Data3, 4 : 垂直相対角

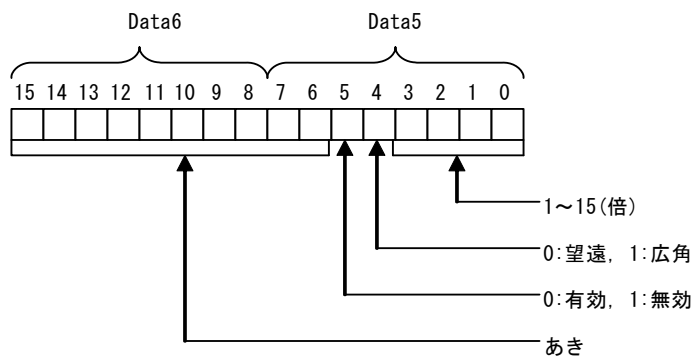


注 1) CIT-7550 は最小ステップ角が 0.24 度のため、回転台動作は 0.24 度単位での近似値とします。

注 2) 本コマンドで設定された目標停止位置と応答コマンドで返信される位置データが異なる場合がありますのでご注意ください。

例: 本コマンドによる目標停止位置 = 下 3.0° → FA コマンドによる返信位置データ = 下 2.9°

Data5, 6 : ズーム相対値



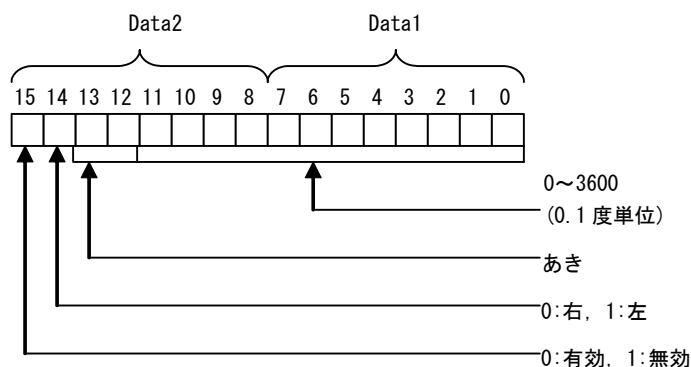
注) CIT-7550 の相対移動は現行倍率の最大 15 倍までとします。(電子ズームを含む)

(5) 絶対位置制御

コマンド : "AH"

パラメータ : Data1, 2 Data3, 4 Data5, 6

Data1, 2 : 水平絶対角

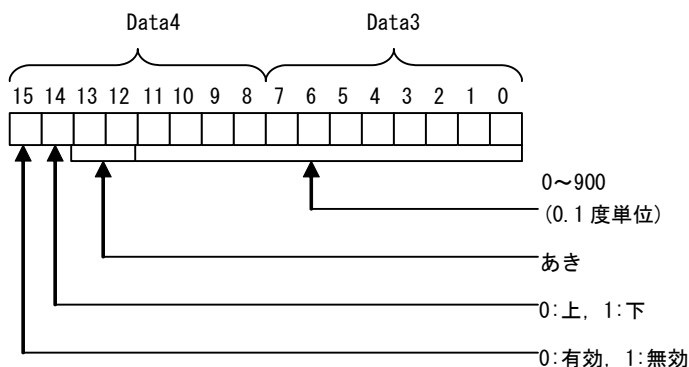


注 1) CIT-7550 は最小ステップ角が 0.24 度のため、回転台動作は 0.24 度単位での近似値とします。

注 2) 本コマンドで設定された目標停止位置と応答コマンドで返信される位置データが異なる場合がありますのでご注意ください。

例: 本コマンドによる目標停止位置 = 右 3.0° → FA コマンドによる返信位置データ = 右 2.9°

Data3, 4 : 垂直絶対角

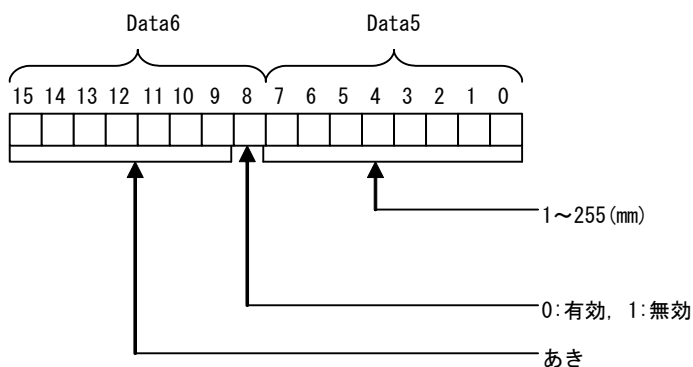


注 1) CIT-7550 は最小ステップ角が 0.24 度のため、回転台動作は 0.24 度単位での近似値とします。

注 2) 本コマンドで設定された目標停止位置と応答コマンドで返信される位置データが異なる場合がありますのでご注意ください。

例: 本コマンドによる目標停止位置 = 下 3.0° → FA コマンドによる返信位置データ = 下 2.9°

Data5, 6 : ズーム絶対値



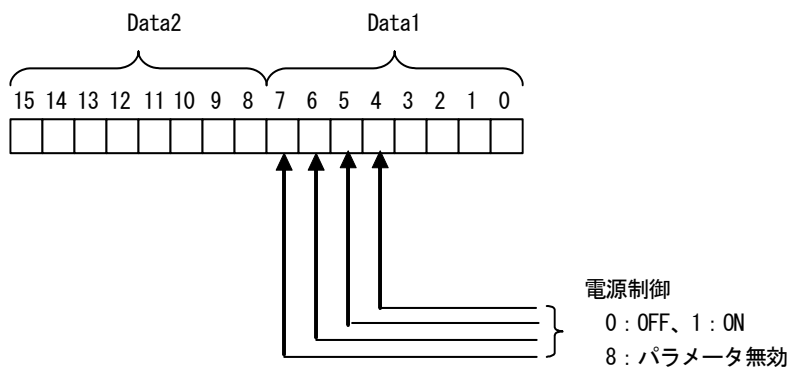
注) CIT-7550 は電子ズーム設定が×2~×16 の場合は光学ズーム×電子ズームで動作する。

(6) 端末制御 1

コマンド : "BA"

パラメータ : Data1, Data2

Data1, 2



注 1) CIT-7550 の電源制御は OFF 時にレンズをクローズし、画面を単色にするのみで、カメラ電源は ON のままです。

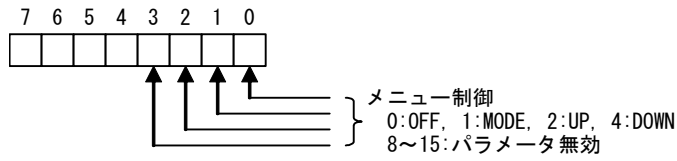
CIT-7550 の電源制御 ON 時に回転台は原点検出を行います。

(7) 端末制御 3

コマンド : "BF"

パラメータ : Data1

Data1



(8) プリセット選択

コマンド : "DA"

パラメータ : Data1

Data1

0x01~0xFF (プリセット 1~255)

(9) プリセット登録

コマンド : "DB"

パラメータ : Data1

Data1

0x01~0xFF (プリセット 1~255)

(10) プリセットシーケンス

コマンド : "DC"

パラメータ : Data1

Data1

0x00 : シーケンス OFF、0x01~0x05 : シーケンス 1~5

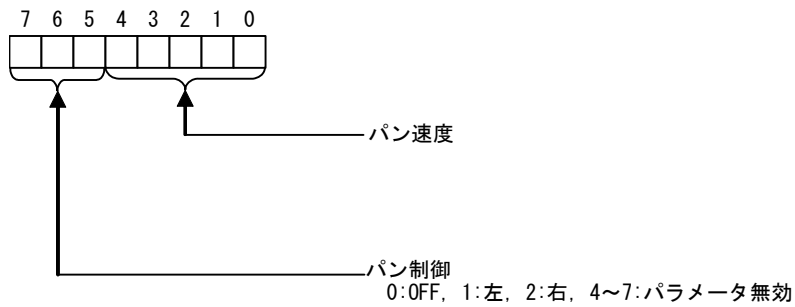
0x10 : パンエンドレス回転

(1 1) 拡張 回転台/レンズ制御

コマンド: "TA"

パラメータ: Data1, Data2, Data3, Data4

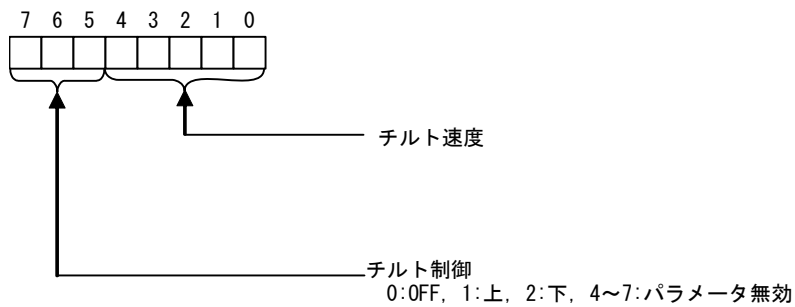
Data1



注 1) CIT-7550 のパン速度の割り当ては以下の通りです。

0 : 0.5、1 : 1、2 : 3、3 : 6、4 : 15、5 : 30、6 : 150 (度 / s)

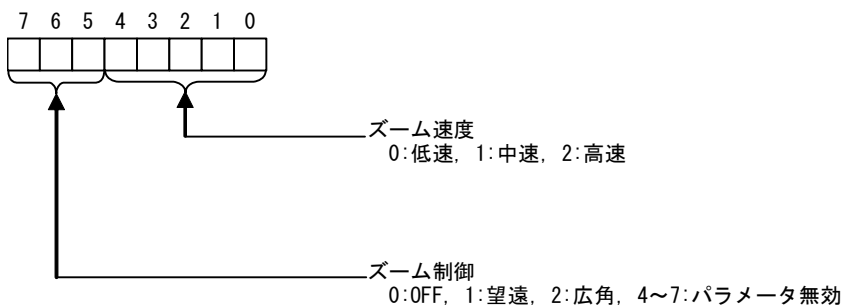
Data2



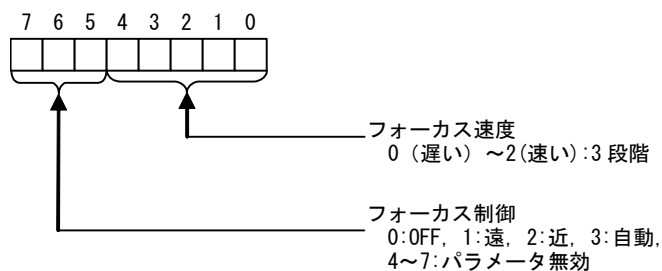
注 1) CIT-7550 のチルト速度の割り当ては以下の通りです。

0 : 0.5、1 : 1、2 : 3、3 : 6、4 : 15、5 : 30、6 : 90 (度 / s)

Data3



Data4



注 1) CIT-7550 のフォーカス速度の割り当ては以下の通りです。

0 : 低速、 1 : 中速、 2~3 : 高速

注 2) フォーカス制御の“3 : 自動”はワンプッシュオートフォーカス指示を示します。

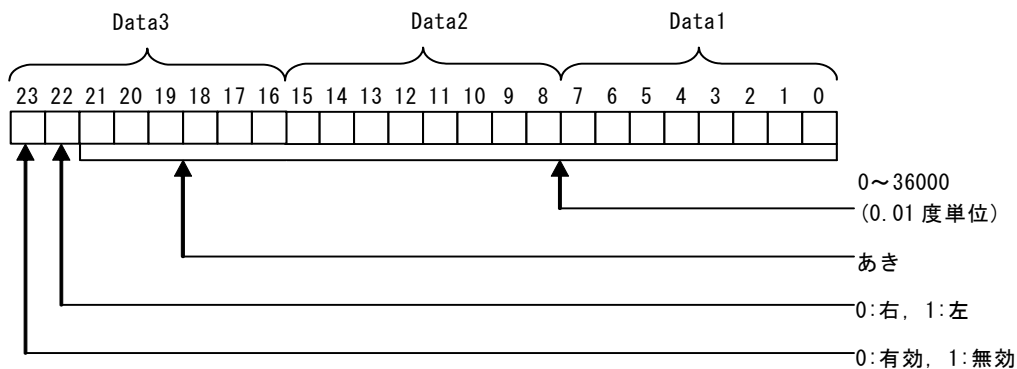
注 3) ユーザーメニュー「SPEED MODE」設定が「ADAPTIVE」の場合の動作速度はパン速度、チルト速度ともに設定された速度とせず、ADAPTIVE 制御によって決まる速度とします。

(1 2) 拡張 相対位置制御

コマンド : ” TB”

パラメータ : Data1, 2, 3 Data4, 5, 6 Data7, 8

Data1, 2, 3 : 水平相対角

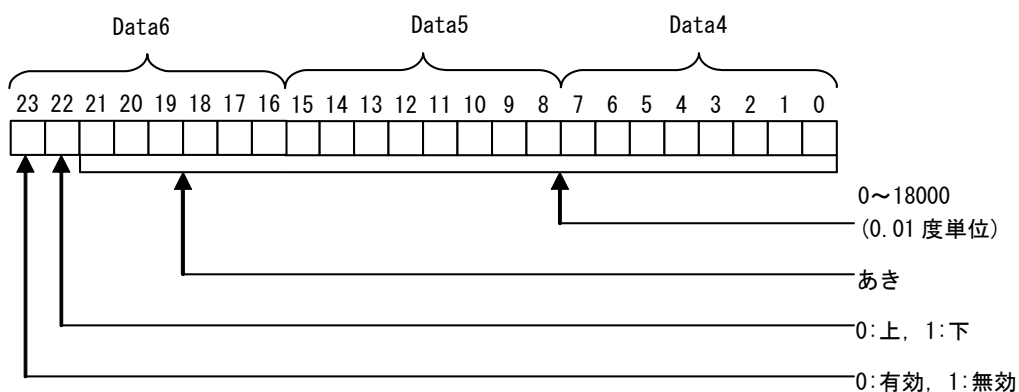


注 1) CIT-7550 における回転台動作は角度データの小数点第 2 位を四捨五入し、さらに 0.24 度単位に近似した値とします。

注 2) 本コマンドで設定された目標停止位置と応答コマンドで返信される位置データが異なる場合がありますのでご注意ください。

例:本コマンドによる目標停止位置=右 3.04° → UA コマンドによる返信位置データ=右 2.90°

Data4, 5, 6 : 垂直相対角

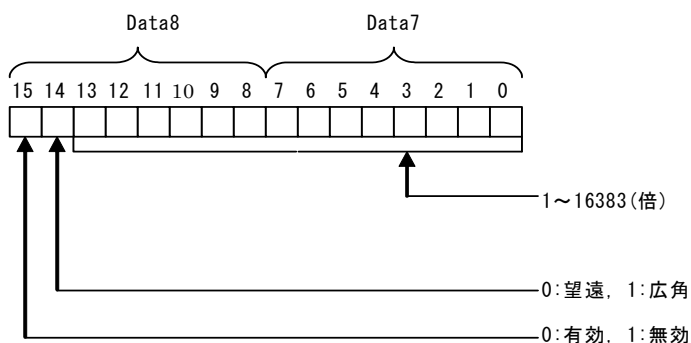


注 1) CIT-7550 における回転台動作は角度データの小数点第 2 位を四捨五入し、さらに 0.24 度単位に近似した値とします。

注 2) 本コマンドで設定された目標停止位置と応答コマンドで返信される位置データが異なる場合がありますのでご注意ください。

例: 本コマンドによる目標停止位置 = 下 3.04° → UA コマンドによる返信位置データ = 下 2.90°

Data7, 8 : ズーム相対値



注 1) CIT-7550 は電子ズーム設定が ×2~×16 の場合は光学ズーム×電子ズームで動作します。

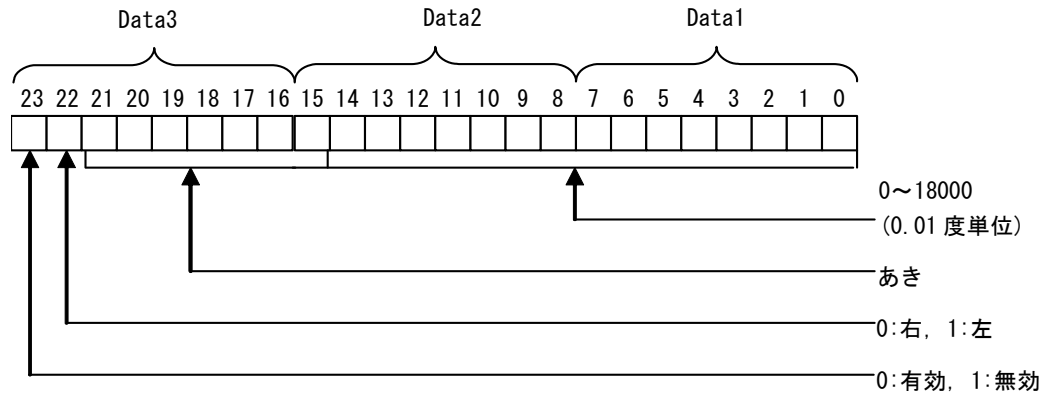
注 2) CIT-7550 にてサポートしていない倍率の要求がきた場合、NG の返信を返します。

(13) 拡張 絶対位置制御

コマンド: "TC"

パラメータ: Data1, 2, 3 Data4, 5, 6 Data7, 8

Data1, 2, 3: 水平絶対角

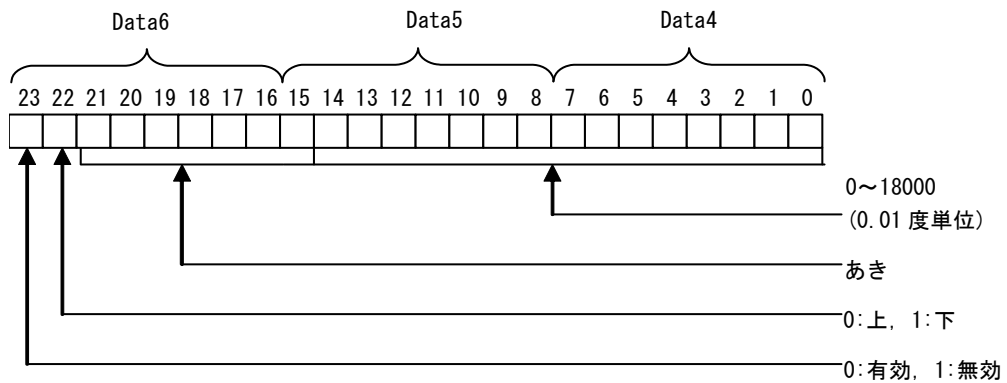


注1) CIT-7550 における回転台動作は角度データの小数点第2位を四捨五入し、さらに 0.24 度単位に近似した値とします。

注2) 本コマンドで設定された目標停止位置と応答コマンドで返信される位置データが異なる場合がありますのでご注意ください。

例: 本コマンドによる目標停止位置 = 右 3.04° → UA コマンドによる返信位置データ = 右 2.90°

Data4, 5, 6: 垂直絶対角

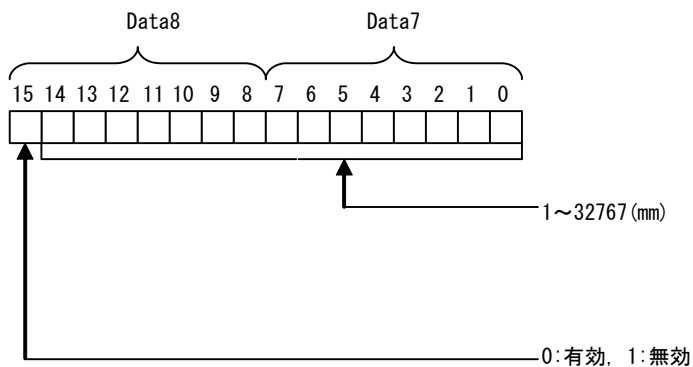


注1) CIT-7550 における回転台動作は角度データの小数点第2位を四捨五入し、さらに 0.24 度単位に近似した値とします。

注2) 本コマンドで設定された目標停止位置と応答コマンドで返信される位置データが異なる場合がありますのでご注意ください。

例: 本コマンドによる目標停止位置 = 下 3.04° → UA コマンドによる返信位置データ = 下 2.90°

Data7,8 : ズーム絶対値



注 1) CIT-7550 は電子ズーム設定が×2～×16 の場合は光学ズーム×電子ズームで動作します。

注 2) CIT-7550 にてサポートしていない倍率の要求がきた場合、NG の返信を返します。

(1 4) 拡張プリセット選択

コマンド : "TD"

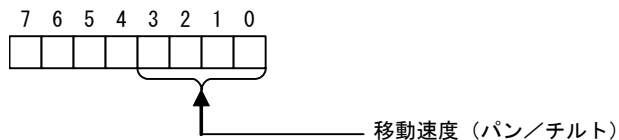
パラメータ : Data1, Data2

Data1

0x01～0xFF (プリセット 1～255)

Data2

移動速度



CIT-7550 での速度の割り当ては以下の通りです。

0 : パン 3、チルト 1.5、 1 : パン 15、チルト 6、 2 : パン 30、チルト 15 (度/s)

3 : プリセット最高速度

(15) 拡張 白黒／カラー切換制御

コマンド：“TE”

パラメータ：Data1

Data1

0x00:カラー

0x01:白黒

0x02:AUTO

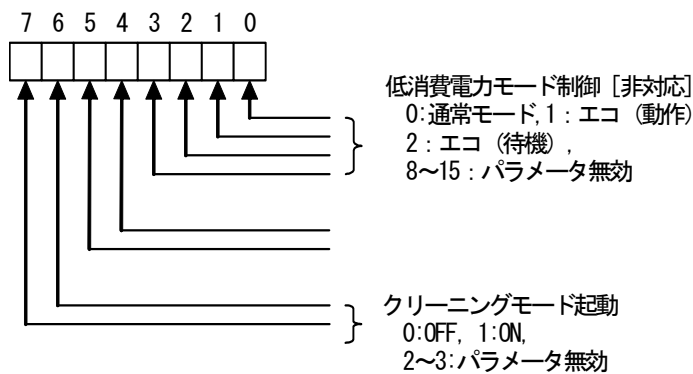
注) CIT-7550 で上記割当以外のコマンドを受信した場合、NG 応答を返しません。また、白黒／カラー切換制御の動作を行いません。

(16) 拡張 端末制御

コマンド：“TF”

パラメータ：Data1

Data1



注1) CIT-7550 は低消費電力モード未搭載のため、低消費電力モード制御コマンドは非対応です。

注2) 上記割当以外のコマンドを受信した場合、NG 応答を返します。また、全ての制御項目の動作を行いません。

尚、bit4~5 は未アサインのため、どのようなコマンドを受信しても NG 応答とせず、全ての制御項目の動作を可能とします。また、低消費電力モード制御コマンドは見ないことにするため、上記割当以外のコマンドを受信しても NG とせず、他制御項目の動作も可能とします。

(17) シャッタースピード

コマンド：“CA”

パラメータ：Data1

Data1

0x00:OFF

0x01:1/100

0x02:1/250

0x03:1/500

0x04:1/1000

0x05:1/2000

0x06:1/4000

0x07:1/10000

注) 0×08~0×FF コマンドを受信した場合、NG 応答を返します。また、シャッタースピード設定の動作を行いません。

(18) 電子感度アップ

コマンド：“CB”

パラメータ：Data1

Data1

0x00:OFF

0x01:2 倍

0x02:4 倍

0x03:6 倍

0x04:8 倍

0x05:10 倍

0x06:12 倍

0x07:14 倍

0x08:16 倍

0x0B:自動

(19) 電子ズーム

コマンド：“CC”

パラメータ：Data1

Data1

0x00:OFF

0x01:2倍

0x02:4倍

0x03:8倍

0x04:16倍

注) 本コマンドで定義されますのは電子ズームの最高倍率で、電子ズームの動作は行いません。

(20) バックライトコントロール

コマンド：“CD”

パラメータ：Data1

Data1

0x00:OFF

0x01:ON

注) CIT-7550 は OFF で IRIS MODE=NORMAL、ON で IRIS MODE=SPOT となります。

また、0x00、0x01 のみサポートします。

(21) ホワイトバランス

コマンド：“CE”

パラメータ：Data1

Data1

0x00:自動 OFF

0x01:自動 ON

注) CIT-7550 では 0x00 (MWB)、0x01 (AWB) のみサポートします。

0x02~0x06 はコマンドが来ても無視します。

(2 2) ノイズリダクション

コマンド：“CF”

パラメータ：Data1

Data1

0x00:OFF

0x01:ON

0x02:DOWN

0x03:UP

注) CIT-7550 では ON で DNR=AUTO となります。

(2 3) カメラ状態取得

コマンド：“FA”

パラメータ：なし

(2 4) 周辺制御状態取得

コマンド：“FB”

パラメータ：なし

(2 5) 外部入力状態取得

コマンド：“FC”

パラメータ：なし

(2 6) ズーム位置取得

コマンド：“FG”

パラメータ：なし

(2 7) 拡張 カメラ状態取得

コマンド：“UA”

パラメータ：なし

(2 8) 拡張 ズーム位置取得

コマンド：“UB”

パラメータ：なし

(2 9) 拡張 ダイレクトコマンド状態取得

コマンド：“UD”

パラメータ：なし

(30) 機能拡張 (要求コマンド)

コマンド: "ZZ"

Data1, 2	Data3	Data4	Data5	Data6	Data7	Data8 ~	
固有ベン ダ ID	CIT-7550 関係識別 コード	コマンド分類	コマンド				
80FF	0x21	0x01 (回転台・ 照明系)	0x01 (ユーザ原点 設定)	下位 4bit (チルト制御) / 0:設定しない, 1:設定, 8~15:パラメータ無効 上位 4bit (パン設定) / 0:設定しない, 1:設定, 8~15:パラメータ無効	—		
			0x02 (パン照明点 灯範囲設定)	パン照明点灯範囲データ	—		
			0x03 (チルト照明 点灯範囲設定)	チルト照明点灯範囲データ	—		
			0x04 (照明点灯条 件設定)	照明点灯条件データ	—		
		0x03 (レンズ 制御系)	—	—	—		
		0x05 (プリセッ ト系)	0x01 (プリセット データ全消去)			—	
			0x02 (プリセット データ WRITE)	プリセット No. 1~255	プリセットデータ (注1)		
			0x03 (プリセット データ READ)	プリセット No. 1~255			
			0x04 (シーケンス データ WRITE)	シーケンス No. 0~4	シーケンスデータ (注2)		
			0x05 (シーケンス データ READ)	シーケンス No. 0~4	シーケンスデ ータ (注4)		
			0x06 (シーケンス スピードデータ WRITE)	シーケンス No. 0~4	シーケンス スピードデー タ (注3)		
			0x07 (シーケンス スピードデータ READ)	シーケンス No. 0~4	—		
		0x07 (カメラ 系)	0x01 (白黒/カラー 切替設定)	0x00:カラー, 0x01:白黒, 0x02:AUTO1, 0x03:AUTO2	—		
		0x0d (絶対位 置、相対位置 系)	速度				

CIT-7550 は、表中網掛け部分のコマンドのみ対応します。

(注1) プリセットデータ内訳

Data7	Data8	Data9	Data10	Data11	Data12	Data13	Data14	Data15			
パン位置 (上位)	パン位置 (下位)	チルト位置 (上位)	チルト位置 (下位)	ズーム位置 (上位)	ズーム位置 (下位)	フォーカス位置 (上位)	フォーカス位置 (下位)	BIT1: データ有効 0:無効, 1:有効(*1) BIT2: 電子 ZOOM 0:光学, 1:電子(*2)			
Data16	Data17	Data18	Data19	Data20		Data21		Data22	Data23	Data24	Data25
SPOT AE 枠 BIT0 ~ 3 WIDHT H BIT4 ~ 7 WIDTH V	SPOT AE 枠 BIT0~3 LOCATE H BIT4~7 LOCATE V	SPOT AWB 枠 BIT0~3 WIDHT H BIT4~7 WIDTH V	SPOT AWB 枠 BIT0~3 LOCATE H BIT4~7 LOCATE V	BIT0~2: SCENE FIT 設定 0:テイクオフ, 1:パニング, 2:エキゾーム, 3:ロカ, 4: USER1, 5:USER2, 6:USER3, 7:ATM,		M1 設定 BIT0:OFF, 1:ON BIT1~6 WIDTH H		M1 設定 BIT0~4 WIDTH V	M1 設定 BIT0~5 LOCATE H	M1 設定 BIT0~4 LOCATE V	M2 設定 BIT0:OFF, 1:ON, BIT1 ~ 6 WIDTH H
Data26	Data27	Data28	Data29	Data30		Data31	Data32				
M2 設定 BIT0~4 WIDTH V	M2 設定 BIT0~5 LOCATE H	M2 設定 BIT0~4 LOCATE V	M3 設定 BIT0:OFF, 1:ON, BIT1~6 WIDTH H	M3 設定 BIT0~4 WIDTH H		M3 設定 BIT0~5 LOCATE H	M3 設定 BIT0~4 LOCATE V				

(*1) 本 BIT で全ての転送・登録されるプリセットデータが有効であるかどうかを示します(無効であった場合、カメラ側で記憶されても動作しません)

(*2) 本 BIT で転送される ZOOM データが電子 ZOOM に対応したデータであるかどうかを示します (光学/電子 ZOOM それぞれで、ZOOM 位置フォーマットが違います)

(注2) ダウンロードシーケンスデータ内訳

Data7	Data8	Data9	Data10
ポジション番号 0~47	プリセット番号 0:OFF、1~256 (上位)	プリセット番号 0:OFF、1~256 (下位)	ウェイト時間 0:0 秒、1~30 秒

(注3) ダウンロードシーケンススピードデータ内訳

Data7
スピードデータ (° /秒) 0:0.5、1:1、2:3、3:6、4:15、5:MAX

(注4) アップロードシーケンスデータ内訳

Data7
ポジション番号 0~47

2. 2. 応答コマンド

種別	コマンド	コード	パラメータ	備考
カメラ制御	回転台/レンズ制御	"AA"	結果	
	オートパン	"AB"	結果	
	レンズ制御	"AC"	結果	
	ホームポジション制御	"AD"	結果	非対応
	強制停止	"AE"	結果	非対応
	相対位置制御	"AG"	結果	
	絶対位置制御	"AH"	結果	
	端末制御 1	"BA"	結果	
	端末制御 2	"BB"	結果	非対応
	端末制御 3	"BF"	結果	三菱独自
	プリセット選択	"DA"	結果	
	プリセット登録	"DB"	結果	
	プリセットシーケンス	"DC"	結果	
	拡張 回転台/レンズ制御	"TA"	結果	三菱独自, "AA"の拡張
	拡張 相対位置制御	"TB"	結果	三菱独自, "AG"の拡張
	拡張 絶対位置制御	"TC"	結果	三菱独自, "AH"の拡張
	拡張 プリセット選択	"TD"	結果	三菱独自, "DA"の拡張
	拡張 白黒/カラー切替制御	"TE"	結果	三菱独自
	端末制御	"TF"	結果	三菱独自
	ダイレクトコマンド	"TG"	結果	三菱独自、非対応
周辺制御	周辺制御 1	"BC"	結果	非対応
	キャリブレーション	"BD"	結果	非対応
	外部制御	"BE"	結果	非対応
	シャッタースピード	"CA"	結果	
	電子感度アップ	"CB"	結果	
	電子ズーム	"CC"	結果	
	バックライトコントロール	"CD"	結果	
	ホワイトバランス	"CE"	結果	
	ノイズリダクション	"CF"	結果	
	ゆれ補正	"CG"	結果	非対応
映像制御	入出力選択	"EA"	結果	非対応
	自動スキャンング制御	"EB"	結果	非対応
	画面合成制御	"EC"	結果	非対応

状態取得	カメラ状態取得	"FA"	結果, Data1~Data8	
	周辺制御状態取得	"FB"	結果, Data1~Data10	
	外部入力状態取得	"FC"	結果, Data1~Data8	
	ズーム位置取得	"FG"	結果, Data1	
	拡張 カメラ状態取得	"UA"	結果, Data1~Data9	三菱独自, "FA"の拡張
	拡張 ズーム位置取得	"UB"	結果, Data1, Data2	三菱独自, "FG"の拡張
	拡張 ダイレクトコマンド状態取得	"UD"	結果, Data1, Data2	三菱独自、非対応
その他	機能拡張	"ZZ"	結果, Data1~Data15	

注1) 各コマンドのコードは ASCII 文字とし、"AA"であれば、0x41, 0x41 のデータとなります。

注2) CIT-7550 は、表中網掛け部分のコマンドのみ対応します。

- (1) 回転台／レンズ制御
コマンド：“AA”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)

- (2) オートパン
コマンド：“AB”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)

- (3) レンズ制御
コマンド：“AC”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)

- (4) 相対位置制御
コマンド：“AG”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)

- (5) 絶対位置制御
コマンド：“AH”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)

- (6) 端末制御 1
コマンド：“BA”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)

- (7) 端末制御 3
コマンド：“BF”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)

- (8) プリセット選択
コマンド：“DA”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)

- (9) プリセット登録
コマンド：“DB”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)

- (1 0) プリセットシーケンス
コマンド：“DC”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)
- (1 1) 拡張 回転台/レンズ制御
コマンド：“TA”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)
- (1 2) 拡張 相対位置制御
コマンド：“TB”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)
- (1 3) 拡張 絶対位置制御
コマンド：“TC”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)
- (1 4) 拡張 プリセット選択
コマンド：“TD”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)
- (1 5) 拡張 白黒/カラー切換制御
コマンド：“TE”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)
- (1 6) 拡張 端末制御
コマンド：“TF”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)
- (1 7) シャッタースピード
コマンド：“CA”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)
- (1 8) 電子感度アップ
コマンド：“CB”
パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)

(19) 電子ズーム

コマンド：“CC”

パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)

(20) バックライトコントロール

コマンド：“CD”

パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)

(21) ホワイトバランス

コマンド：“CE”

パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)

(22) ノイズリダクション

コマンド：“CF”

パラメータ：結果 OK(0x00)、結果 NG(0x01)

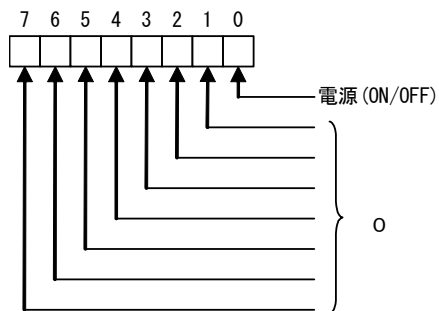
(23) カメラ状態取得

コマンド：“FA”

パラメータ：結果 OK(0x00), 結果 NG(0x01)

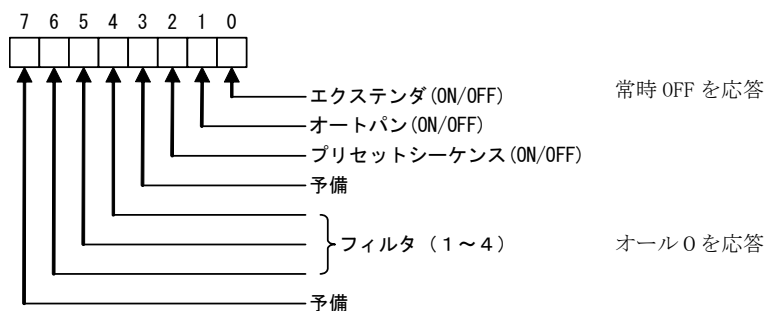
Data1, Data2, Data3, Data4, Data5, Data6, Data7, Data8

Data1



注) CIT-7550 は bit1~7 において常時 0 を応答します。

Data2

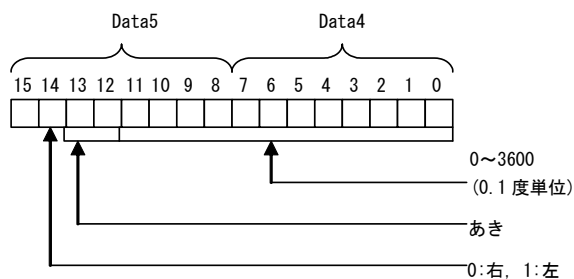


- 注1) CIT-7550 はエクステンダ、フィルタの bit は常時0 を応答します。
- 注2) CIT-7550 はオートパン、オートチルトいずれかが動作中で bit 1 は ON とします。
- 注3) CIT-7550 はプリセットシーケンス動作中に ON:1、OFF:0 を応答します。

Data3

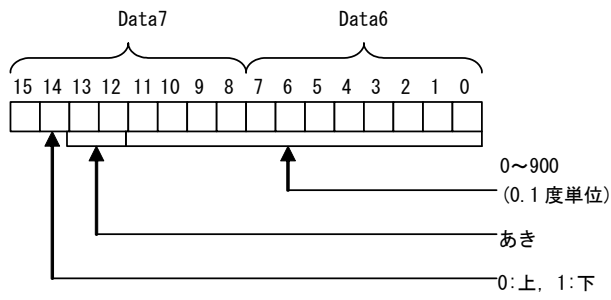
0x00, 0x01~0xFF : プリセット番号

Data4, Data5 : パン位置



- 注1) CIT-7550 は最小ステップ角が 0.24 度のため 0.1 度単位での近似値とします。
 - 注2) 要求コマンドで設定された目標停止位置と本コマンドで返信された位置データが異なる場合がありますのでご注意ください。
- 例 : AH コマンドでの目標停止位置 = 右 3.0° → 本コマンドでの返信位置データ = 右 2.9°

Data6, 7 : チルト位置

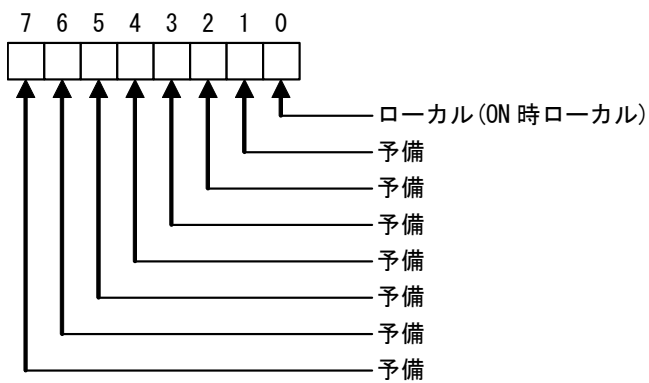


注1) CIT-7550 は最小ステップ角が 0.24 度のため 0.1 度単位での近似値とします。

注2) 要求コマンドで設定された目標停止位置と本コマンドで返信された位置データが異なる場合がありますのでご注意ください。

例 : AH コマンドでの目標停止位置 = 下 3.0° → 本コマンドでの返信位置データ = 下 2.9°

Data8 : カメラ状態



(2 4) 周辺制御状態取得

コマンド：“FB”

パラメータ：結果OK (0x00)，結果NG (0x01)

Data1～Data10

Data1～Data3

CIT-7550 は常時 0 を応答します。

Data4：シャッタースピード

0x00:OFF

0x01:1/100

0x02:1/250

0x03:1/500

0x04:1/1000

0x05:1/2000

0x06:1/4000

0x07:1/10000

Data5：電子感度アップ

0x00:OFF

0x01:2 倍

0x02:4 倍

0x03:6 倍

0x04:8 倍

0x05:10 倍

0x06:12 倍

0x07:14 倍

0x08:16 倍

0x09:24 倍

0x0A:32 倍

0x0B:自動

0x0C:64 倍

0x0D:128 倍

0x0E:256 倍

0x0F:512 倍

0x10:20 倍

0x11:40 倍

0x12:80 倍
0x13:160 倍

Data6 : 電子ズーム

0x00:OFF,
0x01:2 倍
0x02:4 倍
0x03:8 倍
0x04:16 倍

Data7 : バックライトコントロール

0x00:OFF
0x01:ON
0x02:自動

Data8 : ホワイトバランス

0x00:自動 OFF
0x01:自動 ON

Data9 : ノイズリダクション

0x00:OFF
0x01:ON

Data10 : ゆれ補正

注) CIT-7550 は Data10 において常時 0 を応答します。

(2 5) 外部入力状態取得応答

コマンド：“FC”

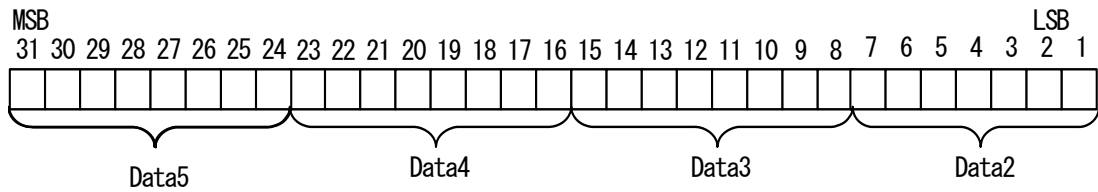
パラメータ：Data1（結果），NG(0x01)

Data2～Data5：出力状態

Data6～Data9：入力状態

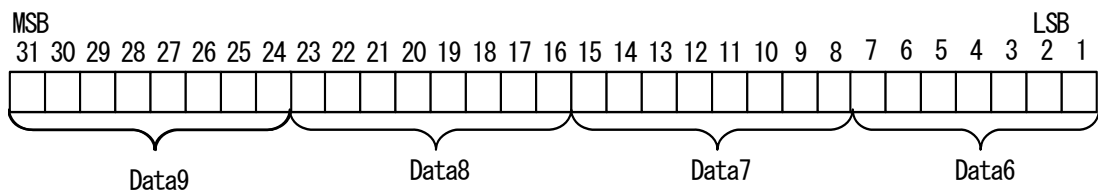
Data2～Data5

常時 0×00 を応答



Data6～Data9

常時 0×00 を応答



(2 6) ズーム位置取得応答

コマンド：“FG”

パラメータ：結果 OK(0x00)，結果 NG(0x01)

パラメータ：Data1

Data1：ズーム位置（mm 単位）

注）CIT-7550 は 1～255mm まで対応します。（255mm 以上は 255mm）

(2 7) 拡張 カメラ状態取得

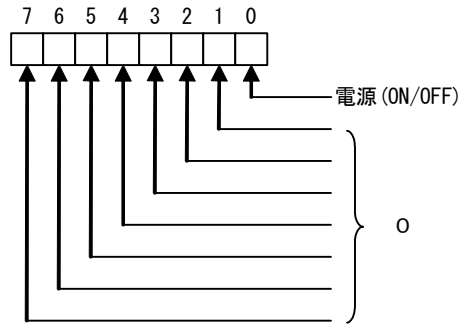
コマンド：“UA”

パラメータ：結果 OK(0x00)，結果 NG(0x01)

Data1, Data2, Data3, Data4, 5, 6, Data7, 8, Data9

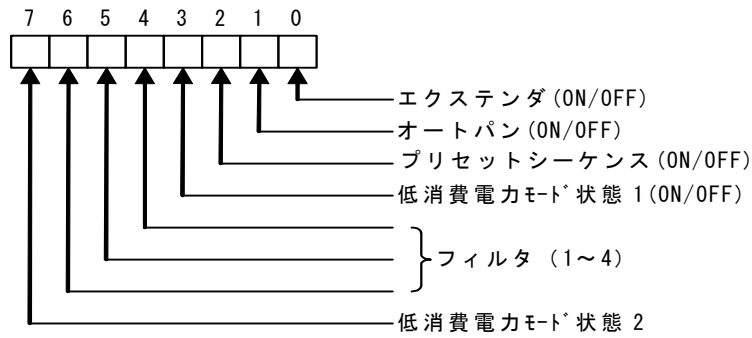
パン位置 チルト位置

Data1



注1) CIT-7550 は bit1~7 において常時 0 を応答します。

Data2



注1) CIT-7550 はエクステンダ、フィルタの bit は常時 0 を応答します。

注2) CIT-7550 はオートパン、オートチルトいずれかが動作中で bit1 は ON とします。

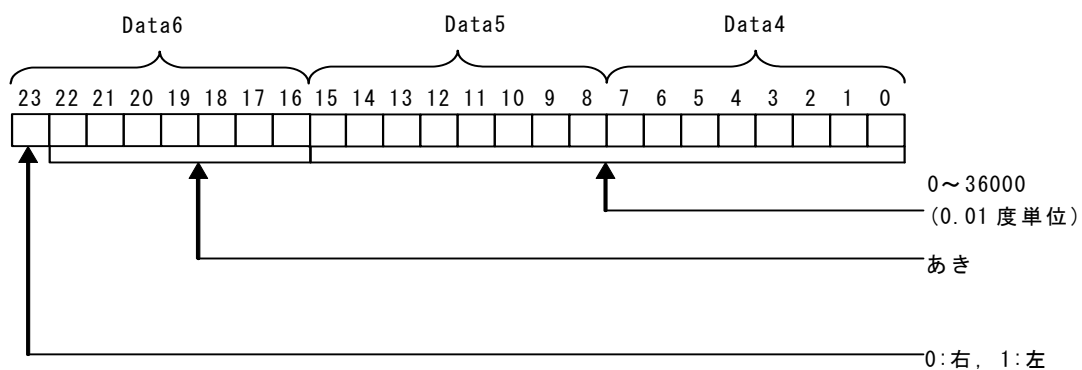
注3) CIT-7550 はプリセットシーケンス動作中に ON:1、OFF:0 を応答します。

注4) CIT-7550 は低消費電力モード状態 1, 2 は常時 0 を応答します。

Data3

0x00, 0x01~0xFF : プリセット番号

Data4, 5, 6 : パン位置

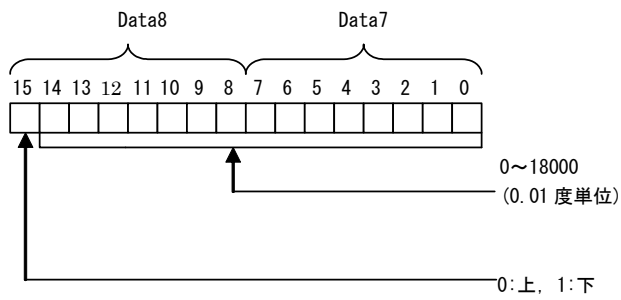


注1) CIT-7550 は 0.24 度単位で動作した位置情報を 0.1 度単位に近似し、さらにその値を 0.01 度単位に換算した値を返信します。

注2) 要求コマンドで設定された目標停止位置と本コマンドで返信された位置データが異なる場合がありますのでご注意ください。

例:TC コマンドでの目標停止位置=右 3.04° → 本コマンドでの返信位置データ=右 2.90°

Data7, 8 : チルト位置

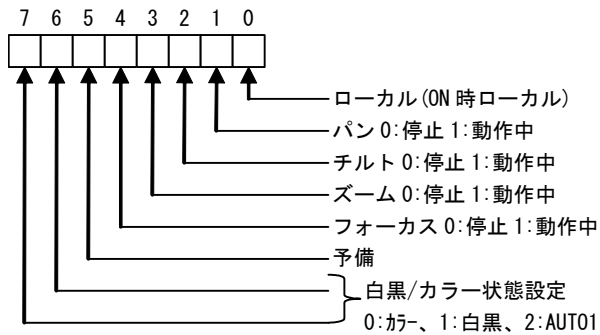


注 1) CIT-7550 は 0.24 度単位で動作した位置情報を 0.1 度単位に近似し、さらにその値を 0.01 度単位に換算した値を返信します。

注 2) 要求コマンドで設定された目標停止位置と本コマンドで返信された位置データが異なる場合がありますのでご注意ください。

例: TC コマンドでの目標停止位置 = 下 3.04° → 本コマンドでの返信位置データ = 下 2.90°

Data9 : カメラ状態

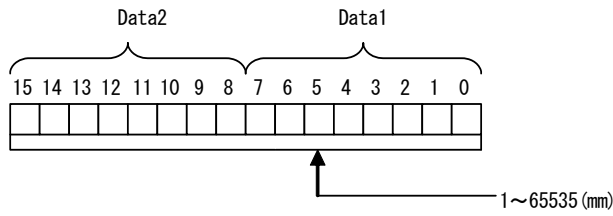


(28) 拡張 ズーム位置取得応答

コマンド: "UB"

パラメータ: 結果 OK (0x00), 結果 NG (0x01)

Data1, 2



(29) 機能拡張 (応答コマンド)

コマンド: "ZZ"

パラメータ: 結果 OK (0x00), 結果 NG (0x01)

Data1, 2	Data3	Data4	Data5	Data6	Data7	Data8~
固有ベンダ ID	CIT-7500 関係識別コード	コマンド分類	コマンド			
80FF	0x21	0x01 (回転台・照明系)	0x01 (ユーザ原点設定)	—	—	
			0x02 (パン照明点灯範囲設定)	—	—	
			0x03 (チルト照明点灯範囲設定)	—	—	
			0x04 (照明点灯条件設定)	—	—	
		0x03 (レンズ制御系)	—	—	—	
		0x05 (プリセット系)	0x01 (プリセットデータ全消去)	—	—	
0x02 (プリセットデータ WRITE)	—		—			

			0x03 (プリセットデータ READ)	プリセット No. 1~256	プリセットデータ (注1)	
			0x04 (シーケンスデータ WRITE)	—	—	
			0x05 (シーケンスデータ READ)	シーケンス No. 0~4	シーケンスデータ (注2)	
			0x06 (シーケンススピードデータ WRITE)	—	—	
			0x07 (シーケンススピードデータ READ)	シーケンス No. 0~4	シーケンススピードデータ (注3)	
		0x07 (カメラ系)	—	—	—	
		0x0d (絶対位置、相対位置系)	速度			
		0x0f (ログ系)	0x01 (ログ取得要求)	ログ情報(注4)		

CIT-7550 は、表中網掛け部分のコマンドのみ対応します。

(注1) プリセットデータ内訳

Data7	Data8	Data9	Data10	Data11	Data12	Data13	Data14	Data15			
パン位置 (上位)	パン位置 (下位)	チルト位置 (上位)	チルト位置 (下位)	ズーム位置 (上位)	ズーム位置 (下位)	フォーカス位置 (上位)	フォーカス位置 (下位)	BIT1: データ有効 0:無効, 1:有効(*1) BIT2: 電子 ZOOM 0:光学, 1:電子(*2)			
Data16	Data17	Data18	Data19	Data20		Data21		Data22	Data23	Data24	Data25
SPOT AE 枠 BIT0~3 WIDTH H BIT4~7 WIDTH V	SPOT AE 枠 BIT0~3 LOCATE H BIT4~7 LOCATE V	SPOT AWB 枠 BIT0~3 WIDTH H BIT4~7 WIDTH V	SPOT AWB 枠 BIT0~3 LOCATE H BIT4~7 LOCATE V	BIT0~2: SCENE FIT 設定 0:デイクチ, 1:パキンク, 2:エキホム, 3:ロウカ, 4: USER1, 5:USER2, 6:USER3, 7:ATM,		M1 設定 BIT0:OFF, 1:ON BIT1~6 WIDTH H		M1 設定 BIT0~4 WIDTH V	M1 設定 BIT0~5 LOCATE H	M1 設定 BIT0~4 LOCATE V	M2 設定 BIT0:OFF, 1:ON, BIT1~6 WIDTH H
Data26	Data27	Data28	Data29	Data30		Data31	Data32				
M2 設定 BIT0~4 WIDTH V	M2 設定 BIT0~5 LOCATE H	M2 設定 BIT0~4 LOCATE V	M3 設定 BIT0:OFF, 1:ON, BIT1~6 WIDTH H	M3 設定 BIT0~4 WIDTH H		M3 設定 BIT0~5 LOCATE H	M3 設定 BIT0~4 LOCATE V				

(*1) 本 BIT で全ての転送・登録されるプリセットデータが有効であるかどうかを示します(無効であった場合、カメラ側で記憶されても動作しません)

(*2) 本 BIT で転送される ZOOM データが電子 ZOOM に対応したデータであるかどうかを示します (光学/電子 ZOOM それぞれで、ZOOM 位置フォーマットが違います)

注 2) READ シーケンスデータ内訳

Data7	Data8	Data9	Data10
ポジション番号 0~47	プリセット番号 0:OFF、1~255 (上位)	プリセット番号 0:OFF、1~255 (下位)	ウエイト時間 0:0 秒、1~30 秒

注 3) ダウンロードシーケンススピードデータ内訳

Data7
スピードデータ (° /秒) 0:0.5、1:1、2:3、3:6、4:15、5~7:MAX

注 4) ログ情報内訳

Data6~Data11	Data12	Data13~Data21
時刻	種別	ログ内容

CCDの傷について

- CCD は宇宙線の影響により、まれに白傷が発生することが報告されております。定量的データはまだありませんが、高度の高い地点での設置、航空機による CCD (セット含む) 輸送により発生頻度が高くなる事が確認されておりますので極力航空機による製品輸送は避けてください。
- 現時点でこれを防ぐ有効な手段はありません。本機は S/W による白傷補正を行っており、従来機種に比べ、白傷は改善されておりますが、細かな傷等が残る場合があります。白傷により運用上の弊害が発生した場合は CCD 交換を推奨いたします。(有料)

お手入れのしかた

- (1) 電源を切ってからお手入れをしてください。
- (2) 汚れがひどいときは、水で十分うすめた中性洗剤をご使用ください。
- (3) レンズの清掃はクリーニングペーパー (メガネやカメラの清掃に使うもの) で行ってください。
- (4) ドームカバーは特に傷が付きやすいので、柔らかい布で軽く拭いてください。
- (5) CIT-7550 には直接水をかけないでください。内部に水が入り、故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

下記の点をもう一度お確かめください。お確かめの結果、なお異常のある場合は電源を切ってからサービスをお申しつけください。

- 各ユニットの電源プラグがはずれていませんか?
- 同軸ケーブルは正しく接続されていますか?
- モニタの電源スイッチは ON になっていますか?

保証とアフターサービス

- 1 本保証書は、販売店が所定事項を記入後お渡ししますので、お受け取りの際は「保証期間」、「販売会社」をご確認の上、大切に保管してください。
- 2 保証規定
 - (1) 保証期間内 (お買上げ日より 1 年間) に正常なる使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
 - (2) 保証期間中でも次の場合には有料修理になります。
 - ① ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ② 火災、地震、水害、塩害、異常電圧、指定外の使用電源、及びその他天災地変などによる故障及び損傷。
 - ③ 特殊環境 (たとえば極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃など) による故障及び損傷。
 - ④ 本書のご提示がない場合。
 - ⑤ 本書の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ⑥ 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN)
- 3 補修用性能部品の保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後 7 年です。(性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品です。) 詳しくはお求めの販売店にご相談ください。

仕様

<カメラ部>

撮像素子	1/4 型インターライン転送方式 CCD
有効画素数	768(H)×494(V)・・・約 38 万画素
同期方式	専用コントローラからの外部同期/内部同期 (±50ppm) 外部同期信号は映像出力端子より入力、 専用コントローラより供給
外部同期位相調整	H 位相 24 段階
走査方式	2:1 インターレース
走査周波数	水平：15.734kHz 垂直：59.94Hz
映像出力	複合映像信号 1.0V (p-p) /75Ω (BNC コネクタ)
解像度	標準時 水平：480 本以上 垂直：350 本以上 電子増感時 水平：460 本以上 垂直：260 本以上
S/N	50dB 以上 (AGC OFF 時)
ダイナミックレンジ	スーパーファインビュー (SFV) 機能有り
電子ズーム	16 倍 (光学 25 倍×電子ズーム 16 倍で 400 倍)
電子シャッター	1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 [s]
電子増感	標準感度の 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 20, 40 [倍] 自動/手動 切換
カラー/白黒切換	自動/手動 切換
最低被写体照度	標準時 : 1.0 lx (1/60s F1.6) 電子増感時 : 0.025 lx (40 倍 F1.6) 白黒標準時 : 0.1 lx (1/60s F1.6) 白黒電子増感時 : 0.0025 lx (40 倍 F1.6)
フリッカー補正機能	有り
逆光補正機能	有り (エリア選択式)
ピーク測光機能	有り
グラデーション機能	ガンマ、ニー、セットアップ、ホワイトクリップの設定可能
文字表示機能	有り (カナ、英数字、記号 12 桁、表示位置を 6 ヶ所から選択可能)
マスキング機能	有り (最大 3 箇所) 16 箇所までプリセット可能。
ホワイトバランス	自動/手動/ロック
エリア選択式 AWB	有り
イージーフィッティング	有り
オートフォーカス	ワンプッシュ式
制御方法	専用コントローラからのワンライン制御によるコマンド制御
最大伝送距離	1.2km (専用コントローラ間、同軸ケーブル 5C-2V 使用時)

<回転台、ケース部>

回転方向	PAN、TILT 同時駆動可能
最大旋回角度	PAN : 360° エンドレス TILT : +0° 以上~-90° 以下
最大旋回速度	PAN : 540° /s TILT : 270° /s (プリセット旋回時)
マニュアル旋回速度	PAN : 0.5、1、3、6、15、30、150 [° /s]、 (7速制御。3速制御時は、1、15、150 [° /s]) アダプティブモーションあり TILT : 0.5、1、3、6、15、30、90 [° /s] (7速制御。3速制御時は、1、15、90 [° /s]) アダプティブモーションあり
プリセット位置精度	±0.2°
プリセットポジション	256点
スムーズプリセット機能	5パターン (1パターンあたり 48プリセットポジション)
オートパン機能	有り 5速設定時 : 0.5、1、3、6、15 [° /s]
オートチルト機能	有り 5速設定時 : 0.25、0.5、1.5、3、6 [° /s]
クリーニング機能	有り (自動 時間設定可/手動)
塗装色	アイボリーホワイト

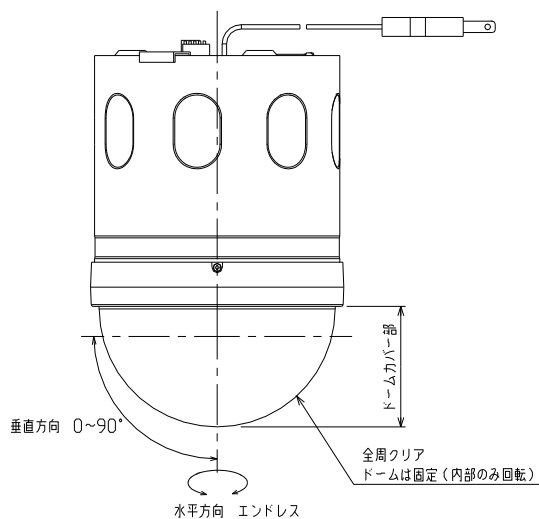
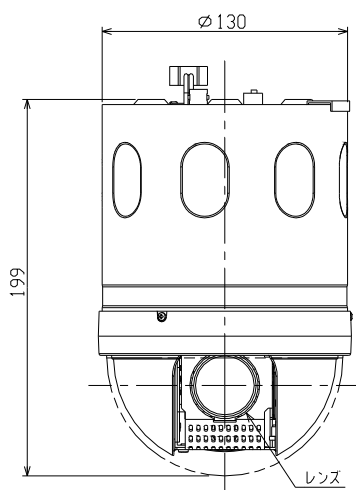
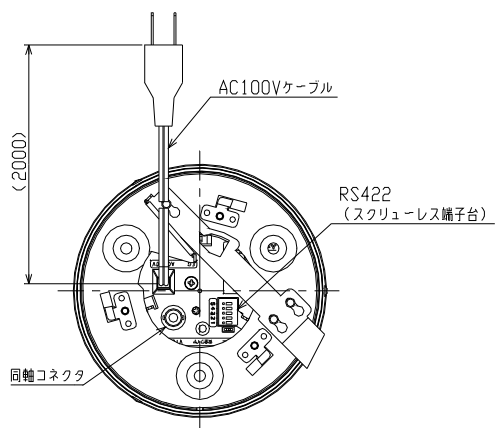
<周囲環境>

温度、湿度	-10°C~+50°C 90%RH 以下 (但し、結露しないこと)
防水性	JIS C 0920 防滴形 (IP×2)

<その他>

電源	AC100V±10V、50Hz/60Hz
消費電力	17.4W 以下
質量	2.0kg 以下
外形寸法	φ130×199(H) mm

外形図



形名	CIT-7550	製造番号	
お客様様	お客様名 様		
	ご住所 〒 ----- TEL		
保証期間	年 月 日から 1 年間	販売店住所・店名	印 または サイン
		TEL ()	

この製品は厳密な品質管理のもとで製品検査に合格したものです。お客様の正常な使用状態において万一故障した場合には、保証規定に基づきサービスセンターが修理いたしますので本書を提示してください。

本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証書にご記入いただいた個人情報、保管期間内のサービス活動及びその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

 **三菱電機株式会社**
コミュニケーション・ネットワーク製作所
郡山工場 TEL (024) 932-1221 (大代表)
〒963-8586 福島県郡山市栄町 2 番 25 号

お問い合わせは、保証書に記載の販売店へどうぞ